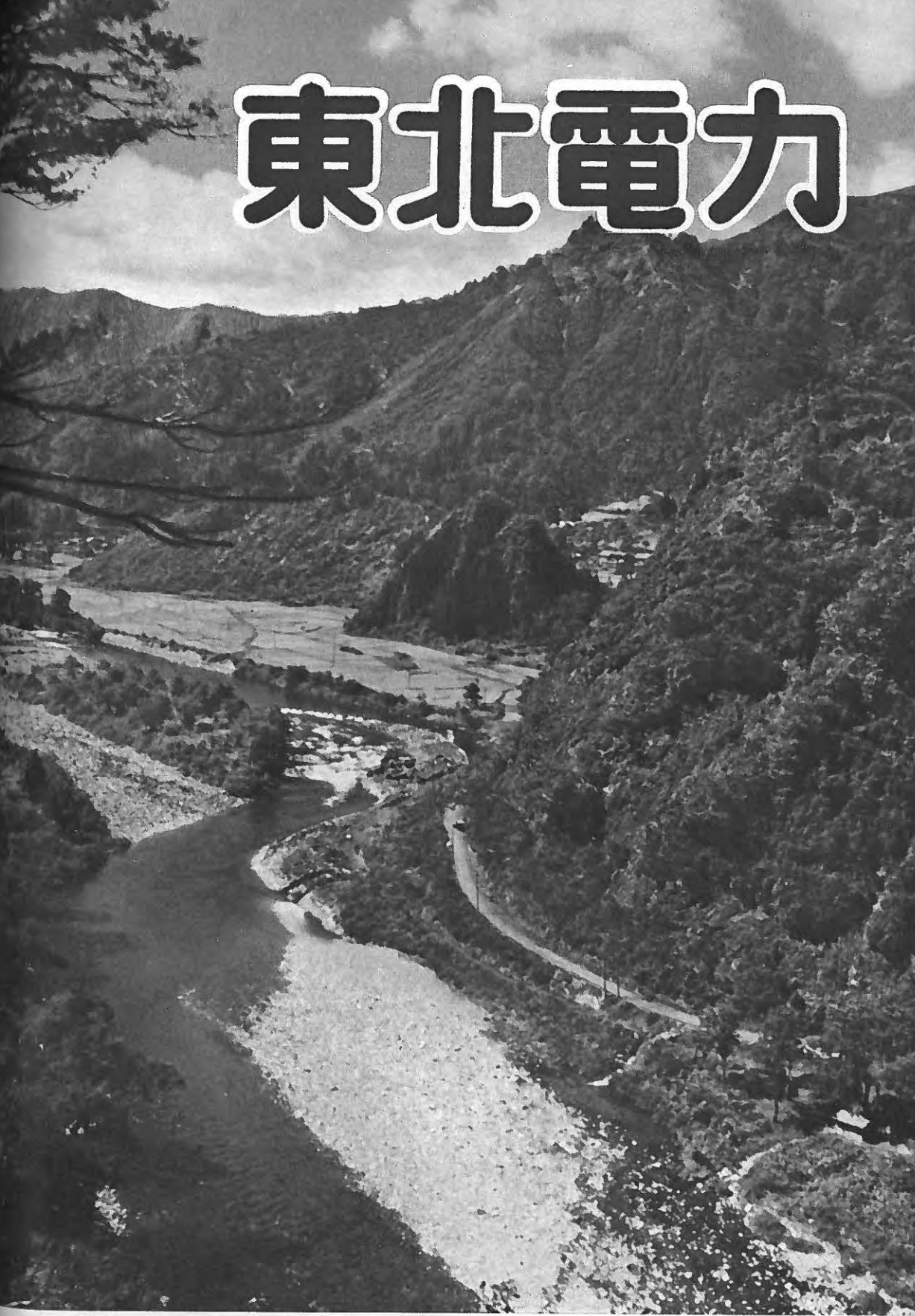
東北電力



東北電力株式会社社誌　No. 13　28. 9



東北電力・第13号・目次

只見開發の本格的着工に當りて
常務取締役　平井彌之助…(1)

東北電力のダム建設……土木建設課…(2)
活線作業講習会……送電課…(12)
テレメーター……村上浩…(9)
どんな場合に差押されるか……岡崎信幸…(18)
ランドローバー運営について……尾形正…(22)

100万キロ突破の様相……(25)

支店だより……(29)
東京通信……(35)

——隨　筆——

社員生活断面図……佐藤鉄歩…(37)
営業所長稼業……村大子…(37)
陳情旅行……蓮間三郎…(40)
美しいということ……伊藤栄喜…(42)
柳津片門断想……植竹昌…(44)
ヘリコプターとマイクロウエーブ……浜野義太郎…(46)
耽味……池田信夫…(48)
萱場梨……茂木隆…(50)
わが師を語る……村上春灯…(52)
及川仙石先生還歴……高木桐舎…(52)
俳句入門……久保乙秋…(54)
生命について……菅雄吉…(55)
あの人・この人……千本健雄…(57)

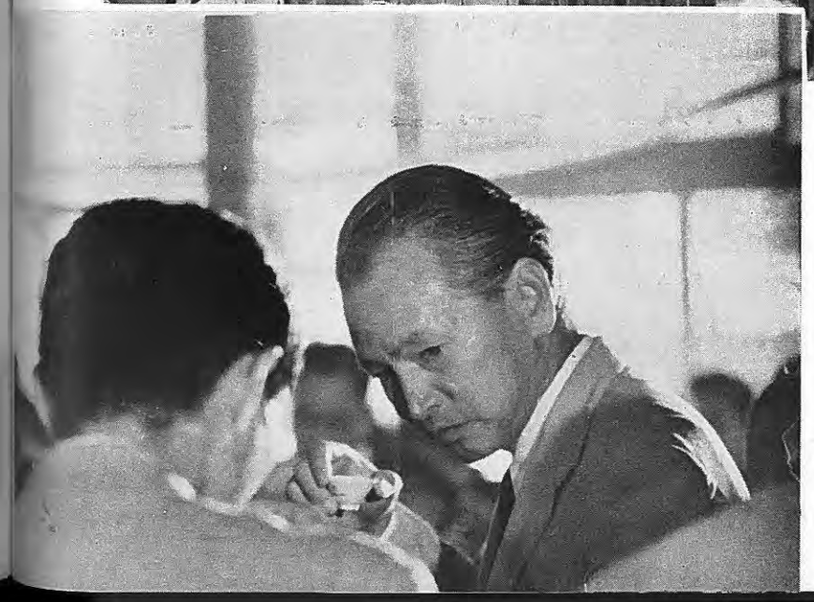
俳句　(遠藤梧逸選)……(64)
短歌　(扇畑忠雄選)……(60)

表紙　田子倉地点（さくらカラーフイルム）……倉林稔
カット……金沢光策

100万キロ突破祝賀式





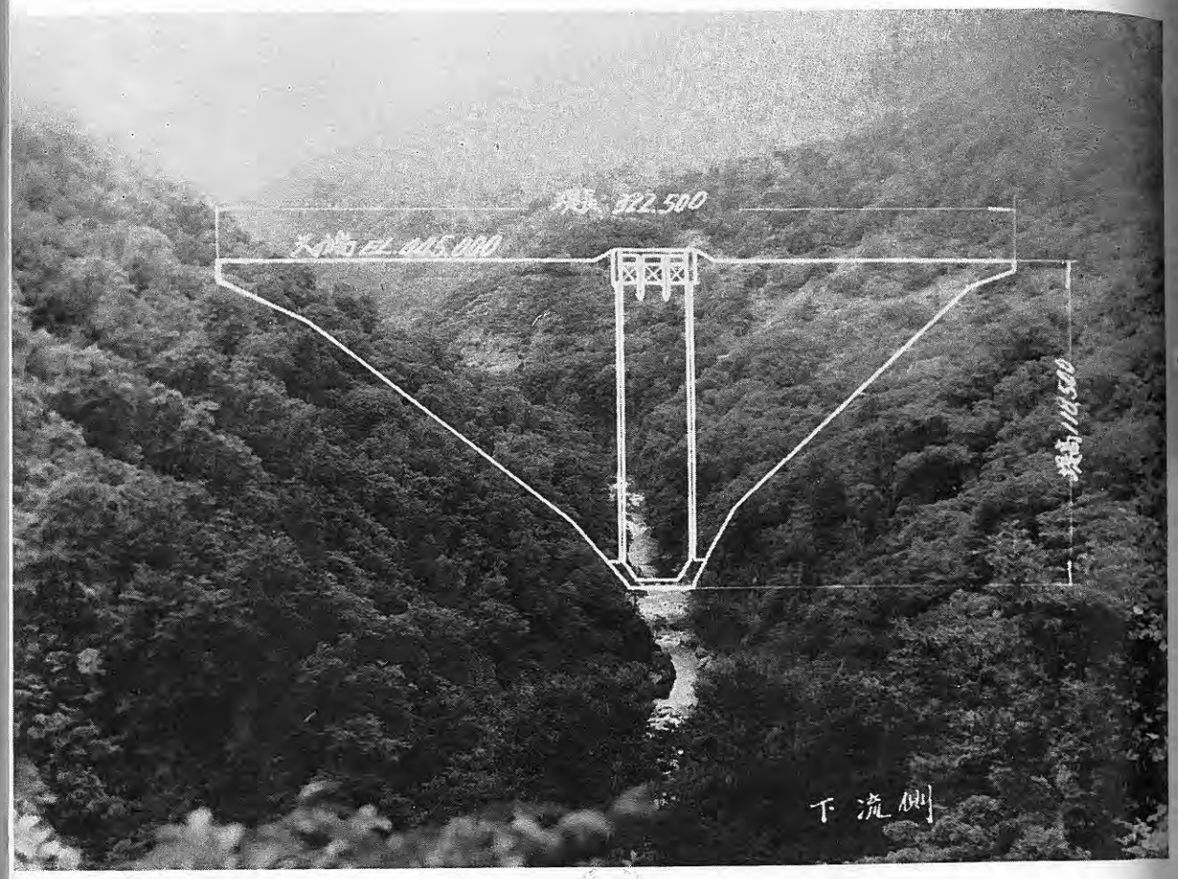


上　表彰状を読む社長

中　式辞をのべる
北松部長

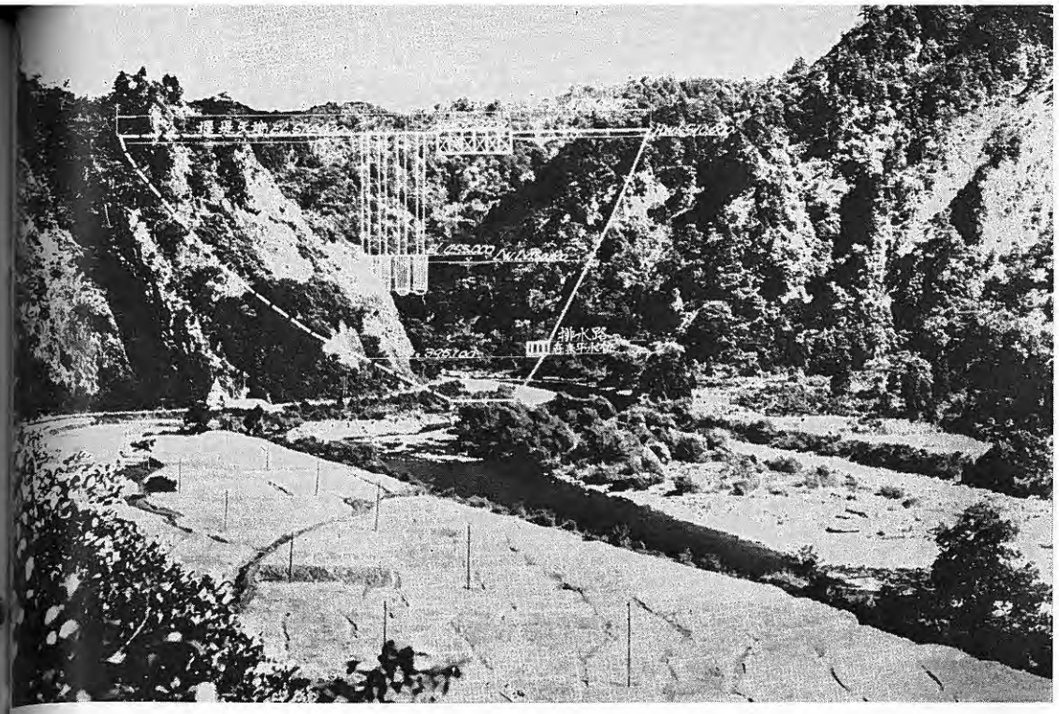
下　祝宴における会長

於 柳津中学校



着工の緒についた
八久和發電所ダム地點

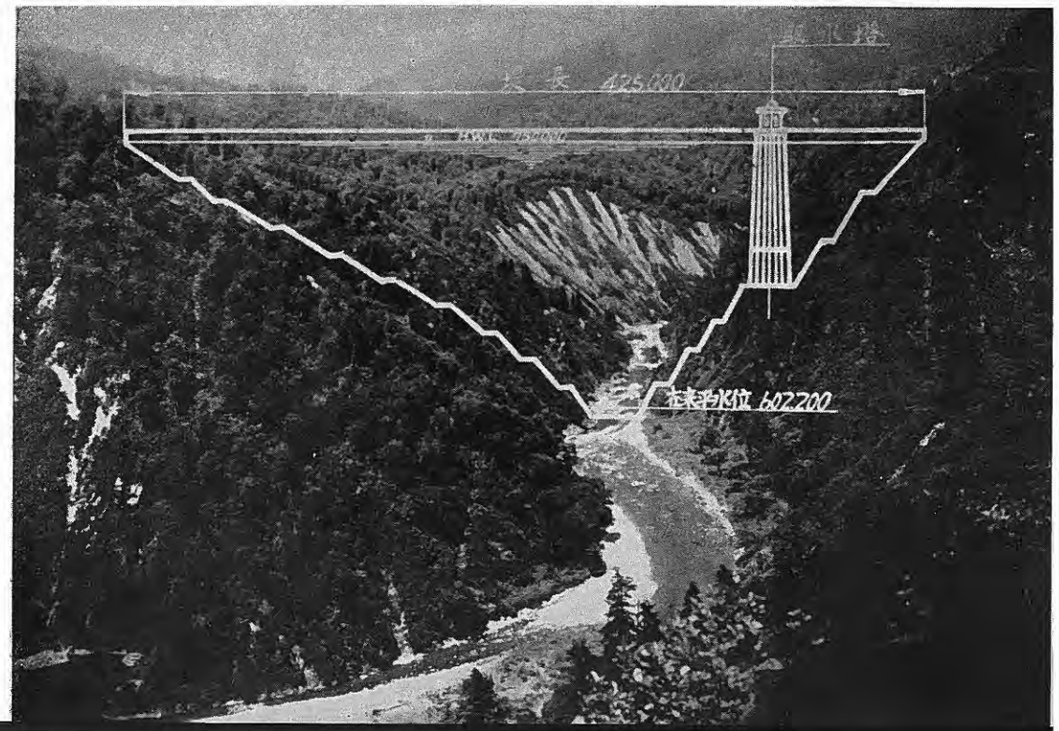
所　在　山形県東田川郡本郷村
出　力　58,000KW
ダム高　118メートル



↑ 田子倉

脚光浴びる只見川開発地点

奥只見 ↓





ヘリコプター・きたかみ号來る



左より
米極東空軍マルキー大尉
ウエストランド会社
　　バーネツト技師
一人おいて　内ヶ崎社長
高島屋飯田会社中村機械部長

只見開発の本格的着工に当りて

常務取締役
建設局長　平井彌之助

その開発方式をめぐつて，長年の間紛糾を続けた只見川開発も，官民各方面の努力によつて，ようやく一応の解決を見ることができたが，開発の直接の担当者としてまことに喜びにたえない。

一体只見川問題があれほど紛糾した理由は，技術的に見て明確な結論が出ているにも拘らず，これを政治問題に転じたためであつて，このために只見川開発による国民の利益享受が時期的に相当遅れたということは，まことに遺憾なことであつた。然しながらとも角着工し得る段階に至つたことはまことに喜ぶべきことである。

我々は豊富な資料と経験とを持つて，今回田子倉発電所の建設にとりかゝるわけであるがかゝる高堰堤，大水量のダムは技術的に云つても容易ならぬ工事であり，又開発会社へ出向という，従来とは違つた機構の下に於て施工することになるので，その間種々の問題や制約などが派生することと思われる。然しながらそれらは我々の努力によつて出来上る発電所が現在及び将来の国民の幸福に対して大きな寄与となる事実の前には，問題にならぬことであると思う。只見川の電源は言い尽されている如く，国民の文化に対する大きなホープである。

さて従来只見川の電源としての価値は，電気事業者には古くから最も有望なる未開発地点として知られていた。最近当社の上田・本名両地点の着工に際して古い水利権のことが問題となつたが，あれは４半世紀前に作られた計画に基ずく水利権で，現在の開発計画とは比べものにならないが，既に当時からこの電源が斯界の注目の的となつていたことを示すものである。当時の計画というのはすべて常時水量を水路によつて流込ましめる水路式のもので，今日から見れば問題にならないものである。只見川の如き大電源は進歩せる今日の土木技術と電気技術とを最高度に駆使して，これを余すところなく開発せねばならぬものである。

当社の有する資料は旧日本発送電から引継いだものに，更に最近の詳細なるデータを加えたものであるが，昭和21年当時の日発の調査隊は種々の悪条件――不便な交通，食糧・衣料・資材などの欠乏――を忍んで困難な調査に従事し，ようやく只見川開発計画を作成した。これは調査隊員の血と汗による貴重な資料であり，１枚の青写真といえども机上の操作によるものではない。

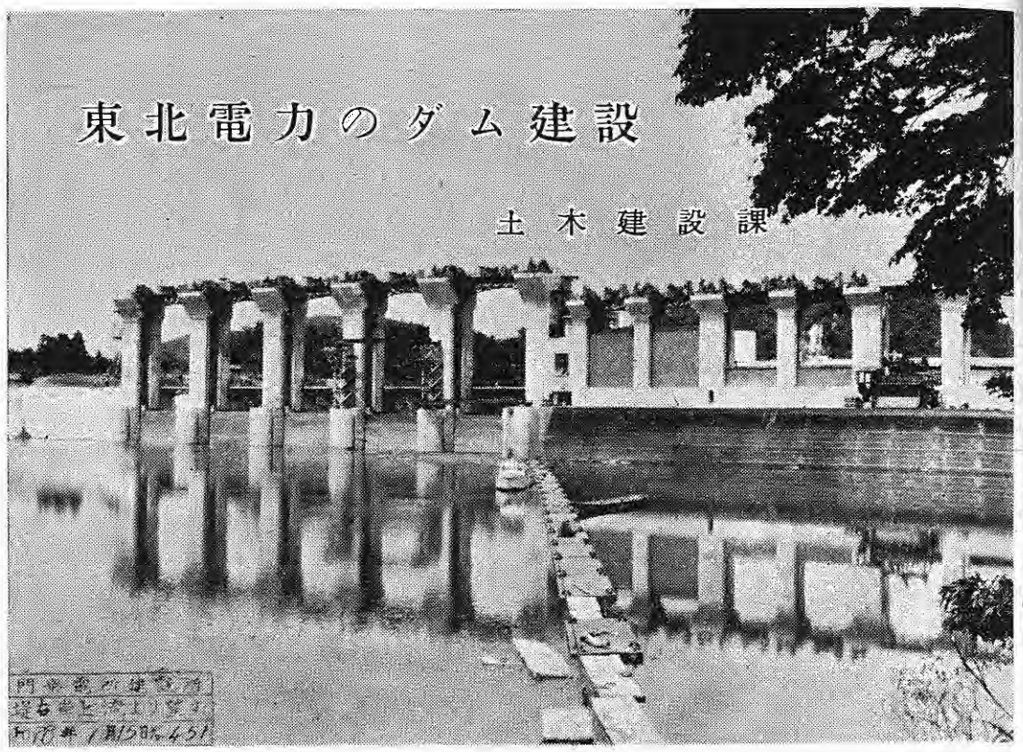
その後WE会社やO.C.I.など，米国の技術者の派遣などがあり，殊にO.C.I.の調査は世人の注目をひいたが，これは政府その他に於て主として，外資導入の目的のための意図に出でたものであり，その結論も大体日本発送電の計画に近いものであつた。これは当然予期せられたところであつた。

今回決定を見た政府案は，いわゆる分流案の様式をとり入れ，只見川地域綜合開発の大局的見地に立つて立案され，奥只見貯水池から少量の水を黒又川に分水し，黒又川の開発を電力及び灌漑用水確保上効果的ならしめるようにしたと言われている。

勿論如何なる案といえども下流の既設発電所に悪影響を与える如き案は許されず，政府案もその条件の下に立案されたが現在運転中の宮下・柳津・片門等の発電所も将来それぞれ発電機１台分の出力が増加することになつて居る。このことは政府案が多少の政治的考慮を払つたとはいえ，基本的には本流筋の水の高度利用を妨げることなきを配慮しつゝ決定されたものと云い得るのでこの点については当社の技術者として大体満足せねばならぬと思う。

東北電力のダム建設

土木建設課



片門ダム

I. 緒　　言

東北に於ける既開発電源としては昭和28年度中に完成のものを含み2,094,200kw(東北電力分1,042,200kw)ですが，この内貯水池式発電所は約411,000kw（東北電力分151,600kw）で他は自流式及び火力であります。勿論此の自流式発電所には調整池をもつ高堰堤のものもあります。東北の貯水池式発電所としては純然たる人工湖はなく悉くが天然湖を利用したもので，東北電力として十和田湖，田沢湖，沼沢沼等で，東京電力として猪苗代湖，秋元湖，檜原湖，があるのみで経済復興対策からばかりでなく目前の渇水期対策としてどうしても人工的貯水池式発電所の早期開発を必要とする段階に来ている現状であることは今更言う迄もありません。残された未開発地点には貯水池式発電に可能な地点も多く現在，只見川水系に奥只見，田子倉，内川等，最上川水系に八久和等が計画されています。本稿には貯水池式発電用ダム建設の計画と調整池式発電用ダムの内比較的最近に完成したもの，現在工事中の主なものにつきその概要を載せたいと思います。

II. ダム建設の近況

1. 最近完成したダム

（1） 宮下（只見川・福島県）

着工は遠く昭和16年に遡りますが戦争のため種々の制約を受けながらも，堰堤及び発電所設備の半分を昭和25年3月竣功し，最近増設工事を行い本年4月漸く初期計画の全工事を終了したもので発電所設備としては64,200kw の出力を持ち，秋元発電所の62,000kw を凌ぐ東北最大のものとなりました。堰堤型式，溢流型コンクリート重力堰堤

堰堤高，　48.5m

堰堤長，　168.50m

堤体積，　152,000m³

調整池容量，

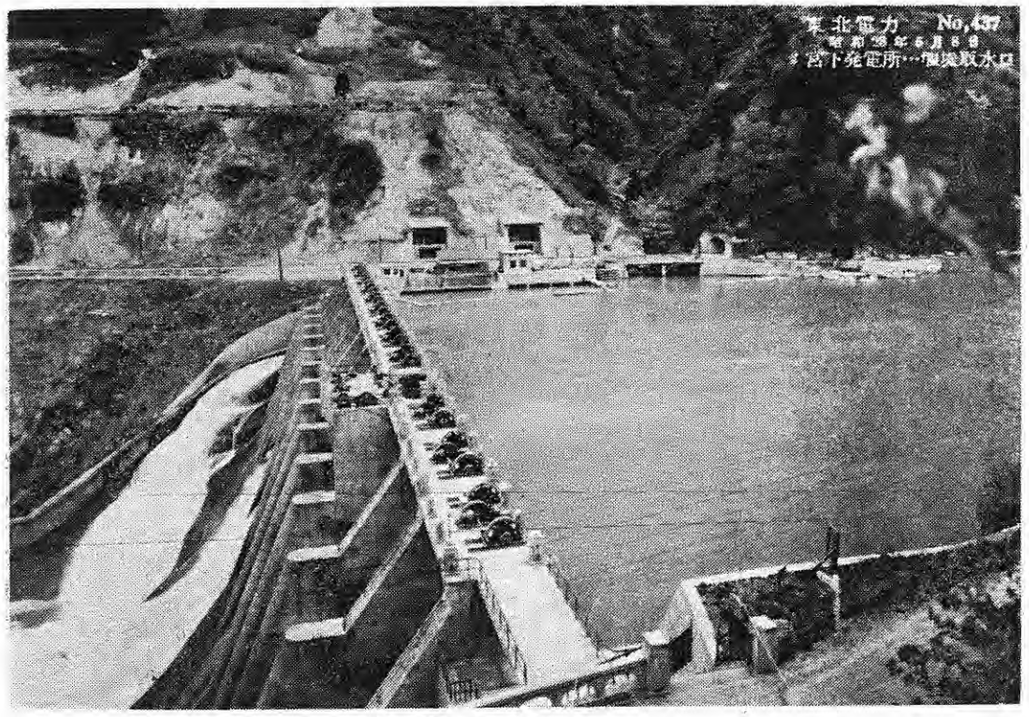
全容量，　20,500,000m³

有効容量，　4,050,000m³

利用水深，　3,0m

門扉　テンターゲート　9.0m×8.55m　12門

ダブルローラーゲート　8.0m×8.55m 1門



宮　下　ダ　ム

発電新出力　　64,200kw

（2） 夏瀬（雄物川水系玉川・秋田県）

夏瀬発電所は玉川残流量と田沢湖利用の生保内発電所の放水量を併せ使用するものであります。この発電所の建設により田沢湖系統の総合出力は約35%の出力増強を見ることになります。着工は昭和26年4月で，仮使用認可を受けたのは本年1月で，本使用認可は本年3月であります。

堰堤型式，　溢流型コンクリート重力堰堤

堰堤高，　31.0m

堰堤長，　115.80m

堤体積，　42,840m³

調整池容量，

全容量，　9,805,000m³

有効容量，　2,072,000m³

利用水深，　2.50m

門扉　テンターゲート　9.0m×8.55m　6門

発電所出力　　20,000kw

（3） 柳津（只見川・福島県）

柳津地点は東北電力となつて始めての着工地点で，下流片門地点と同時に昭和26年12月に着工し本年5月堰堤仮排水路を閉塞したもので工期実に18ヶ月の短期間で完成したものであります。本地点の工事には華々しく各種の建設機械が登場し，あらゆる自然条件を克服し1日の休みもなく日夜工事が続けられたもので水力工事としては記録的スピードと云えましよう。又型式も純ダム式発電所でダムと発電所が同一直線上に配置されて居り，門扉は 12m×12.80m のローラーゲートで調節的に大規模なものが取付けられる等いろいろと新機軸が生み出されて居ります。

堰堤型式，　溢流型コンクリート重力堰堤

堰堤高，　30.0m

堰堤長，　154.00m

堤体積，　48,900m³

調整池容量

全容量，　23,938,000m³

有効容量，　5,791,000m³

利用水深，　3.0m

門扉　ローラーゲート　12.0m×12.8m　5門

発電所出力　　50,000kw

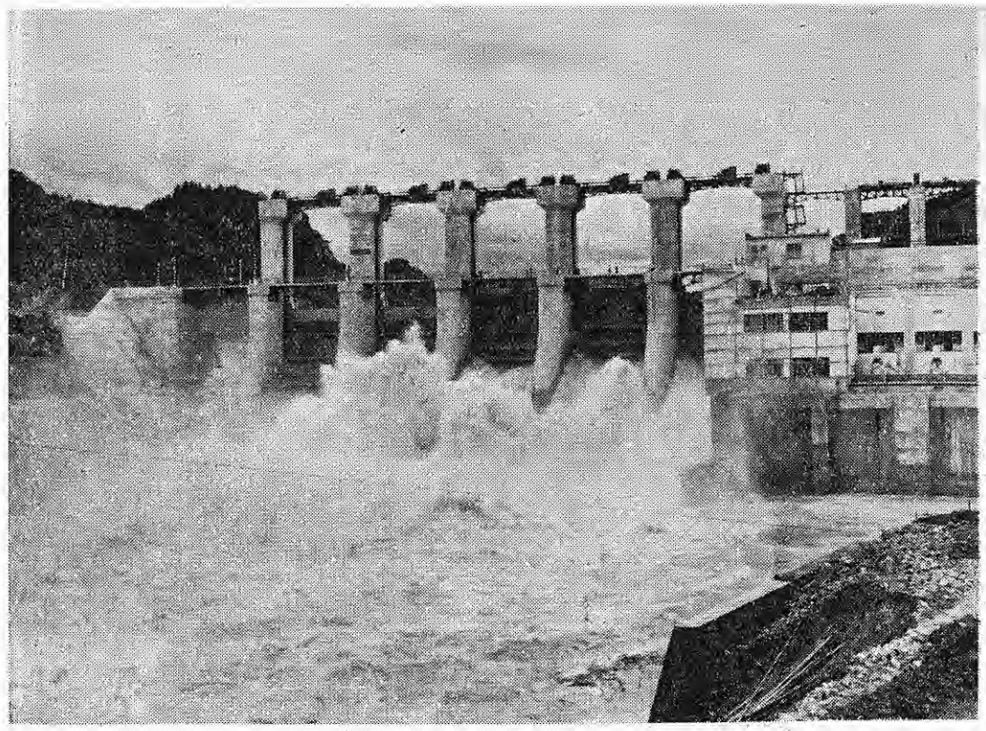
（4） 片門（只見川・福島県）

堰堤型式，　溢流型コンクリート重力堰堤

堰堤高　　22.0m

堰堤長　　116.00m

堤体積　　34,900m³



柳　津　ダ　ム

調整池容量，
　全 容 量，　16,913,000m³
　有効容量，　4,618,000m³
　利用水深，　3.0m
門扉　ローラーゲート 12.0m×12.8m　5門
発電所出力　38,000kw

2. 現在建設中のダム

（1） 本　名（只見川 ・ 福島県）

本名地点は下流の上田地点と同時に昭和27年 9 月着工を見たもので，此の両地点は昭和27年 8 月に東北電力が従来の調査並びに着工準備其の他の点に於て早期開発の有利的諸條件を具備して居つた関係と，東京電力の所有に係る旧方式水利権（水路式）を取消して新に東北電力に対し新方式（ダム式）開発の水利権を附与されることが決定すると同時に文字通り電撃的に建設工事を開始したものであります。此の着工時期が如何に寸分の狂いもない正鵠なものであつたか，従来の調査並びに工事準備が如何に周到で正確であつたかは本年 3 月の雪融け洪水が出水予想より約 1 週間も早かつたにも拘らず仮排水路の切替が此の出水直前に間髪を入れず完遂されたと云う事を眼の当り見てその真価性を如実に物語つていると云い得るのであります。

本名地点の工事用仮排水路は右岸河川屈曲部の鞍部を切り開いた捷水路で，本川の全面に亘つてメ切りを行つたものです。

着　工　　27年 9 月
通水（予定）　29年 7 月
工　期　　23ヶ月

以上の様な短期間であるため高度の機械力を駆使して目下着々建設中であります。

堰堤型式，　溢流型コンクリート重力堰堤
堰堤高，　52.0m
堰堤長，　195.0m
堤体積，　117,600m³
調整池容量
　全 容 量，　29,376,000m³
　有効容量，　14,287,000m³
　利用水深，　10.0m
門扉　ローラーゲート 12.0m×13.8m　4門
発電所出力　52,000kw
8 月末工事進捗率　55.2%



本名発電所建設工事

（2） 上田（只見川 ・ 福島県）

着工は本名と同時でありますが通水は本名より 4 ヶ月早く29年 3 月で，工事も予想通り目覚しい進行を見せて居ります。

堰堤型式，　溢流型コンクリート重力堰堤
堰堤高，　34.50m
堰堤長，　117.20m
堤体積，　57,000m³
調整池容量，
　全 容 量，　20,140,000m³
　有効容量，　4,280,000m³
門扉　ローラーゲート　12.0m×14.0m 5門
発電所出力　42,600kw
8月末工事進捗率　70.6%

III. 貯水池ダム建設計画

1. 只見川系

（1） 開発計画

阿賀野川水系只見川は流域面積 8,400km² 延長 272km の大河で，利用落差 1,400m に達し最上流部は急流でありますがその下流部に大貯水池の設置に好適な地点があり，中下流部は緩流で河岸は段丘状をなし階段式にダム式発電所の築造に適しているのであります。これ等の開発計画は只見川上流部に 3 ヶ所（尾瀬原，奥只見，田子倉），支流伊南川上流に 1 ヶ所（内川）合計 4 ヶ所に合計有効容量 14.3億m³ の大貯水池を築造して雪融洪水を殆と全部包容貯溜せしめ，渇水期に之を調整補給すると共に新に16ヶ所の発電所を設ける外既設発電所 5 ヶ所の設備を増設し出力増加，特に渇水期電力を確保しようとするもので之等の計画が全部完成の暁は只見川に於て既設を併せ発電力合計200万KW 発生電力量合計 72.5億KWHに達する大規模な開発計画であります。

（2） 開発の現況

既　設
　新　郷（ダム自流式）　51,600KW
　山　郷（　〃　）　29,400 〃
　豊　実（　〃　）　56,400 〃
　鹿　瀬（　〃　）　49,500 〃
増　設
　宮　下（　〃　）　64,200 〃
改　造
　伊南川（水 路 式）　24,000 〃
新　設



上田発電所建設工事

沼沢沼（揚水式貯水池）43,600KW
柳津（ダム自流式）50,000〃
片門（〃）38,000〃
工事中
本名（〃）52,000〃
上田（〃）42,600〃
計画中
尾瀬原（貯水池式）157,000〃
奥只見（〃）360,000〃
田子倉（〃）240,000〃
内川（〃）26,900〃

本計画各地点のダムの概要は

尾瀬原	堰堤高	62.0m	有効容量	2.5億m³
奥只見	〃	150.0m	〃	5.58億m³
田子倉	〃	145.0m	〃	4.02億m³
内川	〃	100.0m	〃	2.2億m³
計				14.3億m³

合計貯水容量を田沢湖，十和田湖，猪苗代湖の合計容量と比較すれば1.8倍に当り，発生電力量は5.5倍に相当する大容量の貯水池となる訳であります。

（3） 計畫の概要

（イ） 尾瀬原貯水池

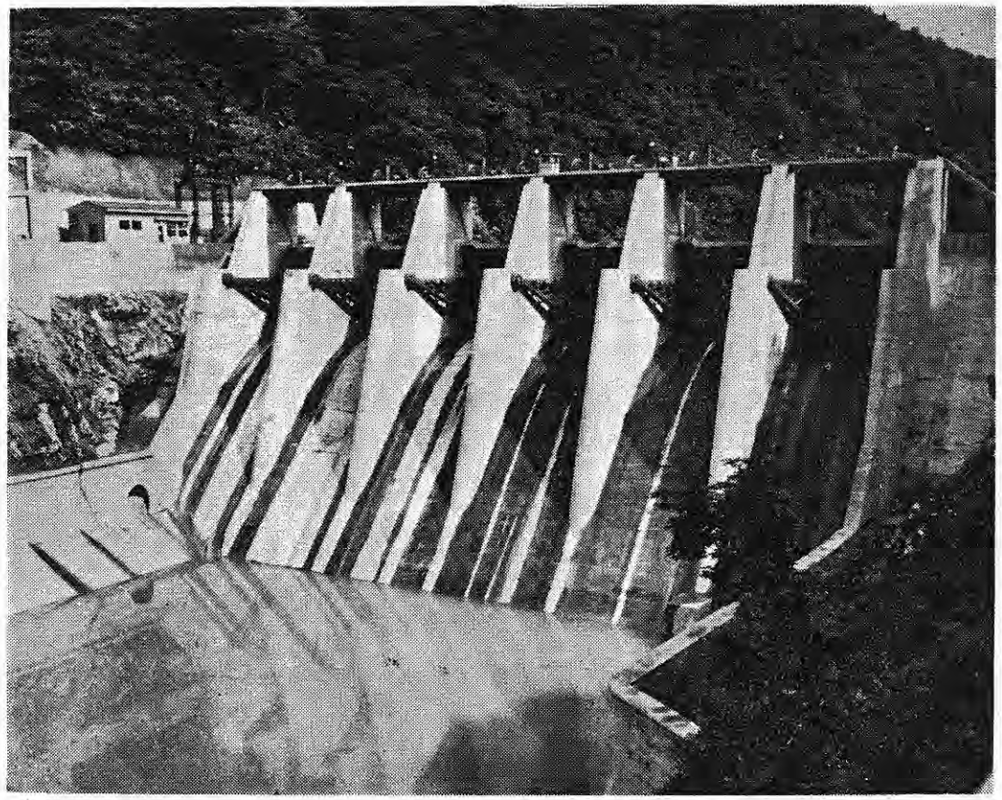
平滑の滝の上流に高さ62.0mのロックフイルダムを築造して，貯水池を設けるのでありますが尾瀬沼を除いた自己流量の外に尾瀬原発電所下流の白沢調整池の水其の他を揚水する計画であります。

（ロ） 奥只見貯水池

只見川本流と北の岐川の合流点下流1.5kmの地点に高さ150mのコンクリート重力式ダムを設け所謂銀山平一帯に貯水しますが湛水区域は広く，利用水深75.0mとしてあります。本貯水池は3月末から融雪出水を貯留満水し8月頃の夏期渇水期に一部を補給放流し9,10,11月中に再び流量の一部を貯留11月末には満水とし12月より3月中旬迄に全貯水量を使用する計画であります。

（ハ） 田子倉貯水池

田子倉貯水池は支流白戸川合流点下流に高さ145.0mのコンクリート重力式高堰堤を設け，比較的開豁な地域を貯水池とするもので貯水量も大きく利用水深を60.0mとしてあり，貯水池使用方法は奥只見と同様であります。本地点は



夏瀬ダム

今や着工も決定し建設の歌声高らかに響くのも間近でしょう。

（ニ） 内川貯水池

本貯水池は伊南川と舘岩川の合流点より下流に高さ100mのコンクリート重力式堰堤を設け利用水深40.0mをとつてあります。伊南川は只見川本流と異り，河床には相当の砂礫が堆積し沿岸が殆ど人家耕地が多く毎年洪水期には相当の被害を受けているので，この内川貯水池に洪水並びに融雪期の流水を貯留すると治水上の効果が極めて大きく，下流沿岸の洪水被害を軽減すると共に発電に之を利用する計画のものであります。尚この外に調整池をもつダムの計画地点としては，大津岐，大鳥，前沢，滝，上野尻，揚川，辰巳山等があります。

2. 最上川系

八久和貯水池（最上川水系 ・ 山形県）

本地点は東北にとつて只見川水系及び建設省で施工中の北上川水系以外に，殆と唯一つ残された貯水池式ダム地点で，山形県鶴岡市より南方約25Kmの処に梵字川上流八久和川にダムを築造し，約6Kmのトンネルで流域変更の上大鳥川に導くもので，主として冬期及び夏期渇水期に発電する堰堤水路式の発電所であります。

本工事の工期はダム工事で決められるので東北の電力の窮状より一日も早く発電する必要から，ダム工事を進める傍ら他の水路工事を極力促進して，取水口に近く仮取水堰堤を設け最大23,000KWを第1期分として早期発電し，ダムの完成を俟つて第2期分として全計画の最大58,000KWを発電する方針であります。

本地点は既に昭和15年に開発に着眼し，建設に着手したのでありますが，戦時中の資材難に遭遇し中止していたもので，今回大々的に着工を見る次第であります。

通水予定，第1期，昭和30年10月
第2期，昭和32年3月

堰堤型式，

仮取水堰堤：アーチダム　高 22.5 m　堤長 20.0 m

本堰堤：溢流型重力式　高 118.50m　堤長 322.50m

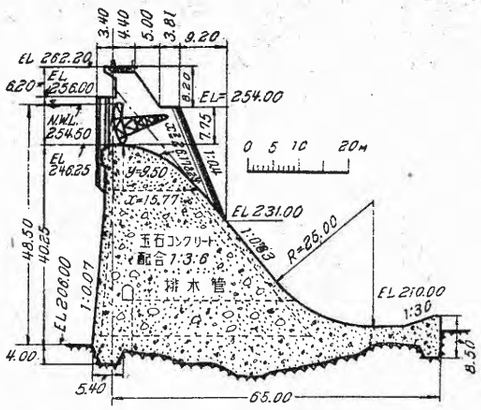
堤体積

本堰堤：683,000m³

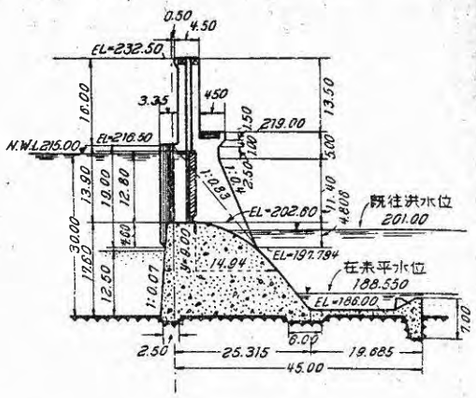
貯水池容量

（17頁へつづく）

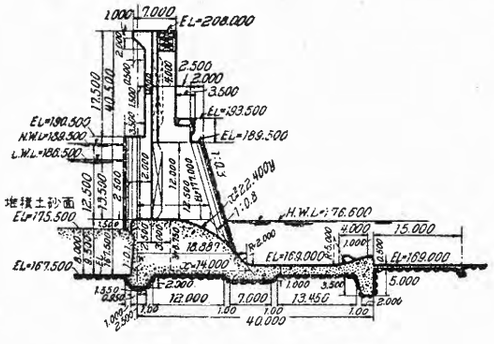
図－1　宮　下　堰　堤



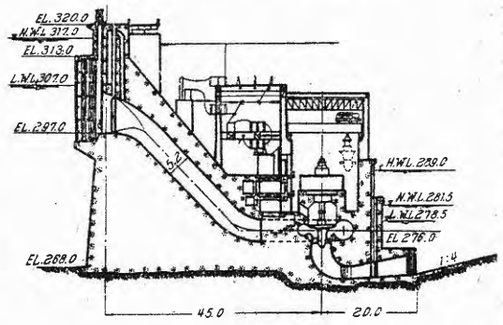
図－2　柳　津　堰　堤



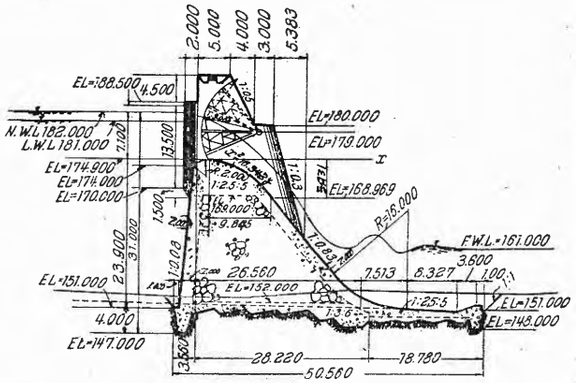
図－3　片　門　堰　堤



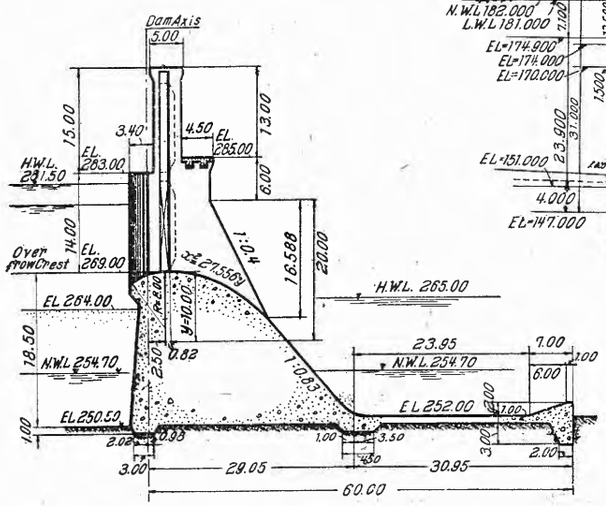
図－4　本　名　堰　堤



図－6　夏　瀬　堰　堤



図－5　上　田　堰　堤



テレメーター

給電課施設係　村　山　　浩

1. まえがき

テレメーター（遠隔測定装置）は各電力会社，国鉄等で最近盛に使われ始めて来た新装置である。メーターのテレビジョンとも言うべきもので今後益々用途を拡げ多数使われるものと考えられるので，こゝに簡単な解説を加えてみる。

2. 遠隔測定

電力，電圧，電流，周波数は勿論水位，門扉開度，温度等の変化する状況を数粁乃至数百粁離れた遠隔地点で正しく計示させるのが遠隔測定（テレメーターリング）で，この測定装置がテレメーターである。

従来計測は被測量の近くでしか計示出来なかつた。長距離になる程誤差が多くなり又不経済になるので使いものにならなかつた。

従つて遠隔の地にあつてその計測値が欲しい場合，最も早い方法として電話連絡による以外になかつた。これでは急速に動いて止まない送電系統の電力の如きは正しく摑めるものではない。複雑な送電系統を統括的に処理し寸刻を争う急場に誤りのない操作指令を下さなければならない給電所員が時間的遅れの多い電話と勘のみにたよつて来た従来のやり方は極めて大胆冒険なものであつた。

テレメーターは暗夜に灯火を与えたものであり，送電系統が躍進的に伸び処理が難かしくなつた最近では必須の武器となる。

勿論テレメーターは給電運営上大に有効であるが，自仂発変電所，測水所等にも利用価値高く，船舶，航空用，一般工業用にも広く役立つものである。何故なら計測出来る一切のものがテレメーターによつて何時でも眼の前に正しく，おくれなく再現出来るからであり，遠方にあるものゝ監視，測定，制禦の確認という大役を充分に果して呉れるからである。

3. 装置の原理と方式

測らうとする電気的変化量や機械的変位は遠隔伝送に都合のよい質の電気的量に変換される。簡単な方式のものではこのまゝ専用線，通信線を通じて送られ受端に計器を入れさへすればよい。長距離，多重送量を必要とする場合は別に発振される高周波の振動波にのせて通信線，送電線或は無線を利用して送られ，受端で搬送波から外し計器を動かし易い直流に変換しなおして計器に接続するのである。　計器は指示計，記録計何れでも使用出来，その精度は誤差２％以内を補償出来る。

テレメーターの方式として変換のやり方，伝送の仕方で色々種類があるが現在我国で実用されて居るものは大体次の二方式である。

(1) 直送方式

専用線か電話線共用で送量するもので搬送波を使わない。従つて装置は極く簡単で安価であるが長距離は無理で伝送路を多重に使う便はなく，従つて送量要素が数少く数粁以内でないと不経済になる。当社でも都市郊外変電所から市内の給電指令所までの間にこの式を利用して居る。

変換の方式は測らうとする交流の電力電流等は熱電対を利用した熱変換器で，電圧はセレン整流器で，何れも微弱直流に変へ線路に送り出す。

(2) 搬送方式

之は遠距離多重伝送用に適しテレメーターの名にふさわしいものであるが，装置が複雑となり値も高い。

内地メーカーの製品は何れも送量変換方式として積算電力計の廻転円板周辺にあけた孔溝を通じ電球の光束を断続させ，光量変化を光電管により電流変化に変える方式を採り之を搬送波に重畳して送り，受量端で復調し蓄電器の充放電により直流化して計器を動かすものである。一般に衝流周波数方式と呼ばれて居る。前述 (1) の熱変換器式も搬送波にのせ長距離多重化が可能であるが最近市場に出たばかりである。

4. テレメーターの効果

給電上の効果について述べれば，系統の電力が何の様に発電され，送られ，使われて居るかを給電所員はテレメーターによつて何時も眼前に正しく見る事が出来る。全発電所，開閉所，変電所に就いてテレメータ

テレメーター設備一覧表 (28.9)

送量個所	受量個所	距離 KM	送量要素	テレメーター方式メーカー	受量計個数	竣工年月	備考
仙台変電所	中央給電指令所	6.5	仙台変電所 60KV 母線電圧	熱変換（安藤）	指示計 1	26. 4	日本最初の熱変換器式の使用
〃	〃	〃	同上 北上幹線電力	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	同上 東北幹線電力	〃	記録計 1	27. 4	電子管式連続記録計のテレメーターへの日本最初の使用
長崎変電所	〃	71	水ケ瀞線電力	通信線搬送(日立) 衝流周波数式	指示計 1	28. 1	
会津開閉所	〃	150	会津開. 阿賀野川線 1, 2号電力	通搬及マイクロ(富士) 衝流周波数式	指示計 2 綜合記録計1	28. 7	
〃	〃	〃	会津開. 只見川幹線 1, 2号電力	〃	〃	〃	マイクロ無線利用テレメーターとして日本最初の使用
〃	〃	〃	会津開. 磐梯線電力	〃	記録計 1	〃	
〃	〃	〃	会津開. 東京系周波数	〃	〃	〃	
〃	会津給電指令所	10.4	会津開. 阿賀野川線 #1, 2 電力	〃	綜合記録計 共記録計 3	〃	
〃	〃	〃	会津開. 只見幹線 #1, 2 電力	〃	〃 3	〃	
〃	〃	〃	会津開. 磐梯線電力	〃	記録計 1	〃	
〃	〃	〃	会津開. 東北幹線電力	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	会津開. 東京系周波数	〃	〃	〃	
〃	〃	〃	会津開. 東北系周波数	〃	指示計 1	〃	
〃	〃	〃	会津開. 154KV 母線甲乙電圧	直接整流(安藤)	指示計 2	27.10	
池尻川発電所	高田給電指令所	35.9	鳥坂線#1.2電力	通信搬送 衝流周波式(富士)	指示記録積算計 各 2	28. 1	テレメーターに積算計を入れた日本最初の例
東新潟変電所	新潟給電指令所	5	東新潟変主変圧器綜合電力	熱変換式(安藤)	指示計 1	27. 9	
〃	〃	〃	東新潟変. 60KV 母線電圧	直接整流式(〃)	〃	〃	
長崎変電所	山形給電指令所	11.5	長崎変. 60 KV 電圧	〃 〃	〃	28. 2	
盛岡変電所	岩手給電指令所	5.2	盛岡変. 60 KV 電圧	〃 〃	〃	27. 9	
〃	〃	〃	盛岡変. 60 KV 北上線電力	熱変換式(安藤)	〃	〃	
〃	〃	〃	盛岡変. 154KV 北上幹線電力	〃 (大倉)	記録計 1	28. 9	
秋田開閉所	秋田給電指令所		秋田開. 60 KV 電圧	直接整流式(安藤)	指示計 1	28. 8	

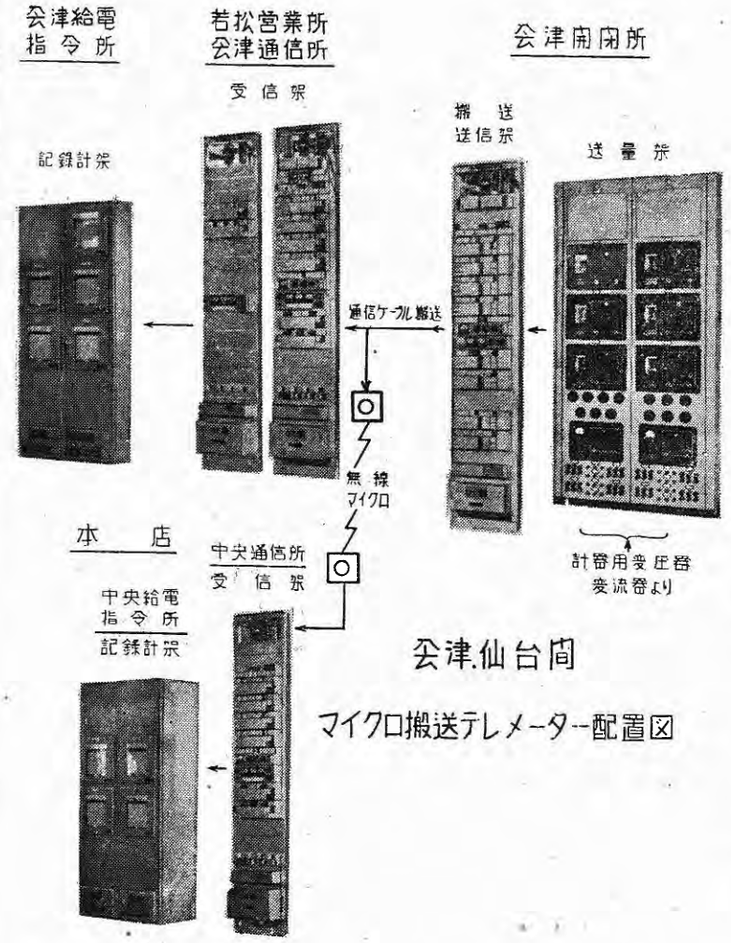
ーが必要ではなく，系統の急所とも言うべき要所についてのみ掌中におけばよい。

かくして水はより有効に貯えられ，発電所，変電所は計画通り運転され，送電線は無理なく使用される。一部の事故は事前に防止され，復旧操作はより速に行われ且つ直に確認される。汐流是正による損失の軽減は電圧や無効電力の監視によつて更に効果的となる。指令所員は不安な摸索より脱しスピーデーに自信をもつて指令出来大きな精神的支柱を持つ事になる。

5. 当社に於ける既設テレメーター

現在までに設置されたものは前表の如くで何れも順調に動作して居る。

なお会津仙台間に日本最初のマイクロ無線を利用したテレメーターとして設置されたものの構成を下図に示した。



会津.仙台間

マイクロ搬送テレメーター配置図

6. 各電力会社に於ける設置数

電力会社名	中央給電所	地方給電所	合計
	台	台	台
北海道	1	1	2
東北	10	19	29
東京	0	33	33
中部	3	0	3
関西	2	8	10
中国	16	14	30
四国	0	9	9
九州	0	0	0
全国	19	23	42
	51	107	158

(昭28年8月現在)

上表の数字の測定要素別内訳は

電力 — 111
有効電力 — 11
電圧 — 17
電流 — 5
周波数 — 7
水位 — 7
計 — 158

7. 今後の方向

外国ではテレメーターは単に監視測定用のみでなく負荷周波数の遠方制御や開閉器遠方操作が盛んに行われ，その確認用としても重視されて居るが我国では長距離遠隔制御操作は行われて居ない。制御と併せ立体的な効果こそ今後に大に期待される点であるが，他方測定専用として現在給電記録の大部を占める電力量の正確安定なテレメータリングも必要である（現状この点に関しまだ不充分である）。装置自体としても小型低廉化が要望されると共に搬送使用周波数帯域の狭域使用が望まれ，この点への努力が払われんとして居る。

(報告)

活線作業講習会

電氣部送電課

1. 緒　言。

送電を停止しないで高電圧送電線の不良碍子取替，木柱建替等の保守作業を行うこと，これが活線作業である。送電線の活線作業は米国では1914～1917年に開始せられた由であるが，実際に盛に実用化され出したのは第2次世界大戦中らしく，今では殆ど全米の電力会社が当然の事として活線作業を行つて居り，現在の最高電圧送電線である。Hoover Dam-Los Angels 線（287.5KV）も活線で碍子取替が行われている。此の新しい技術の導入は，当社東京事務所長徳田巽氏を主査とする米国電気事業調査会送電部会に於いて提案され，其の後同部会で研究が続けられた。当社では鵜山送電課長（送電部会委員）を中心として，活線作業の必要性，各種装柱・碍子装置時の作業の可能性の研究を行い送電部会に答申して来たが，最終的には同部会によつて作業者の熟練があれば，現在の日本の装柱・碍子装置でも活線作業は可能で且安全であり，又サービス改善其の他の面で効果も大きいとの結論が出された。そこで送電部会では9電力会社の希望を集めて工具購入を斡旋し，又技術指導者の招聘を行うことゝした。此の送電部会の努力の当社に於ける結実が今回8月28日～31日の4日間に行われた活線作業講習会である。

2. 輸入工具の仕様。

今回の工具輸入については，各電力会社より希望作業種類・線路装柱等の提示があり，それを送電部会で検討の上次の作業種目を行い得る工具という条件で見積を取つた。

（1）66ＫＶ以下の木柱及び鉄塔の懸垂型及び耐張型碍子の取替。

（2）33ＫＶ木柱及び鉄塔柱のピン型碍子取替。

（3）33ＫＶのピン型碍子線路の木柱建替。

この仕様に基いて今回工具が送られて来たのであるが，活線作業用工具はその絶縁性及び機械的耐力の範囲内では融通性のあるものであり，154KVの線路でも使用し得る。しかし作業はどこ迄も電圧のかゝつた線路を対象とするもので，失敗即事故となるので，特に機械的強度については工具の定格をよく知悉して作業を行わねばならぬ。尚到着工具のリストは第1表の通りである。

第1表　輸入工具一覧表

a．懸垂型碍子連取替用工具

品　名		数　量
ワイヤ・トング	wire tong (2½″×12′)	1 本
〃	(1½″×10′)	1 本
鐵塔用サドル	tower saddle	2 ケ
ストレイン・リンク・スティツク	strain link stick (1½″×4′)	1 本
サスペンション・リンク・スティツク	suspension link stick (2½″×6′4″)	2 本
ラチエツト・ストレイン・ジヤツキ	ratchet strain jack	2 ケ
ストレイン・ジヤツキ・ブラケツト	strain jack bracket	2 ケ
腕木用ブラケツト	wood arm bracket	2 ケ
作業梯子	maintenance ladder	1

b．耐張型碍子連取替用工具

品　名	数　量
一連耐張碍子取替用工具 single dead end tool	1 組
ワイヤ・グリツプ（カムアロング） wire grip	3 ケ
グリツプ・オール・クランプ・スティツク grip all clamp stick	1 本
コンビネーション・クレードル combination cradle	1 組
二連耐張碍子取替用工具 double dead end tool	1 組

c．懸垂碍子取替に使用する手工具

品　名	数　量
ユニバーサル・ポール universal pole (1¼″×8′)	2 本
コツター・キー・リムーバー cotter key remover	2 ケ
コツター・キー・リプレーサー cotter key replacer	2 ケ
ボールト・ホールダー bolt holder	1 ケ

品　名		数　量
碍子用フオーク	insulator fork	1 ケ
シエフアード・フツク	shepherd hook	1 ケ
ロケーテイング・ピン	locating pin	1 ケ
ラチエツト・レンチ	ratchet wrench	1 ケ
チヤツク・ブランク	chuck blank	2 ケ
絶縁可撓レンチ棒	flexible wrench stick	1 本
ブロツク及びロープ	blocks and rope	1 組

d．ピン碍子取替用工具

品　名		数　量
ワイヤ・トング	wire tong (2½″×12′)	3 本
〃	(1½″× 8′)	3 本
木柱用サドル	saddle for wood pole(2½″用)	3 ケ
〃	(1½″用)	3 ケ
サドル・エクステンション	saddle extension	2 ケ
ストレイン・リンク・スティツク	strain link stick (1¼″×4′)	3 本
ワイヤ・カツター	wire cutter	1
タイ・スティツク	tie stick	2 本
ロープ・スナツビング・ブラケツト	rope sunbbing bracket	1 ケ
ローラー・リンク・スティツク	roller link stick (1¼″×4′)	3 本
レバー・リフト	lever lift	2 ケ
ポール・カード	safety pole guard	1 組
プラツト・ホーム	utility platform	

各工具の構造・使用法については雑誌オーム28年5月号又はオーム社発行の徳田・相木共著「送電線路に於ける活線作業」に詳細に記してある故参照されたい。

3. 活線作業講習会の準備。

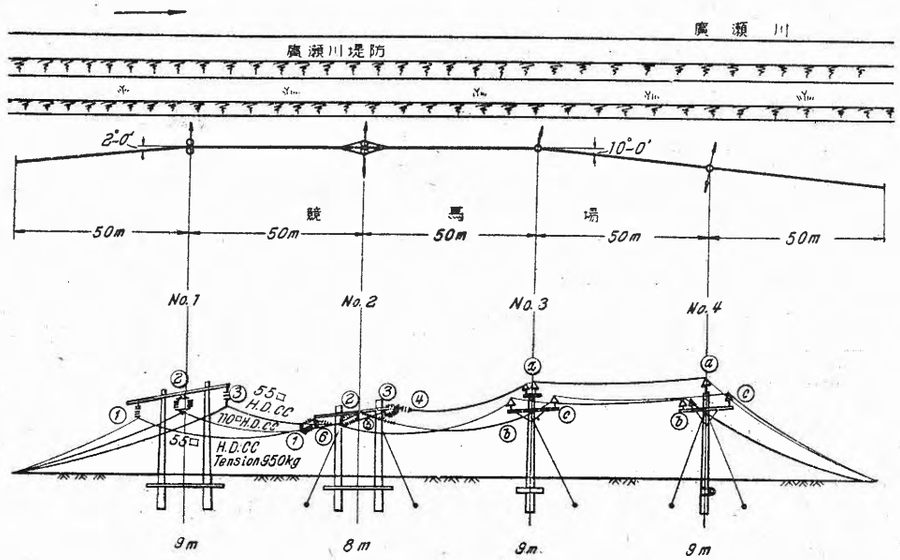
（1）工具運搬用トレーラーの製作。

これは作業現場への工具運搬をスムースに行う目的の為に製作したもので，保線車で牽引する。活線作業では多くの工具を必要とし，その運搬を容易にすることは作業能率向上の上に大きな影響をもたらすので，米国でも工具運搬用にはトレーラーを使用している。今回は米国の仕様を検討し工具保存箱を兼ねて製作したのである。トレーラーは2輪で湿気防止の為気密性となつている。今後活線作業の実施に当つて工具の機動性の上に大きな威力を発揮するものと考えられる。

（2）模擬線路の建設。

当社の代表的な木柱線路の各装柱・碍子装置について短時日の間に講習を受ける為に，仙台競馬場に4基・各径間50mの模擬送電線路を建設した。本模擬線路の平面図及び見取図は第1図の如くであつた。即ち

第1図　活線作業講習会用模擬線路図



1号柱は60KV直線型の標準装柱で，両側線は各々4ヶ進の1連懸垂型，片側はボール・ソケット型，他側はクレビス型の碍子を使用している。中線は4ヶ連の2連懸垂型である。

2号柱は60KV引留型の標準装柱で，片側は60KV，他側は30KV，中線は154KVの耐張型碍子装置で，1号柱側は1連3号柱側は2連である。

3号柱は水平角度10°の30KV単柱でピン碍子の3角配列，上線は電線方向に複碍子装置である。

4号柱は3号柱と同一装柱で，片側線は電線と直角方向の複碍子である。

電線は両側線は55mm²，中線は100mm²の裸硬銅撚線を架設した。此の模擬線路は作業の見学・実習の目的の他，活線作業の当社設備への適応性のテスト・ケースをも兼ねたもので，活線作業を考慮せず，すべて従来の形そのまゝであり，バインド法も停電作業用の所謂コールド・タイを施設した。

4. 講師及び受講者。

本講習は米国の活線作業用工具製作会社である A.B. Chance 会社よりの技術者招聘に伴つて行われたもので，来日技術者は同社副社長 J. T. Isbell 氏及び技師長 G. O. Anderson 氏の2名，特に Anderson 氏は活線作業経験24年の熟練者で，今回の講習に当つても先に立つて昇柱し，手を執つて指導を行つた。

受講者は各支店より送電係員1名及び選抜した優秀な保線員1名の計16名を招集し，本店送電課飯田課員を班長として作業班を編成した。

米国に於いては殆ど全部の保線員が活線作業を行つている由であるが，当社に於いても活線作業を健全に育成する為には，全送電関係者，全保線所員が活線作業に正しい理解を持つことが是非必要である。此の受講者は各支店の活線作業推進の中核となるものである。

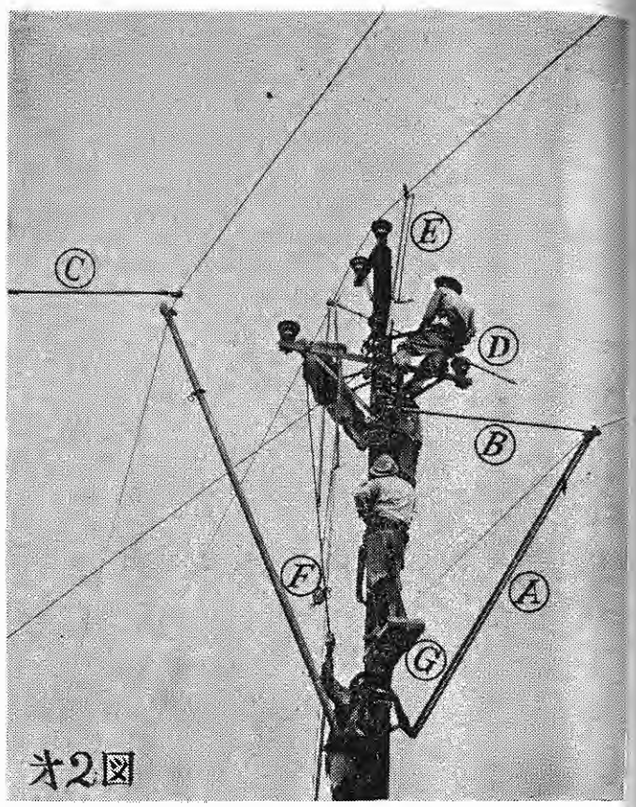
5. 講習会の日程。

講習会の日程は下記の通りであつた。

第1日（8月28日）雨後曇

9:00～9:40　開講式

開講のことば	白川副社長
挨　拶	Isbell氏



第2図

第　2　圖

挨　拶	Anderson氏
挨　拶	徳田東京事務所長

9:40～10:40

工具の説明	Anderson氏

10:40～11:50

活線作業実況映画

（A.B.Chance　Co. 提供）

以上於分館ホール。

午後よりは仙台競馬場模擬線路に移動して，実地作業に移る。

13:00～15:00

66KV懸垂型碍子連の取替。（模擬送電線路第1号柱各相懸垂碍子連）

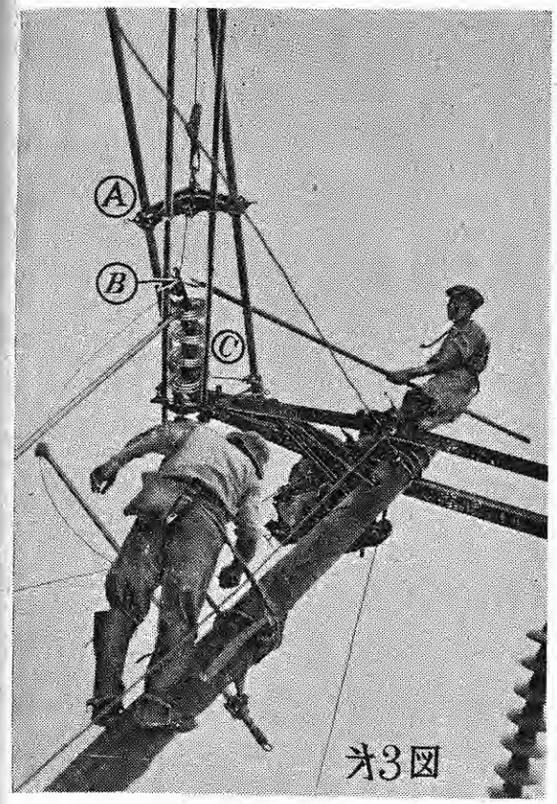
15:00～17:00

33KV単柱3角配列のピン碍子取替。（模擬送電線路第3号柱の各相のピン碍子）

第2日（8月29日）小雨後雨激しくなる。

9:00～14:00

33KV単柱ピン碍子の場合の木柱建替。（模擬送電線路第4号柱）



第3図

第　3　圖

14:00～16:30

雨の為予定を変更し，Anderson 氏を囲んで1問1答式の座談会を行つた。

第3日（8月30日）曇

9:00～10:30

66KV 1連耐張型碍子連取替。（模擬送電線路第2号柱）

10:30～12:20

66KV2連耐張型碍子連取替。（模擬送電線路第2号柱）

13:30～15:00

154KV鉄塔の場合1連耐張型碍子連の取替。（東北幹線第602号鉄塔）

15:30～16:10

154KV鉄塔の場合の1連懸垂型碍子連の取替。（東北幹線第601号鉄塔）

第4日（8月31日）晴

此の日は当社受講者のみで作業を行い，Anderson氏に指示，講評を受けた。此の日行つた作業は66KV懸垂型，33KVピン型，及び154KV耐張型の各碍子取替である。後受講者よりの熱心な希望により定刻の正午を40分過ぎる迄質疑応答を行い，Isbell，Anderson 両氏に名残り惜しいお別れを告げた。

13:40～14:30

活線作業実況映画上映（於分館ホール）

17:00　閉講式

閉講のことば　　亀山送電課長。

6. 講習会の概要。

（1）白川副社長の開講のことば要旨。

活線作業技術の指導の為遠路来日されたイスベル，アンダーソン両氏に感謝の意を表する。当社では保線業務の機械化を計画し，その一部は既に実現した。そして此の機械化には活線作業が必要であり，その研究を続けて来た。活線作業の利益には次のものが挙げられる。

1. 信頼度の点で従来なら2回線の建設を必要とした所が1回線で済む。

2. 停電の減少によりサービス改善が出来る。

3. 損失が軽減され，又無効放流が減少する。

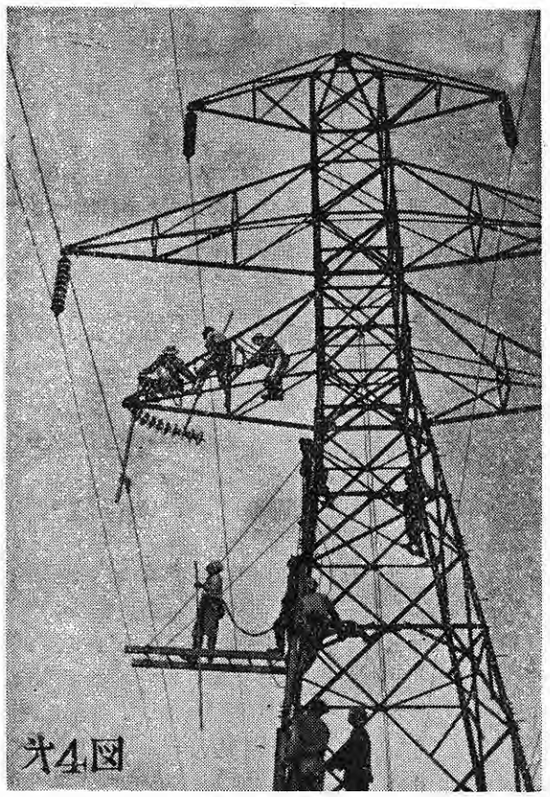
当社の電源開発は順調に進捗し，8月には遂に最大出力100万KWを突破するに至つた。しかしサービス改善の面では未だ充分とは云い得ない。此の意味で活線作業に期待する所は大である。当社の受講者は活線作業に全くの素人であり，両氏に於かれてはさぞ御苦労の事と思うが，先輩としてよろしく御教導頂きたい。又受講者はアンダーソン氏より特に「安全作業法」を学び取つて頂きたい。活線作業に対する期待は大きいが，作業員の生命の危険が予測される場合には，これを実施することは出来ないからである。

（2）作業に就いて。

今回の講習会に於いては，模擬送電線路の項に記した如く，実地訓練・講習の目的に当社設備への適用の難易のテスト・ケースの目的が附加されていた。そして此の面では多少の難易はあるが，熟練さえあれば当社設備はそのまゝで充分活線作業が可能であるとの結論が出た。次に講習会の作業実況寫真2.3について作業の概念を説明する。

a. 33KVピン碍子の取替。（模擬送電線路第3号柱に於ける作業）

第2図は33KV単柱のピン碍子取替作業の実況である。此の寫真に於いては単柱の両側線の電線は既にバインドを解かれ，両外側に押し出されて，今や上線の碍子バインドを解かうとしている所である。図のⒶは太いワイヤ・トング（略称リフト・ステイック）で，先端の金具で電線を噛み下端を特別の金具で支持物に固定



第　4　圖

し，電線重量を支える様になつている。ワイヤ・トングを支持物に固定するのにはサドル，レバーリフト等が用いられるが，此の場合はレバー・リフトが使用されている。Ⓑはホールデイング・ステイツクと呼ばれる細いワイヤ・トングで，太いワイヤ・トングと並べて電線に取付け支持物との水平距離をとる役目をする。Ⓒはストレイン・リンク・ステイツクと呼ばれる張力に耐える絶縁棒で，図の場合は支持物に10° の水平角度があるので電線張力によつて水平方向の分力を生ずるので，これを支える為に此の絶縁棒を電線に取つけ石突にロープを結んで地上より電線を横方向に引留めている。活線作業に於いては此の様にして電線を絶縁棒によつて外側に押し出すのである。Ⓓはタイ・ステイツク，Ⓔはワイヤ・カツターで共にバインド線を解き外すのに使用する。米国に於いては近時ホツト・タイ（hot tie）と呼ばれるバインド法が採用されて居り，これはバインド線の先端に輪がついていてタイ・ステイツクの先端の金具でこれをひつかけて作業する様になつているが，今回の講習会で輪がなくても充分解くことが出来る事を知つた。又Ⓕはブロツク及びロープで，此の寫真の場面では使用されていないが，電線の移動に当つてはこれを使用して柱上に居る人が大きな力を必要としない様にするのである。Ⓖは作業足場用のプラツトホームである。

b. 66KV 耐張型碍子連取替（模擬送電線路第2号柱に於ける作業）

第3図は第3日午前中に行つた66ＫＶ1連耐張碍子の取替状況である。Ⓐは1連耐張型碍子取替用工具で，2本の絶縁棒と電線側・腕金側のヨーク状の金具とから出来ている。これを取つけ又電線をⒷのカムアロングによつて工具に引留めれば碍子にゆるみが与えられるのである。Ⓒは碍子受けのコンビネーション・クレードルである。此の様に設備してクランプと碍子の間の結合を解けば碍子は交換出来る。図は碍子交換が終了してクランプと碍子のコツター・ボールト差込み用の穴を合せている所で，柱上より使用している工具はシエアアード・フツクである。此の作業の場合は工具が中々重く，取付けが大変で，此の時の身体の位置は充分検討の要があり，又コツター・ボールトの抜きさしの時の身体の位置も研究を要する。中々困難な作業である。

c. 154KV の懸垂碍子連取替。（東北幹線2号線第601号鉄塔に於ける作業）

第4図は第3日午後に行つた東北幹線2号線第601号鉄塔に於ける懸垂碍子連取替の状況である。図の如く電線の重量は腕金より吊した絶縁棒で支えられている。此の絶縁棒はサスペンション・リンク・ステイツクで，上端にはジヤツキがつけてある。作業に当つてはジヤツキの操作で電線を引き揚げ碍子連にゆるみを与えてコツター・ボールトを抜いてやるのである。此の作業は概して容易で安全との印象を受け，25分で作業が終了した。

以上で大体活線作業講習会の実況と，作業の概念を摑んで頂けたものと考える。今回の講習会丈で活線作業そのものに対する結論を出すことは時期尚早であり，避けるべきと思うが，一応活線作業が出来るという確信を持ち得たことは大きな収穫であつた。

7. 活線作業今後の計画。

以上の如く活線作業の可能は今や確実なものとなつた。後はこれを如何にして実施するかの問題である。以下此の計画について略述する。今回の作業に於ける印象としては作業の難易は大体次の通りである。

（1）比較的容易で多少熟練すれば可能なもの。

66KV懸垂碍子連取替（鉄塔・木柱）

33ＫＶ ピン碍子取替（但し複式の場合は更に多くの研究・熟練を要する）

33KVピン碍子の場合の木柱建替。

154KV懸垂碍子連取替。

（2）稍々作業困難なるもの。

154KV耐張型碍子連取替。

（3）作業危険で身体の位置等研究を要するもの。

66KV耐張型碍子連取替。

従つて今後は先づ（1）に属する作業を活線時に行うことゝなろう。此の実施に当つては次の事項が考えられる。

（1）作業班の編成。

現在工具は1組なので仙台保線所を中心として活線作業班を編成し，活線専門作業班として各支店へも要請により出張することとする。作業班は少くとも各支店1班を必要とするので昭和30年度を目標に編成を続ける。

（2）作業標準の作製。

活線作業に於いては工具の定格荷重を越えて使用した場合は大事故を発生する恐れがあり，又3～7人の共同作業であるから，作業法の標準化を早急に行うべきである。

（3）保線員の訓練。

停電線路に於いて再三繰返し訓練し，もう事故を起す恐れがない迄に至らせる必要がある。此の為には専門の訓練場の常設も必要かと考えられる。

（4）工具の整備。

工具は1店所1組は必要で，昭和29年度には計8組の整備を希望している。今回の作業を通してジン・ポールの必要性が痛感されたので，此の他2.3の工具と共に整備の予定である。工具は現在輸入に俟つ他ない状態であるが，今後研究を続け本邦に於いて製造出来るものとしたいと考えている。

8. 結　言

上記の如く有益な講習会を終り，各関係者も本作業の実施に当り絶大の熱意を示しているので，本年度末には実際に活線の保守作業が行われ，そして更には機動化された活線作業班の縦横の活躍によつて無停電送電の可能となる日の近いことも充分期待出来る。社員各位に於かれても此の作業の有利さを充分認識せられ，又正しい理解をもつて健全な育成に御助力頂きたいと思う。

終りに本講習会に当り懇切な御指導を賜つたイスベル，アンダーソン両氏，工具購入に又講師招聘に努力された米国電気事業調査会送電部会委員各位，日本機械貿易株式会社，及び終始御指導を頂いた当社役員社員各位特に会場設定に御苦労を頂いた宮城支店の各位に深甚な謝意を表する。　（送電課　坂本記）

（7頁より）

全容量：	100,034,000m³
有効容量：	75,328,000m³
満水位標高：	440.0m
利用水深：	40.0m
門扉：テンターゲート	5.0m×6.0m　8門

VI. 結　言

以上各堰堤の建設並びに計画について，ほんのその概略を記しましたが，電源開発の方針としては，北部では十和田湖，田沢湖の貯水池を主力として，更に経済的に開発可能な自流式発電所の開発を行い，貯水池式発電所と組合わせて電源の安定をはかり，南部では只見川の電源を最高度に開発し，貯水池式のものは出来るだけ大きくする方向に進んでいます。　以　上

附記： 本稿は東北開發研究会ダム建設号に依頼を受けて投稿したものを一部修正したものであるが，此の企劃は極めて時宜に適したものと云える。

近時國土再建經濟復興はダムの建設以外にないと叫ばれているが，綜合開發の多岐な面はさておいて電力事情の面に於ても水源の高度利用と云うことから考えて，今後開發さるべきものは主として人工的大貯水池式によらねばならぬ段階に來ていると考えられる。東北の現狀は猪苗代系が東京電力に歸屬しており，東北に殘された大貯水池の地点としては只見川以外にはもう数多くなく，只見川が生きた開發をされるか否かは東北の運命，ひいては日本の經濟再建の成否を左右することにもなりかねない。幸いにして只見川の開發が本流案に落ちつき田子倉については間もなく歷史的着工を見ることは誠に慶賀にたえないものである。　（中村記）

どんな場合に差押されるか

総務課　岡　崎　信　幸

国税にせよ，地方税にせよ，納税者が税金を完納しないときは，徴税機関は納税義務者の財産上に滞納処分を執行し，之を公売又は随意契約によつて換価し，その換価代金をもつて滞納税額に充当する，所謂強制処分の執行を認められている。一般私法上の債権については，民事訴訟法の規定によつて債権者は国即ち裁判所に権利の保全を要求し，その上に於いて権利の実現を主張するのに反し，租税債権に於いては債権者たる徴税機関は，国税でも地方税でも，国税徴収法の規定によつて直ちに債務者たる納税義務者の財産上に強制処分を執行し，権利の実現即ち滞納税額えの充当をなすことが認められている。

法が斯くの如く一般私法上の債権と異なりその権利の実現について租税債権上に強力なる執行権を認めておる趣旨は，国家活動における租税の任務の重大さを裏付けたものに外ならない。

以下税金を滞納した場合を中心としての国税徴収法について少しく考えてみたい。

1. 国税徴収法の概念

国税徴収法とは，言うまでもなく国税の徴収についての一般的な規定を包括した法律である。然して単に国税のみでなく地方税の徴収についても本法が準用されるのであつて，言わば本法は租税全般についての徴収規定と解して良い。勿論租税の徴収規定は本法のみでなく会計法とか，関税法とか，或は法人税法，所得税法その他地方税法等の中にも随所に見当るのであるが，それらはその固有の租税についての必要特別な徴収手続のみについて規定しているのに反し，本法は租税全般についての徴収手続を規定した一般法である。故に本法の適用にあたつては先ず第一に個々の法律についての徴収規定が適用せられ，然る後の徴収手続について本法が適用されることゝなる。概して言うならば個々の租税法の中には徴収手続について規定してあるもの多数見受けられるが，滞納処分については本法の滞納処分章以下の規定が全面的に適用されることになるのである。

次に本法がその適用上如何なる優先権を附与されておるかについて言うと，個人が夫々の権利を保護せられ安定した日常生活を営み得るのは一ツに法治国家の所以であり，法治国家の根源は租税制度の確立にあることは多言を要しない。故に租税は国家財政上極めて重要であり，租税収入の確保のためには一般私法上の債権よりも更に優位な地位を附与されなければならない。即ち国税及びその滞納処分費は総ての他の公課及び債権に優先して徴収し得る。然して此の場合，地方税及びその滞納処分費は国税と同順位で他の公課及び債権に優先して徴収し得るのである。故に滞納者の財産について民事上の強制執行又は競売等が行われた場合には，徴税官庁よりこれらの執行機関に対して，処分代金についての交付要求をなし得るのであつて，かゝる要求がなされた場合には，処分代金の中から先ず第一に交付要求をなした国税又は地方税の滞納額及び滞納処分費の支払に充て，残余のある場合に始めて強制処分を執行した債権の充当に充てることになる。以上の如く租税債権の取立については，一般公課及び債権よりも更に強力な優先権が与えられているのであるが，かゝる優先権を絶対的のものとするときは，債権者の権利を不当に阻害する虞があり，延いては取引の安全を害することゝもなるので，かゝる優先権の例外が認められている。

即ち，第一に納税義務者が税関係以外の公課の滞納により滞納処分をうけたときは，之等の公課の督促手数料，延滞金，滞納処分費と言つたような共益費用に対しては国税，地方税と言えども徴収上優先し得ない。又第2に質権及び抵当権者が国税又は地方税の納期限より1ヶ年前に権利の設定をしたことを公正証書を提示して証明した場合にも，国税地方税は優先し得ないのである。今国税官庁より民事上の執行機関に対して交付要求をした場合，処分代金に対する徴収上の順位をのべると

1. 公課の共益費用
2. 優先債権（1ヶ年前に設定された質権及び抵当権）
3. 国　　税
4. 地方税の督促手数料
5. 地　方　税
6. 公　　課
7. 一般債権 { 先取特権を有する債権 / 普通債権

の順となる。地方税の徴収機関より交付要求をなした場合は上述の国税と地方税の順位は逆となる。故に国税と地方税との間に於いては，先きに差押なり交付要求をした方が優先するわけである。

2. 徴　収　手　續

税金を徴収するには，先ず第1に納税の告知（令書の発送），第2に督促，第3に必要書類の送達，第4に滞納処分ということになる。

納税義務は法律に規定する事実の発生によつて生ずるが，申告納付以外の納付は，令書の発行により相手方に具体的に納税の義務を告知することによつて租税債権が確定し現実に納税義務者に対して金銭納付の義務を課することゝなる。從つて納税の告知は納税義務の時効（5ヶ年）を中断する効力を有するのである。

納税の告知によつてその納期限迄に完納しない場合に於いては，督促されることゝなるが，督促は滞納処分を執行するために必要缺くべからざる前提要件であるから，督促をしないで執行した滞納処分は無効のものとして取り消される。督促はかくの如く重要なるものであるから，必らず書面によらねばならないのであつて，此の点納税の告知が口頭でもよいのと異なる。督促状に記載する納期限は督促状を発する初日から起算して10日間を経過した日以後であることを要するのであり，之は納税義務者の社会的名譽を重んじ，出来るだけ自発的納付をせしめるために準備期間を与えるという趣旨からである。故に10日という期限を無視した督促は無効である。但し国税徴収法第4条規定の特別の事情による繰上徴収の場合は，督促せずして直ちに強制処分をなし得るのであるから，注意しなければならない。

又督促状に記載の金額に誤りがあつた場合の効力の問題であるが，過去の行政裁判所の判決は（現在は司法裁判所）督促状そのものゝ効力は有効としている。他方学説は仮処ある行政行為として取り消されるべきものとの立場を堅持して対立しているが，一般官庁に於いては行裁の見解にしたがつて有効としている現状である。更に今少しく督促について言うと，督促状の納期限が休日の場合はどうか。納期限が日曜とか祭日とかの休日の場合．その翌日に納付することが有効であることは明白であり，別に問題ないが延滞加算金の計算は何日から始めるか。

税法上の解釈としては次の2ツの場合に別れる。即ち

(1) 所得税のように○月○日と期限が明確に定つている場合，又は納税告知書の期限を○月○日と指定した場合にはその指定日の翌日より起算する。

(2) 法人税のように○ヶ月以内と抽象的に定つている場合は，その納期限の最終日の翌々日より起算する。

督促は発信主義によるのであるから，督促状を発すればその発した日から効力が発生する。以上の督促をして更にその納期限迄に納付しない場合には，差押通知書を発送して滞納処分を執行するのであるが，相手方が差押通知書の受領を拒んだとか，住居所が不明だとかいう場合には，通知書の内容を税務署とか市町村役場の掲示場に掲示するか，或は新聞とか官報に掲載し公告するという公示公告の方法によつて相手方に通知したと同じ効力を発生せしめるのであるが，この場合の公告期間は公告の初日より起算して7日間である。

3. 滞　納　處　分

以上の諸手続を経て始めて徴税官庁は滞納処分という最後の強制処分を執行するのであるが便宜上財産差押と換価処分に別けて述べる。

（1）財　産　差　押

財産の差押とは徴税官庁が強制力をもつて滞納者の財産上に対する処分権を剝奪する行政処分である。

財産の差押がなされる場合とは

1. 納税者が督促をうけて尚その指定期限迄に完納しないとき。
2. 納税者が繰上徴収の告知をうけても尚完納しないとき。

等であり繰上徴収をうける場合とは，滞納者が

（1） 国税，地方税その他の公課の滞納により滞納処分をうけたるとき。
（2） 強制執行とか破産宣告をうけたるとき。
（3） 競売に付されたるとき。
（4） 納税人が脱税をする虞あるとき。
（5） 其の他（省略）

等々の場合であり之等の場合には未だ納期が到来していなくても，徴税官庁は繰上徴収をする旨の告知をしてその期限迄に完納しないときは督促をすることなく直ちに滞納処分を執行し得る。

然して差押は動産，有価証券，債権，不動産，船舶その他債権又は所有権以外の無体財産権等少くとも金銭又は金銭に換価し得るものであれば，後述の差押禁止物件を除いてすべて差押が出来るのである。但し法は個人生活の最低限度の保証並びに社会秩序の維持という観点から以下の如き物件に対しては差押を出来ないものとしたのである。即ち

1. 法第16条の規定する諸事項

例えば生活上缺くべからざる衣服，寝具，厨具，6ヶ月の食料，薪炭，農業上缺くべからざる器具，肥料，牛馬，種子，実印，祭祀礼拝に必要ある物，石碑，系譜，職業上の制服，法衣勲章，修学上必要なる書籍，職業又営業上欠くべからざるもの。

（こゝでいう職業又は営業上缺くべからざるものとは自己の心身そのものが所得の根幹であつて，生活の大部分を自己の心身の労仂により維持している者，例えば弁護士，医師，大工，左官等及び零細な設備を持つ業者等をさす）

又俸給，給料賃銀，恩給才費等は25%（税込）迄差押ができる。

2. 法令による差押禁止物件

（1） 譲渡性を有しないため差押に適しない財産
例えば身分上の諸権利，地役権，先取特権，質権，抵当権，商標権，裏書禁止手形等

（2） 法令の規定により差押を禁止されておるもの
例えば商法689条（発航準備終了の船舶）信託法16条（信託財産に対する執行の禁止）失業保険法25条（受給権の差押禁止）労仂基準法83条（補償を受ける権利の差押禁止）

（3） 法令の規定により譲渡を制限されているもの
例えば商法73条，154条（社員の持分権譲渡制限）
日本発送電株式会社法35条（発送電設備の譲渡制限）
小切手法14条，15条（譲渡制限）
ガス事業法16条，国有鉄道法46条

3. 法第17条に規定する条件附差押禁止物件即ち

（1） 農業に必要なる器具，種子，肥料，牛馬及その飼料

（2） 職業又は営業に必要なる器具及材料

之等のものは農業上又は職業上必要なものであるから，之等のものが差押えられた場合は滞納者に於いて他の代替物を提供することによつて之等のものについての差押を免除してもらうことが出来るのである。要するにかゝるものに対する差押がなされたときは，差押物件の選擇権が滞納者にあるのである。こゝで注意を要することは農業上又は職業上（営業上）必要缺くべからざる器具其の他等は法第16条によつて差押が禁止されているが，その必要の限度が「缺くべからざるもの」迄に達しない単に必要なものについては17条の条件付差押禁止物件に入り，差押は出来るのであるが，滞納者に於いて代替物をもつて代えることが出来るということである。

茲で仮定として電力会社が滞納により強制処分をうけた場合，差押物件で問題となる点を列記すると

(イ) 發送配電設備

日本発送電株式会社法が存続していた当時は同法第35条の規定によつて，発送配電設備の譲渡は禁止されていたので．法令による差押禁止物件としてその差押の不能は明確であつたが現今に於いては同法は存続していない。

然し公益事業令第35条第1項に「公益事業者は通商産業大臣の認可をうけなければ，公益事業の用に供する設備を譲渡し又は所有権以外の権利の目的とすることが出来ない。但し通商産業省令で定める設備についてはこの限りでない」と規定してある。更に電気事業関係公益事業令施行規則第12条の2には「令第35条第1項但書の規定による同項本文の事業設備の譲渡等の認可を要しない設備は譲渡価格及び帳簿価格が何れも1千万円未満のものとする」と規定してある。

以上のことからして発送配電設備は譲渡価格及び帳簿価格が1千万円以上のものは，すべて譲渡については主務大臣の認可を要することゝなり1千万円以下のものは認可を要しないが．これに該当するものは僅少であらうし，大部分は差押について主務大臣の認可を要するのであるが，かゝる公益施設に対しての譲渡認可は先ずされないであらうし，仮に認可されたとしても徴税官庁は如何にして換価するか競売，入札或は随意契約をしたとしても買手はないであらうし，又政府買上げをするとすれば電気事業の民主化に逆行し政府の政策と相反する結果となる。結局発送配電施設に対する差押は事実上不可能と言えるであらう。

(ロ) 水 利 權

水利権は民法上の無体財産権であり，無体財産権に対しての差押は可能であるから理論上では水利権に対しての差押は可能と言える。しかし水利権の獲得は所轄官庁の認可を得ねばならない。市町村が水利権の差押について所轄官庁に対して認可申請をしたとしても前述と同じ理由によつて許可されないであらうし，仮りに許可したとしても如何にして換価するか，結局かゝる差押は事実上不可能と思われる。

(ハ) 見 返 資 金

見返資金は，以前は大蔵大臣即ち政府が貸主であつたが，現今は開発銀行に権限が移行しているので，この貸借関係は一般私法上の債権債務とも言える。だとすれば之に対する差押は可能なわけであるが，他面見返資金の用途は「公共の用」ということに限定されているのでこゝに一般私法上の債権債務とは性質を異にしているのであつてこの点如何に考えるべきか。今のところ之に対する明確な回答はなし得ない。今後の研究を要する問題である。

その他は電話加入権でも或は銀行予金でも一切差押は可能と言える。

（2） 換 價 處 分

次に換価処分であるが，方法としては (1)公売 (2)再公売 (3)随意契約 (4)政府買上の4段階に別れる。更らに公売には競売と入札の2方法があることは御承知の通りである。

公売の場合には予めその旨を徴税機関の掲示場へ掲示するか，或は又新聞官報等に公告されるのであるが，公売は公告の初日から10日を経過した後に執行されるのを原則とする。又公売をする場合は，公売参加者及び落札人，競落人より加入保証金，契約保証金等を徴収することゝなる。

公売の場合誰でも無制限に買受人となれるかというと法は一定の制限を設けている。即ち

1. 保証金を要する場合，保証金を納付しない者又は保証金の額が見積価格に達しない者
2. 本法第26条該当の者即ち差押を受けた者及び売却をなす地方の税務官公吏員並びに雇員
3. 売却すべき財産の性質が入札者又は競落人をして権利者となし得ない場合

等である。

公売として買受人がない場合は再公売又は随意契約によつて換価されるのであるが何れの方法によるかは収税官吏の任意である。再公売をする場合は

1. 財産を公売しても買受人がない場合又は買受人の買受価格が見積価格に達しない場合
2. 落札人又は競落人が売買契約を締結しない場合及び買受代金を納付しないため解約した場合

等である。然して再公売のときは公告期限の10日は短縮できることゝなつている。

次に再公売をしても尚買受人がない場合には随意契約によつて処分されるのであるが，随意契約には2ツの意味があり，1ツは公売又は再公売をしても買受人のない場合，収税官吏において適宜買受人を選定して売買契約を締結する方法であり，1ツは下記の如く売却物件の性質上公売に付するを不適当とするときである。即ち

1. 公売すべき物件の価格が統制関係法規に基き一定の額に定められている場合
2. 需給関係統制法規の適用をうける物件
3. 安寧秩序を保持するため特別の取締法規により所持販売を制限されている物件
4. 前各号の外，公売に付するに関し一般の競争に付するのを妥当としない場合

等である。斯かる場合は最初から公売に付することなく随意契約によつて処分される。

以上の処分方法の他に最後の処分方法として政府買上があるがこれは以上の3ツの方法によつても尚且換価出来ない場合である。

（地方税の差押財産については政府買上ということはないので念のため。）

4. 滞納處分執行の所轄庁について

滞納処分は原則として滞納者の滞納税額の所轄官庁が行うのであるが，差押財産が所轄官庁の管轄外にあるときはその財産の所在地の所轄官庁に引き継ぐことが出来ることゝなつている。従来はかゝる場合は必らず引き継ぐことを要したが，改正により滞納者の滞納税額を所轄する官庁に於いて直接管轄区域外に出向いて差押その他必要な処分を出来ることゝなり，又それが事実上出来ない場合は財産所在の所轄官庁に引き継ぐことも出来るとされた。

5. 異 議 の 申 立

徴税官庁のなした賦課，徴収，滞納処分等に対して異議ある場合は，国税に於いては先ず第1に処分をなした税務署に対し再調査の請求をなし，第2に再調査の請求に対する処分について不服ある場合等は上級官庁に審査の請求をなし，更に不服ある場合には裁判所に対して訴訟を提起することが出来ることになつている。

即ち行政処分に対する異議の申立は訴願前置主義にあり先ず第1に必らず行政官庁に対して請求し，然る後に於いて最終的に裁判所に訴訟を提起することになつているのである。

以上国税徴収法というものについて必要と思われる点のみを簡単に申し上げたつもりであるが，要するに本法の趣旨は悪質な滞納者に対しては何処までも追求し，以つて租税収入の確保を期さうという，極めて厳格なる態度をとつているが，又他方不当なる処分に対しては数段階にわたる異議の申立を認めて以つて納税者の立場を保護しているのである。

ランドロバーの実績に見る

会津現業部　尾　形　　正

はしがき

国民性はあらゆる面に現われるものであるが，英国車には堅実なその国民性がよく出て居り，仏伊の自動車の天才的なひらめきや芸術的な効果はないし，又米国車のような豪華な明るさもない。然し正道を歩んだしつかりした技術を基にして着実に進んでいる。

現在の英国車は他の工業と同じく，その大部分が輸出向として考えられ売出されている。社誌 No.10 に紹介されたランドロバーは，英国車の中でも珍らしい特殊なもので，乗用，運搬はもとより広く農業，工業用に使用できるように設計され，そのボデーは強じん性を主眼として製作されている理想的な4輪駆動車で，全長 3,35m，全巾 1,55m，軸距 2,03m，車輛重量 1,182kg である。

乗心地がよく，しかも経済的で，悪路にも平坦な道路と同じような安易さがある。

ランドロバーが会津現業部管内に配車されたのは昨年5月で，その後増車されて，現在は若松，只見間を30台近くになつている。

過去1年を顧みるとこの特殊な車体に対する無知より，運転員は大分苦労したのであるが，この間の種々の経験を生かして，現在全社管内に稼動しているランドロバーの運営に対して何かの参考とならば幸いである。即ち別表の実績は現業部と各建設所の車輛による統計であるが，燃料及び潤滑油等に於て徹底統一されておらず，現業部（もづ，つる，つばめ，かわせみ，はと）と本名（きつつき，らいてう，せきれい，びばり）では高オクタンと言われる「アポロ」を使用し，他では「カルテツクス」「スタンダード」「富士」等を使つているが，1キロ当りの燃料消費量に著しい差が出て来ている。只見川筋の悪路に於けるこの実績は，ランドロバーの経済的な優秀性を示しているが，一方運転員や関係者の不断の努力と研究によつて，ランドロバーの長所短所を把握し，その運営に大きな支柱となつている。

長　所

ランドロバーのエンジンは，F型であるが現在広く使用されている L型 I 型エンジンに比べて，圧縮比を高めることができ，従つて燃料の経済を図り，走行中のノツキングを未然に防止できる性質をもつている，為に高オクタンガソリンを用いることによりノツキングを防ぎ山道を軽快に走行できる。

又回転数が高いためガス体の流通がよく，発進に於いてもエンジン自体に無理がかゝらず，長期間の使用に堪え，内部のシリンダーブロツクは他車に比べて相当固く出来ており，それに伴いピストンリングが軟質となつているので，リングの交換のみで他車輛の倍の走行粁数に堪える。

このエンジンは内部外部と非常にこみ入つているので，解説書により定められた期間の調整等は怠つてはならない。

シヤシーは非常に弾力性があり，軟質とまではいかないが優秀なスプリングを使用し，ショツクアブソーバーはリヤフロントに各2個（筒型式）取付けてあり，スプリングの振動に対し衝撃及びその反動とをば完全に緩衝する。

ストブレーキはガーリング型油圧式モールデツトライニングよりやゝ軟質なものを用いているのは，車輛の重量の軽いためで，フードペダルを軽く押せば足りる。なおハンドブレーキは直接トランスミツシヨンシヤフトに作動し後車軸に作用を及ぼす。これはロツドにより機械的に作動されるのである。後車軸は半浮動式であり，ラセン傘型で，比は4.7:1である。

ジヤーナルベアリングの調整は自由にやれるので便利である。又ウオームナツトは特殊砲金製のリン青銅を使用しているため長期の使用に堪え油不足の場合摩耗してもケースを傷めることがない。

ランドロバー輸送実績表　（4月～6月）

車名		所属	4月							5月							6月							合計							備考
			走行粁数	燃料消費量	油脂	潤滑油	修繕費	円/km	走行粁数	燃料消費量	油脂	潤滑油	修繕費	円/km	走行粁数	燃料消費量	油脂	潤滑油	修繕費	円/km	走行粁数	燃料消費量	油脂	潤滑油	修繕費	円/km		
もづ		現業部	粁 5,700	立 635	円 21,385	立 1,490	円 8,669	0.11	粁 4,051	立 420	円 14,490	立 1,490	円 5,458	0.10	粁 4,230	立 435	円 14,796	立 1,490	円 24,187	0.10	4月燃料 日石カルテックス (72)
つる		〃	3,040	330	11,037	1,000	4,013	0.13	3,460	415	14,317	1,000	5,809	0.11	3,440	450	15,500	1,000	25,485	0.13	5月 〃
つばめ		〃	1,020	120	4,013	500	16,823	0.10	3,134	320	11,040	1,000	2,742	0.10	3,814	469	13,600	1,000	34,253	0.10	6月 〃 } 出光アポロ (75)
かわせみ		〃	4,064	503	16,823	2,000	7,535	0.12	6,624	490	16,905	2,000	1,478	0.07	4,969	418	14,212	1,000	28,111	0.08	
はと		〃	2,456	250	8,361	1,000	12,025	0.10	3,211	500	17,250	2,000	55,251	0 15	3,752	555	18,870	2,000	56,558	0.14	
計			16,280	1,835	61,622	7,000	49,212	0.11	20,489	2,145	74,002	8,490	65,738	0.10	20,206	2,258	76,772	7,990	168,594	0.11	
たか		片門	3,928	748	25,508	3,000	7,280	0.19	3,585	672	23,187	3,000	1,090	0.18	2,404	768	25,734	3,000	1,655	0.31	4月燃料 } スタンダード (72)
とび		〃	2,774	457	15,354	2,000	7,500	0.16	2,777	493	16,830	2,000	150	0.18	1,951	580	19,430	2,000	1,545	0.29	5月 〃
計			6,702	1,205	40,862	5,000	14,780	0.17	6,362	1,165	40,017	5,000	1,240	0.18	4,355	1,348	45,164	5,000	3,200	0.30	6月 〃
はやぶさ		郡津	1,897	282	@34.50 9,568	1,000	15,450	0 14	2,239	317	@35 11,095	1,000	620	0.14	2,614	373	13,055	@34.56 1,000	12,230	0.14	4月燃料 } スタンダード (72)
こまどり		〃	1,940	401	13,634	1,000	24,750	0 20	2,606	490	17,150	2,000	2,535	0.18	2,851	448	15,680	1,000	10,550	0.15	5月 〃
計			3,837	683	23,222	2,000	40,200	0.17	4,845	807	28,245	3,000	3,255	0 16	5,465	821	28,735	2,000	22,780	0.15	6月 〃 } 出光アポロ (75)
やまがら		宮下	1,988	382	@34.50 13,539	1,000	16,740	0 19	3,209	560	@34.50 19,680	2,000	11,260	0 17	2,929	560	19,430	@34.56 1,000	3,850	0.19	4月燃料 } 三菱石油 (?)
計			1,988	382	13,539	1,000	16,740	0 19	3,209	560	19,680	2,000	11,260	0.17	2,929	560	19,680	2,000	3,850	0.19	5月 〃 } 富士石油 (?)
																					6月 〃
めじろ		上田	2,350	580	@35 20,300	2,000	20,495	0 24	2,018	620	@35 21,700	2,000	3,300	0.30	3,295	630	22,050	@35 2,000	23,800	0.19	4月燃料 } 三菱石油 (?)
しらさぎ		〃	2,950	590	20,650	2,000	20,695	0 20	3,400	680	23,800	3,000	3,045	0.20	3,485	697	24,395	2,000	2,670	0.20	5月 〃
計			5,300	1,170	40,950	4,000	41,190	0.22	5,418	1,300	45,500	5,000	6,345	0.23	6,770	1,327	46,445	4,000	26,470	0.19	6月 〃 } 日石カルテックス (72)
きつつき		本名	4,192	655	@35 22,925	2,000	12,350	0.15	5,387	626	@35 21,910	3,000	5,298	0.11	4,096	660	23,100	2,000	700	0.16	4月燃料 } 出光アポロ (75)
らいてふ		〃	1,765	350	12,250	1,000	9,940	0.19	2,109	400	14,000	2,000	8,246	0.18	2,531	450	15,750	2,000	2,350	0.17	5月 〃
せきれい		〃	4,373	600	21,000	2,000	11,012	0.13	4,722	750	26,250	3,000	25,836	0.15	3,770	550	19,250	2,000	5,590	0.14	6月 〃
ひばり		〃	3,126	564	19,740	2,000	9,300	0.18	3,474	582	20,370	2,000	7,561	0.16	1,475	322	11,270	2,000	73,765	0.21	
計			13,456	2,169	75,915	7,000	42,602	0.16	15,692	2,358	82,530	10,000	46,941	0.15	11,872	1,982	69,370	8,000	82,405	0.16	
合計		〃	47,565	7,447	256,111	29,000	204,724	0.15	66,016	8,335	289,975	36,980	134,779	0.145	51,607	8,296	286,666	29,990	307,299	0.16	

クラツチに乾燥単板 230mm 直徑で，戻り裝置「スラストベアリング」はミツシヨンから潤滑されているので，注油の必要がない。

4輪駆動は高速比及び低速比にわけて何れにも望む通り1本のレバーで運転出来るが，使用の際は一旦停止の後に行い，これは必ず厳守せねばならぬ。

フユエルポンプは電気圧力式であるため，気化器の補給は容易であるが，ポンプのポイントが焼き切れると作動がなくなるのでたまたま点検を要する。

ウオーターポンプは水温調節器ファンが取付けてあり軸のボールベアリングには注油の必要がない。

以上は長所を列擧したまでゞあるが．当部の実績により短所を述べてみたい。

短　　所

エンジンヘツドは倒立V型であり，圧縮渦流を増大するが，当部管内の最高走行粁数平均 35,000Kmを数えているので，オーバーホール，ボーリング等を考えると東京以外の修理工場には部品等少く，まことに不便で，至急解決する必要がある。

ガソリンはオクタン価75以上のものでないと多少の勾配にノツキングを起すので燃料について相当の研究がいる。当部では管内の燃料をアポロに統一したのであるが，その実績は顯著である。

スプリングのヘタるのが非常に早く，これは建設関係などで積載量の多い関係もあるが概して良いとはいえない。

フレームが他車輛と異り全部箱型のため板金叩き出し等に相当の不便と時間を要する。

ライニングが軟質のため，摩耗率が他車輛より早いので注意を要する。

スピードメーターは，これは国産品も同じだが切れる率が高いようである。

ナツクルベアリングのガタが甚だしく摩耗が大きい。

プロペラシヤフトにガタが出来走行中に雑音が起るが多数の車にこれが見られる。

ウオーターポンプのカーボンシールカーが摩耗し，漏水を起すのでベアリングの交換に万全を期すことが必要である。

1年間種々検討を加えたのであるが，従来の国産車と異りクラツチペダルやゝ下方にふむ様になつているので不便を感じ，シートを高くすることにより補つている。又ハンドルよりチエンジレバーの間が短いためチエンジに於て多少身体を動かさねばならない。

走行中によくあることであるが，ボートやナツトを紛失した際応急修理がきかない。標準規格により現在使用されているピツチはSAA及びUSSメートルネジ等で，ロバーピツチは前者の中間をとられて居りスパナーも同様サイズで，当部では新たに製作して用いている。無理に合せようとすればピツチをこわすからつゝしまねばならぬ。

潤滑油は解説書の記載に従つて，バキユームモビルオイルを使用している。建設現場は泥濘や塵埃の多い悪条件下にあり，走行キロ数も毎月平均3,500Kmを突破しているのでエンジンオイルの交換，ギヤボツクス，トランスフアーボツクス及び車輛のオイル交換に於ては月4,5回も行つている。短い期間に度々潤滑油の交換を行つても車輛に害はなくむしろその寿命の点に於てプラスとなる。潤滑油の給油はゆめ怠るべきでない。

せせらぎ　**業務機關表という名の厄介もの**

Burdensome生

大変小さな事である。こゝにかくことさえはゞかられる程の事であると思う。しかし業務上の文書のやりとりでは一寸簡単にとり上げて貰えそうもない。そこでこんな形で希望を申し述べるのである。

問題は業務機関表

最初配布された時は会社の業務機関が一目瞭然，誠に便利この上なきものと本店の方々の頭の良さに三嘆四嘆したのであるが，さて社報に「社則第00号業務機関表の一部を次の通り改正する」と出る度にこのうるはしく尊き業務機関表を削除挿入訂正，いや完膚なき迄に傷けそれでも足らずカサブタの如く紙を貼り付け頁をさし入れ，細字かきの名人よろしくクチヤクチヤと書込んで行かねばならず，こりやとんだ厄介ものをせおい込みました。

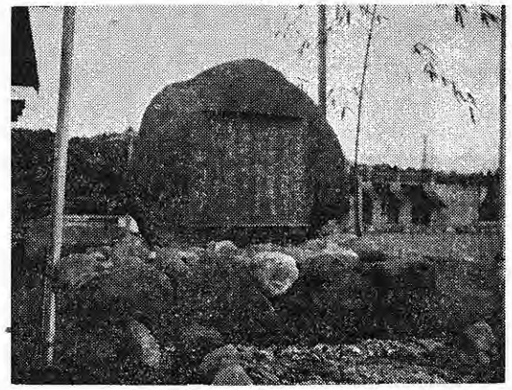
外の支店ではどうやつているか知らないけれども，私の所では全く手を上げました。

一寸金がかゝりましようが一機関一頁のロード式にして訂正の都度加除する事にしたら如何なものであろうか。今のまゝで行くと，遠からず支店には正確な業務機関表は一部もなくなつてしまいはしないかと思う。

いやしくも業務機関なのだから金の背文字を入れた台帳におさまつても失礼ではあるまいと思うが如何？　　（青森支店）

100万キロ突破の様相

＝柳津片門見聞記＝



会　長　碑（片門発電所）

「昨日はいよいよ竣工式だが，この空模様ではどうやら雨ですね。100 ミリの雨が降るという気象特報が出てるというじやないですか。」

後藤建設所長「発電所の竣工式なんてものはむしろ雨が降つた方がエンギがいゝんだ。これから大いに雨が降つてフル運転が続くようにね。起工式は困る。工事の時は雨はいけない。」

以上は8月25日，即ち柳津，片門，沼沢沼，宮下発電所竣工式の前日後藤壮介所長と記者との会話であるが翌26日は朝から晴天，エンギの良し悪しはとも角として結構な日和であつた。

会場にあてられた柳津中学校の校門には緑のアーチが飾られ，祝賀の花火のとゞろくうちに官民の来賓がつめかけて，ぬかるみの校庭には大型バス，ハイヤーランドロバーなどが並んで群がる子供達を喜ばせた。

会場はにぎやかに飾りつけられ，400 人以上の席を設けたので肩と肩とが接する盛況である。10時杉田次長の司会により開会，北松会津現業部長が登壇するや，3,000 ワツトのスポツトライト3台が一斉に照射，さすがの北松さんもタジタジとなる。これは当社のP.R映画撮影用のもので，北松さんが報告をはじめるとクランクが廻り初める。他にNHKテレビ班のカメラ，ニユース映画，その他の16ミリカメラ，新聞社その他の普通のカメラなど，大小とりまぜて数十台があつた。

北松さんは26年12月極寒の中での困難な着工以来，従業員も請負者もよく無理な要求を容れて仂いてくれ，今日の竣工式を擧げることの出来た喜びを述べた。続いて社長が登つて，従業員の努力と各方面の協力によつて東北電力は 100万キロを突破するに至つたことを述べ，続いて資源庁長官，建設大臣，福島県知事，県会議長，柳津町長の祝辞があり，祝宴に移つたが，会場の中央で突然会長が立ち上り，元来あまりしやべるのが好きでないのだが，隣席の平井局長のすゝめにより一言述べる，本日は御多忙の中参会されて感謝にたえぬ，皆さんの健康のため乾杯しよう，と杯を擧げて祝つた。

白洲会長がこういう席で発言することは極めて稀であり，如何に今回の竣工を喜ばれたかを察することができる。同様の意味で柳津，片門発電所の記念碑は会長の筆であるがこれも珍らしいものである。柳津と片門合せて合計8万8千キロという電力を生み出した仕事は何といつても大きな意義のあることである。そして当社独特の設計によるダムと発電所を一直線上に置いたスタイルは劃期的な意味を持つている。

こういう設計はどういう利点があるのでしようか，と片門発電所の第二工区の関さんにきいてみた。

「それは何といつても工費が節約されます。どの位の割合で節約されたか分りませんが，20%から30%方安く出来ているのではないかと思います。これだけの出力の設備を30億足らずで仕上げたのは特筆すべきことだと思います。大工事だ何だといつて大きい費用をかけたのを誇るのは一体間違いで，優れた設備をいかに安く作るかということが，技術者の使命です。」

「然しそれだけ施工の苦労はあるでしよう。」

「あります。26年12月の着工当時はダムの位置がこれより80メートル下流でありました。それを変更したのはでで，27年になつてからボーリングをやり直したわ急ぐので細かくやるわけにはいかぬ。どうしてもボーリングの間隔が大きくなる。丁度運悪くボーリングとボーリングの間に深いところがあつたのです。これで当初の予定よりも掘さくが 2,000立米も多くなつた。西松建設も大分犠牲を払つたけれど，私どもも気が気でなかつた。

28年の3月3日に突然 800個の雪どけ水が出て，丁度午頃に下流の締切りが破壊され，そのため工程が15日ほど狂つて来るおそれが生じたのです。これをとりもどすために大変な努力をしましたが幸い何とかやり

とげました。

それから27年の８月15日が建築の方へ渡す期日なのですが，それまでに土木の方は完全に終えなくてはならない。丁度水車のフロアが川床の線になつているので，水車の入る部分が壺掘りとなつたわけでした。こういう川底に建てる発電所は，山の裾に作る場合と違つて，掘つた土砂をあげるのだから厄介でしたが，何としても８月15日に合せなくてはならないので，１日に多い時は 600立米ぐらい掘つたこともあります。然し西松さんは下請けを使わず直営でやつてくれたので話がすらすら運んでやりよかつたようです。それに大きい会社だから細かいことも言わず我々としては幸いでした。」

間さんの坐つている背後は，床から天井までガラス張りの窓になつていて，その直下は放水口である。ごうごうと水音が室内まで響いて来る。明るい事務室を出て玄関へ出る廊下は発電機室を見下す５階になつていて，つまり玄関が５階にあるわけである。そこを出て上流側を見渡すと満々と湛えられた調整池が湖水の如く，水上をすべるランチも見える。ダムを渡つたつき当りは，北松さんの雄こんな筆になる四角い慰霊塔があり，これを中心にして庭園となつて居て，あづまやなどがある。青服の囚人が談笑しながら芝張りに仂いていた。

建設所で伊与久次長に感想をきいてみた。

「そもそも片門も柳津も18ヶ月という短期間で完成した理由は天佑に恵まれたためと思つている。まず着工の26年から27年にかけての冬に雪が少なかつたということ。このため仮締切が非常に順調に運んだのです。それから台風などによる洪水がなかつたこと。そのため工期が予定通りに進んだ。，それは今年の３月のような出水もありましたが，全体から見るとまあ被害を最少に食い止め得ました。

それと他に工法の進歩していることと，労務関係がよかつたことがあるでしよう。全く工事の機械化は目ざましいものであつて，昔の工法とは全く違つています。 それから労務者のことで特筆すべきことはP隊(囚人)の使用です。 250名ほど使いましたが，非常に規律正しくして統一がとれ，命令一下献身的な作業をやつてくれ，これが他の普通の労務者を大分刺戟したようです。こういう言い方は非民主的という非難があるかも知れないけれど，こういうやり方にも長所があり，危険な困難な作業には適したやり方と言えるでしよう。

補償問題はやはり大きな問題でしたが，幸いにも地元の協力によつてすらすらとはいかなくても解決しましたが，これは我々として地元の方に感謝せねばならぬところです。

然し補償の具体的交渉の最中に丁度保安隊用地の接収による補償基準が決り，それが我々の基準と大分開きがあつたので，交渉は大分難航しましたが，県の仲介により関東や関西の二毛作地帯と山間の耕地との相違を勘案してようやく田一反歩12万５千円という線に落着いたのでした。柳津と片門の建設で水没又は潰された土地は，田，畑，山林原野，宅地など合せて72町歩，家屋の水没は片門で９戸，柳津で39戸，補償額は金額にして１億３千４百万円，他に県道補償が５千万円もありましよう。水没した方々は気の毒ですが，幸いこの附近に換地があり，新しく建つた家などは一番立派な家は16室もある豪壮なもので我々など羨しいくらいです。」

柳津へ着くと連日の雨で増加した水が余つてゲートを２門開けてあるので，巨大な滝となつて流れ落ちた水がダムのエプロンの端に作られた双型堰に当つて吹き上げ天に柱するという勢で白煙をあげている。

鈴木土木課長に会つてお話をきいた。

「柳津発電所建設工事の特徴は工事現場の狭いということです。川の両側が迫つて平地が少く，民家が近接しているので，いきおい工事が立体的になる。そこへもつて来て工期がつめられているから何もかも一諸になつて，26年12月時あたかも降雪期に，仮設備工事と本工事，運搬，側線工事，これらを一せいにスタートさせたわけです，仮設備工事と本工事を一諸にやるのは不経済な話でもあり，やりにくいものですが仕方がない。それで工程の組合せには慎重を要し，各種の仕事が少しのズレもなく進行しなければならぬわけです。それからこの工事は18ヶ月かゝつたわけですが，冬に初まつたゝめに冬が２回だから18ヶ月のうち８ヶ月は冬期工事でした。昔ならばこの期間は冬ごもりで何も出来ないが，今はブルで雪をかいてどんどん進められる。然し積雪と寒さのために工事の進行が阻害されることは当然です。それでもやりとげたのだから大へんな努力でした。」

柳津と片門は同時に着工したのですが，柳津の方が仕上げが遅れています，これはいろいろ条件が違うためであつて，例えば掘さくの量が片門より３万立米も多いし，従つてコンクリートの打設も立ち遅れているし，その量も多かつた。工事量が相当多かつたのです。然し片門の方が能率が悪いのかと言えば，そんなことはない。 片門の方も予定以上に進行したのです。

それからこの工事の苦心では発電所基礎掘さくの際湧水が多かつたことです。多い時は１立方米毎秒出ました。発電所の工事はダムの場合と違つて，電気の方と建築の方が待ちかまえているから非常にいそがしい。８月15日に建築の手へ渡すために大変せかれました。

工期の短かい上に従業員の少いのがこの工事の難点でした。従業員は肉体的には勿論，色々と制約が多くて精神的にも負担がかゝり大分いらいらして皆やせてしまいました。まあ皆よくやつてくれた，と申す外ありません。前田建設もこの川筋を既に数カ所手がけて居り，豊実，新郷，山郷，宮下，沼沢沼の一部は前田さんの施工ですが，そのせいもあつて手順よく手なれた工事で色々と好都合な点がありました。

柳津発電所のダムの上は自動車が充分通れるほどの広さで，対岸の部落の人も通行している，この上から見下すと物すごい水が耳を聾して落ちているが，ダムにはいさゝかの振動も感ぜられない。こゝも片門と同じく発電所建家の５階が入口である。川に面したガラス窓は全部閉じられ，「水しぶきで濡れるから開放を禁ずる」旨の貼紙がしてあつた。」

黒岩電気課長にお会いして感想をきく。

「それは苦心というものはいくらでもありましたが，ちよつと表現出来ないものがありますね。そして出来上つてしまえば忘れてしまうものです。然し毎日の工事のデテイルの記録がこゝにまとめてありますから，これを見れば当時の苦心が思い出せます。」

と言つて分厚いデーターをとり出したが，のぞいてみると簡単な図入りで毎日の工事の状況を記録してあり素人には到底分るものではない。

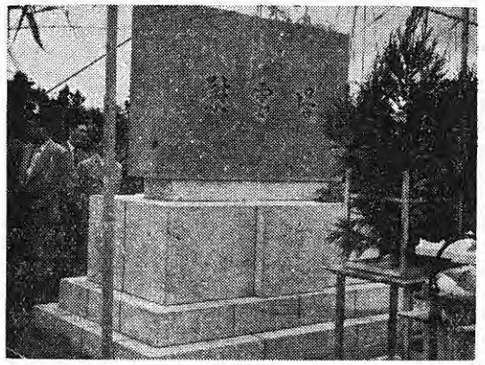
「こゝに水車ケーシングの搬入状況が記録されています。これは15トンの重量物ですが，クレーンがないので二股でけで20メートル下まで下すのです。真直に下すのたらまだ楽ですが，階段状に大きな角が三つもあるので斜に下さねばならない。少しでも衝撃を与えることはできないので，その取扱は慎重にやらねばならない。ところが一方では土木工事が盛んに進行中たので現場は型枠や材料などが散らばり，傍ではコンクリートを流し込んでいる，上ではリベット打ちをやつているので，何時何が落ちてくるか分らない，全く命がけの仕事でしたが，幸い少数の怪我人だけで済みました。

それから水車のスピードリングやランナーやステーターはこゝで組立てたのですが，第３号機の予定の所へ木造の床を組立て，この上でやつたので，重いものがどんどん運び込まれると何時この床が折れるかとハラハラしながらやつたものです，又変圧器もこゝで組立てたのですが，この変圧器は非常にゴミを嫌う。一方では建築工事をやつているのでゴミが出る。これでも大分悩まされました。

その他思い出せばいくらもあるのですが，そういう苦心は電気ばかりでなくどこにもあるものです。」

さて８月26日の竣工式は柳津片門と沼沢沼及び宮下の４発電所の完成によるものでもろが，沼沢沼と宮下については，既に社誌にも紹介済であるから省略する。

この４発電所の建設工事に挙げられた陰の犠牲者は30余名，その慰霊祭は26日朝８時から夫々の慰霊塔の前で同時に行われた。柳津には社長，片門には白川副社長，沼沢沼には堰副社長，宮下には平井建設局長が列席して，いとしめやかに亡き霊をとぶらつた。



慰　霊　塔（片門）

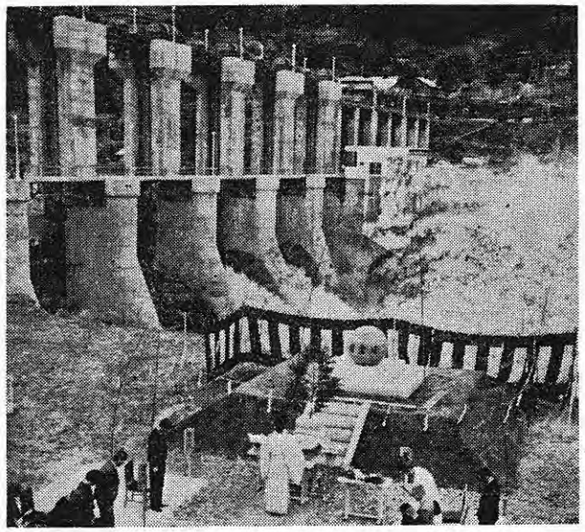
柳津発電所の慰霊塔は片門のとは違いまん丸で，やはり北松さんの筆になる文字が鮮やかにほりつけられている。８月26日の朝８時柳津の慰霊祭の初まる前の一とき，モーニング姿の北松さんが慰霊塔の傍の川岸で，ダムから落ちる水煙を眺めている。その肩のあたりには骨身を削る苦労のあとが見受けられる。

「北松さん，感慨無量という所でしよう。」

「そりやそうさ……。」

「でも，このすばらしい結構を見られゝば御満足でしよう。」

「そりやそうさ……然し君，僕はまだこれを家内にも見せてないんだぜ，家内も見せてくれと言うてるんだが，まあ車で１人で来る時傍に乗せて来ればいゝんだがね，大てい客が待つていたり，用事があつたりしてまだ果さないんだ。それに現場で家族と離れて仂いている人も多いんだから，わしも少し気がひけるし



慰　靈　祭　（柳津）

ね……。」

「然し北松さんの苦労の半分は奥さんが背負つていらつしやるのだから遠慮はいらないですよ。ずい分捨身の御仕事ぶりらしかつたですからね。」

「そうだよ。26年の冬に雪の降つている時，この谷間は何もなかつた。僕は道路をつけて土地をならして資材の置場や倉庫を早く作れと言つた所が，組の方では今雪で仕事ができないから少し待つてくれと言う。そんな悠長なことを言つていられるか，雪なんかブルでどんどんかいて仕事を進めろ。北松の言うことだと思わんで，君の方の社長の言いつけだと思つてやれツとハッパをかけたものだ。その代り僕も毎日朝早くから雪の中へ飛び出して号令をかけたよ。雪の少い年だつたが，少いとは言つてもこの辺の雪は1メートルぐいは直ぐ積つてしまう。それを毎日除けてやつたものらだ。皆もよく僕のいうことをきいて身を粉にして働いてくれた。この慰靈塔に祭つた人々も皆只見開発のために命を捧げた人たちだ。……この慰靈塔という文字も僕が書いたのだが，この川筋の慰靈塔は今まで皆僕が書いている。」

やがて社長列席の下に慰靈祭は初まつた。塔を蔽つていた白い幕は鈴木土木課長のお嬢さんの手によつて落され，巨大なビーアの立ち並ぶダムと立ちのぼる水煙を背景にして魂を象徴するという丸い慰靈塔が現われたのである。　（K）

〝北上幹線，盛岡變電所竣工式〟

只見川の電源地帯と東北北部とを連絡する会津仙台線（東北幹線）と仙台盛岡線（北上幹線）は既に完成し，この15万Vの電気を盛岡に於て降圧する目的の盛岡変電所も出来上つた。その完工の式典が9月25日盛岡市の多賀園で行われた。

これより先午前10時から盛岡変電所の前庭に於て修祓式があり，幾何学的な構造美を描いているストラクチャーを背景におはらいが行われ，社長以下の玉串奉奠があつた。変電所の本館は薄青の交つた白ぬりのまことに思い切つた新らしい設計の建物で，本店の建築の増田さん御自慢のものである。変電所の実用的目的を果してなお近代的建築美を発揮しているのである。施工は清水建設である。本館に対して 15,000KVAの同期調相機が雷を立てて廻つているが，カマボコ型の大きなカバーは異彩を放つている。その向うには 33,000 KVA のトランスがどつしりと2台，これらはいずれも東芝製である。6,000 坪の広い構内は複雑な鉄構と配線が結ばれ，四方から入つて来る送電線を寸分の狂いなく集めているが事務屋の感想を言えば，電気屋というものはよくもこれを間違わないでつないだり切つたりするものである。

はるか南を望ば真新らしい鉄塔がえんえんと立ち並んでいるが，これこそ仙台盛岡をつなぐ北上幹線である。会津から 300 キロ余り，東北を横断する大動脈の末端である。

多賀園の竣工式では型の如く式辞や祝辞に各方面からの喜こびが述べられたが，祝宴に於て岩手殖産銀行の雫石頭取が挨拶して，送電設備の建設が電源開発に劣らず重大であり，地方産業の振興にとつては大電源が直接手近に来た感じであるし，岩手県はじめ東北々部の産業と文化にとつて今回の北上幹線は重大な意義をもつと述べたが，列席の国分知事はじめ地元の有力者たちの同感の拍手を浴びたのである。列席していた或るメーカーは送変電関係の竣工式をこんなに盛大にやるのは東北電力だけで，まことに感激にたえないと語つていたが，これは本竣工式の大きな意義を物語るものであらう。　（K）

支店だより

岩手支店

○勤労者陸上全国大會

8月29日，30日にわたつて県都盛岡〻仂くものの陸の祭典〻健康保険第6回全国勤労者陸上競技大会は，秀峰南部富士山麓に快晴微風に恵まれて開催された。

北海道を初め九州までと全国からの集つた選手約1,500名，ボストンマラソンの雄山田選手は洗石王者の貫禄を以つて20Kmマラソンに1時間5分27秒という日本最高記録，第2位も日本最高以下3位迄大会新記録という熱戦ぶりを展開した，其の他トラツクにフイルドに大会新記録27，大会タイ記録5，合計32の好記録を残す向上の跡をみせ，総合得点では福岡県が断然他を圧して，4回目の優勝を遂げて，祭典の幕を閉じたものである。　（N生）

○北部の通信センター成る

南の会津に対抗して北部の通信網のセンター岩手通信所が本年3月工費 1,900万円を投じ工事中であつたが去る8月竣工した。

当通信所は鉄筋コンクリート二階造りで屋上を持ち，階下は200回線自動交換機及搬送機等を収容し，二階は電源室，中継台室，休養室，事務室となつて居り，スマートな建物に屋内照明は総て蛍光灯を使用して居り，夜の中津河畔に浮ぶ通信所は通行人の足を止めさせるに充分である。自動交換機の設置に依り社内，本店，会津，新潟等ダイヤルに依り即時通話可能となり，又現在工事中の仙台，盛岡間のマイクロウエーヴの完成に依り近代設備を誇る岩手通信所は当社は勿論の事盛岡人の注目を集める事であろう。

本通信所の完成に依り，青森，秋田支店の中継所として通信連絡の円滑を計り，業務能率の向上を期す事を信じて居ります。　（中野）

○猿ケ石川送電線竣工

本社電線は岩手の中央と太平洋海岸とを結ぶ6万KV の送電線であつて，その第1期新設工事として昭和26年10月着工し，昭27年4月黒沢尻変電所と岩根橋発電所附近の No. 110 号柱迄の間が竣工したものである。

ついで昭和28年5月支店直轄の猿ケ石川線建設所が遠野町に設置せられ，第2期工事が開始せられ，9月1日附官庁検査を終了し，仮使用認可証の交附と同時に営業運転に入つたものである。第2期新設工事は No. 110 号柱から大橋変電所間であつて，その亘長併せて約 59km である。本送電線は殆んどコンクリート柱によるH柱である点が一寸異つている。尚大橋変電所より釜石変電所間は従来の大橋送電線の昇圧工事の実施によりこゝにその名称を猿ケ石川線と変更し，全長 76.68km の黒沢尻変電所と釜石変電所間の連絡がなつたものである。

さきに仙台盛岡線 15万KV 幹線が竣工し，その余恵が海岸に及び更に大船渡市方面にも及ぼうとしているが，その第1着手の工事としてもつ意義は極めて深いものがある。

去る9月10日遠野町でその竣工式が行われ突貫作業に対する各業者に対する感謝状贈呈等又沿線各関係者の参列があつて極めて盛会裡に互にその矍びをわかちあつたのである。　（岩手支店N生）

○盛岡市商店照明のコンクール実施について

第6回勤労者陸上競技全国大会が盛岡市の県営グランドで開催されたのを契機に盛岡市，盛岡商工会議所，当社岩手支店，三者共催のもとに，第2回盛岡市商店照明コンクールが実施されました。

昨年実施した，第1回のコンクールに比較して，非常に照度に格段の進歩のあとが見られ，照度を測定して見ると昨年の大体2倍と成つている。

昨年第1回の最優秀賞の店が今回は進歩賞に低下したことは，全般的に見て相当の進歩を意味するものである。昨年度は進歩賞にも入らなかつた店が今回は最

秀賞となつたことは，改善に苦心努力したことの裏付である。

1. 審査日
   8月30日
2. 審査員
   盛岡市長
   盛岡商工会議所会頭
   岩手大学鎌田教授
   東北電力堀居岩手支店長
   東北電力高砂子盛岡営業所長
3. 入賞者
   優秀賞
   松屋陶器店
   優良賞
   東山堂書店
   〃
   金宝堂菓子店
   〃
   甘美喫茶と菓子の店

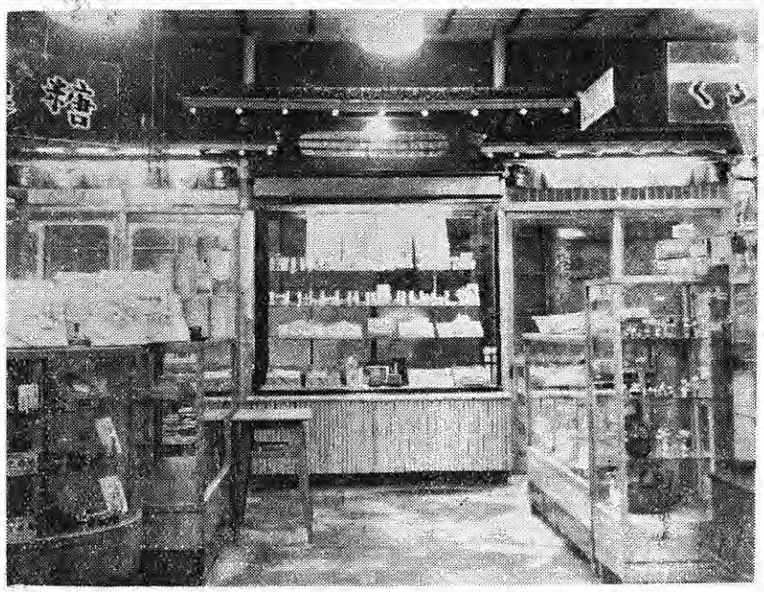
外に進歩賞11軒

◎特に今回東芝商事と松下電器の協力に感謝の意を表します。

（成瀬）



松屋陶器店（優秀賞）



金宝堂菓子店（優良賞）

山形支店

○小口需用開發運動－優秀な成績を擧げる－

当社の電源100万Kを記念する行事の一環として諸々の悪条件を克服して実施された小口需用開発運動は日を追うに従つて好調となり，各営業所より期間延長の申出があつた程の状態であるが一応5月1日より6月20日として締切つた。

成績次の如くであるが，更に営業所の希望に添うべく第二次運動を普及係で考慮中である。

定額電燈増灯数	31,852灯	879KW
定額電燈増燭数	12,388灯	310KW
街灯，門灯，看板灯，広告灯，増灯数，	5,765灯	114KW
電熱器	5,769個	1,814KW

以上の如き成績であり3,000Kの発電所に相当する優実績を擧げたのである。

尚小型機器の斡旋販売も日頃のサービス振りが認められ電力会社のものは品質が良く格安で安全な品物だとの好評を得て短期間であつたが飛ぶ様に売れたので一部業者の反対が表面化した，下記の様な優秀な売行であつた。

洗濯機	203台
扇風機	880台
アイロン	6,556台

（大場）

○爆笑に湧く
山形支店山形營業所の運動會

健康保険組合主催の山形支店山形営業所の合同運動会が6月20日に附属小学校のグランドで開かれた。

朝には小雨が降つていたが，だんだんと晴れ上り懸念された空模様も絶好な運動会日和となつた。

対抗意識に燃えた山形営業所では本格的な応援団を組織して太鼓を打鳴し赤たすきに洗打扇の姿で乗り込んで気焔を吐けば馳ける選手も油が乗つてくる。

一競技毎にアナウンスされる得点発表に悲喜交錯の声が湧き上る。

父ちやん頑張れの声援に勇んで出場したが武運に恵まれずパンが喰えずに退場したり，又は日頃魚釣では名人格と自認している労務・経理の両課長も魚釣競争では甲乙なく殿がりをうけ賜つたのには「自慢の腕がどうした」の野次が飛ぶ。

源平球入れ競技では2回戦は山形支店惜しいところで連敗を喫すれば最後の綱引き競技に精鋭50名を選んでの出場，山形営業所も現場の力自慢を中核として最後の花を飾ろうと頑張る両者相譲らざる力闘に場内の観衆も手に汗を握つての声援に湧いたが2回共に山形支店に凱歌が擧る。

爆笑に湧いたり，汗にまみれて馳け廻つた運動会も次の如き得点で愉しい半日の幕を閉じた。

競技	支店	山形営業所
100M	27	51
百足	60	42
200M	40	38
カード合セ	25	27
二人三脚	29	23
パン喰	45	33
400M	39	39
300メドレー	11	40
タバコ吸	67	17
自転車運乗り	25	27
魚釣り	46	32
算盤	41	37
猫かぶり	40	38
紅白球入	82	91
綱引	50	0
計	621	535

（大場）

○山形支店管内野球・排球大會

日頃錬えた腕を発揮せんものと待望していた山形支店管内各営業所対抗の野球と排球大会は8月8日，9日の両日山形市営野球場と排球コートで開催された。

10時支店長の打者，労務課長の投手，浜村山形営業所長の捕手で始球式が行われたが全試合を通じ和気藹々の中にも息ずまる熱戦が展開された。

試合成績次の通り。

－野球－

支店	0	0	0	0	0	0	1	0	1
山形	0	0	0	6	0	1	A		7A
酒田	0	0	0	0	0	0	0	1	1
鶴岡	1	1	0	0	1	0	A		3A
山形	0	0	0	1	6	0	0		7
米沢	0	0	0	0	0	0	0	0	1
新庄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鶴岡	0	1	3	0	7	2	A		13A
山形	1	0	0	0	1	0	0	1	3
鶴岡	0	2	0	0	0	0	0	0	2

以上の如き成績で山形営業所の優勝となつた。

－排球－

A 組

酒田2－0米沢　酒田2－0支店
支店2－1米沢

B 組

新庄0－2山形　鶴岡0－2山形
新庄2－1鶴岡

決勝戦

酒田2－0山形

で酒田の優勝が決定した。（大場）

○八久和發電所いよいよ本格工事開始

只見川に次ぐ東北の電源地帯八久和は山形県鶴岡市の東南方約20粁朝日連峰に源を発する清流赤川の上流である。

八久和発電所の5800Kを初め新田沢落合荒沢等約

15万Kの発電力を有する電源地帯である。

最大である八久和発電所の水利権も諸々の問題で相当長びいたが去る9月19日附で建設省から正式に認可されたのである。

ダムによる水没部落16軒に対する補償問題の交渉も円満に交渉妥結し細部に亘る個々の接渉段階に入つたし会社の八久和建設事務所の人的陣容も決定続々八久和へ乗り込んで来たのである。

工事請負も指名請負で堰堤は大林組に，隧道工事は佐藤工業に，発所は西松建発設と一流どころに指名せられいよいよ昭和32年1月完成を目指して本格的な突貫工事が開始される。（大場）

○山形の農業祭り

人出20万以上好評の農電館

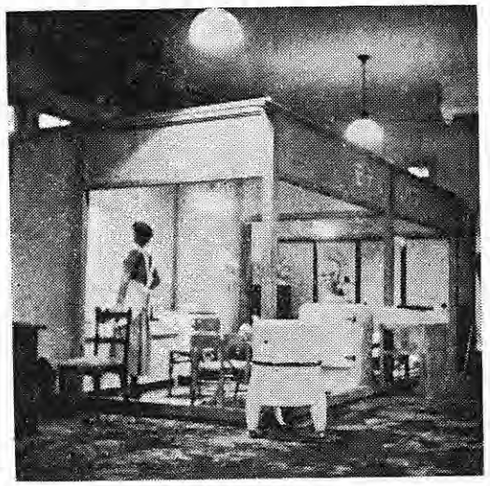
毎年非常な好評を博している山形の農業祭も今年で第4回目であり秋の山形を飾る一大行事となり，9月3日より9月7日迄5日間賑やかに開催された。人出約20万以上で山形市の近郷近在は勿論のこと，遠く置賜や庄内方面からも農民の方々が出かけて来る程であつた，幸い連日天候に恵まれて大成功であり特に当社が計画した農電館は人気が湧き学生や一般家庭の御婦人達迄もがつめかけ山形商工会議所の2階全部を使用した会場も係員の人員整理や説明に汗だくだくの嬉しい悲鳴を上げる仕末であつた。

会場には只見川電源地帯の鳥瞰図や農事電化の模形等は見物人の注視の的であつたが，殊にモデルハウスを作成して飾つた電気器具を自由に操作する方法には驚嘆の声が飛び大絶讃を博して人気の頂点であつた。

尚ミキサー実演場で作成したジユースの無料サービスはいつも超満員の盛況振りであり，特設の電気相談所には3名の係員を配属したが応じ切れない程で俄かに係員を増員して需用家の相談に応ずる忙がしさ。

東北電力は100万Kを突破した電源を持つている，これからは不自由なくとしとし電気を有効に御使い下さいとの宣伝は相当以上に強く響いた様であつた。

（大場）



モデルハウス

福島支店

○七夕祭

福島市恒例の夏祭の前夜祭として，豪勢な七夕祭が8月9日行われた。支店も商店街に伍して，電飾の普及を兼ねた大作をものさんものと有志相集い連日想を練り，遂に寫真のデコレーションを作り上げた。当夜，商工会議所等の審査の結果，仕掛の部で2等賞。竿飾りの部で3等賞と決定。社員1同改めても1度見直した次第。

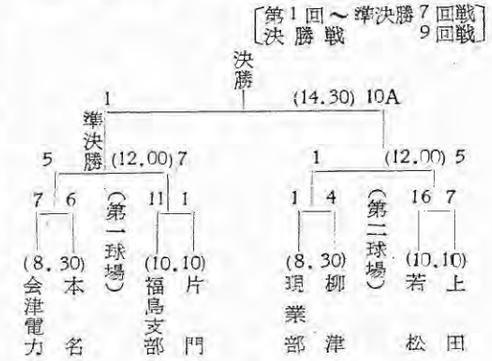


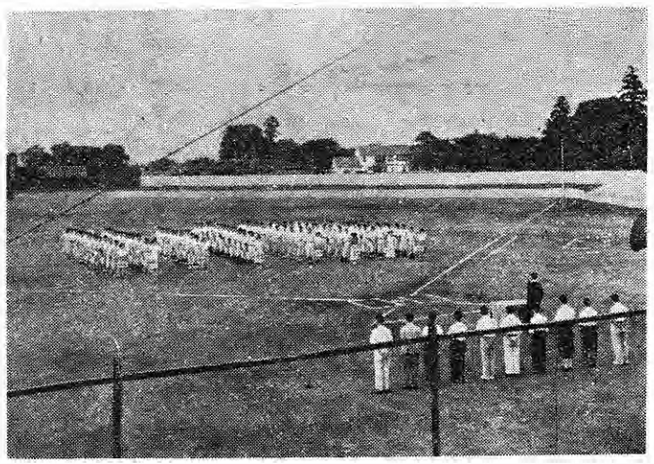
○健康保険合組福島支部主催

會津地區事業所對抗親善野球大會記

只見川電源開発の第1期工事として，柳津，片門，宮下，沼沢沼の各発電所工事が完成しその祝賀の意を兼ねると同時に，事業所の機構は異るけれとも健康保険組合としては同一支部に属する被保険者の親睦を図る為8月16日若松市営球場（第1，第2両球場）に於て，柳津，片門，上田，本名，現業部，電力事務所，若松営業所，福島支部の8チームが参集し大会が開催された。

この日天気晴朗，風無く絶好の野球日和，定刻午前8時半久保事務長開会を宣し，生沢常務理事の挨拶，田中福島支店次長，後藤柳津片門建設所長，電労県支部の佐藤委員長の祝辞の後，第1球場と第2球場に分れ，戦ひの幕を切つて落した。ネツト裏では夫々各事業所の所属長が出張つての大声援である。優勝候補の柳津チームの監督加々見事務課長は自信満々であつたが，準決勝で惜しくも若松営業所に敗れて終つた。会津電力事務所の及川次長，なかなか野球に精通しているらしく，プレーヤーの批評は厳しい。管原労務課長得意の蛮声を張り上げての味方チームの応援も空しく福島支部に惜敗。上田の山品事務課長も応援に遅れて来て野次られると謂ふ和気あいあい裡に熱戦を展開し，日頃建設に寧日ない現場の諸君も，この日ばかりは元気に愉快にスポーツを楽しんだことは，洵に意義深いものがあつた。戦績下記の通り。





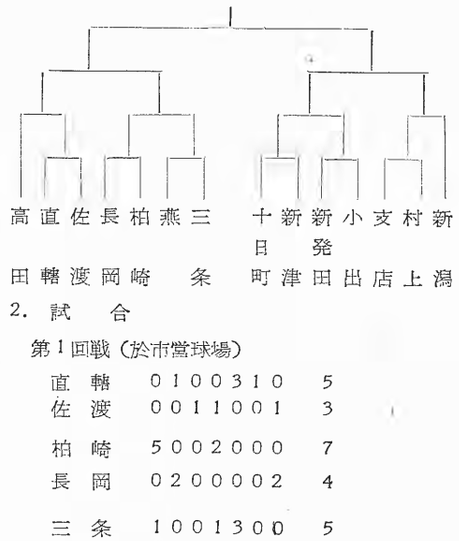
新潟支店

○第2回新潟支店管内野球大會

東北電力となつて2回目の各営業所対抗の野球大会は9月5日（土）6日（日）の両日絶好の日和に恵まれ4チーム約200名が新発田市に於て覇を競つたが，高田営業所は依然として強く連覇を遂げた。

以下当日の戦績を掲げ後日に記録をとどめる。

1. 組合せ



2. 試合

第1回戦（於市営球場）

直江津	0100310	5
佐渡	0011001	3
柏崎	5002000	7
長岡	0200002	4
三条	1001300	5
燕	402011A	8A

第1回戦（於猿橋中学校球場）

支店	02900	11
村上	00102	3
小出	73040	14
新発田	30011	5
十日町	00000	0
新津	2106A	9A

第2回戦

（於市営球場）

直江津	000001	1
高田	000152A	8A
燕	00000200	
柏崎	01100000	

日没ノーゲーム

燕	00100000	1
柏崎	102100A	4A

第2回戦（於猿橋中学校球場）

支店	002000	2
新潟	231012A	9A

新　津	10524	12
小　出	00404	8

日没コールドゲーム

準決勝（於市営球場）

新　津	04000000	4
新　潟	00100013A	5A
高　田	00004000	4
柏　崎	00000000	0

決　勝

高　田	041201022	12
新　潟	202000000	4

〔附記〕　各営業所間の融和と親善に本大会が幾分なりとも役立つ様念ずると共に大会の諸準備に当つて頂いた新発田営業所に対し深く感謝の意を表する次第であります。（厚生　諏訪記）　以　上

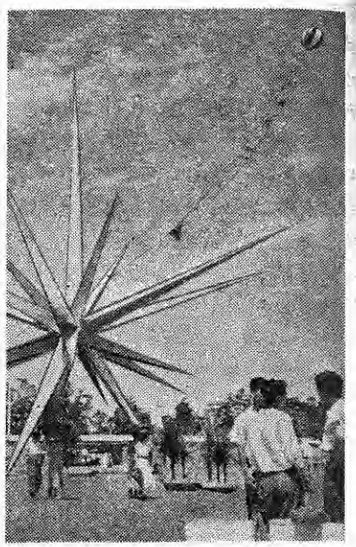
○新潟博覧會開かる

その規模は戦後最大の博覧会として，講和を記念し自立経済の根幹をなす豊富なる資源開発と国内産業の全貌を広く中外に紹介すると共に科学文化の向上を図り併せて観光新潟，国際貿易港新潟を宣伝し以て国勢の伸展に寄与する目的を以つて全国に呼び掛けた新潟県産業観光大博覧会は7月1日より8月30日迄の2ヶ月間新潟市信濃川河畔に開催され連日炎天のもと遠くは県外より集り盛会中に今や，あと数日を残すのみとなりました。

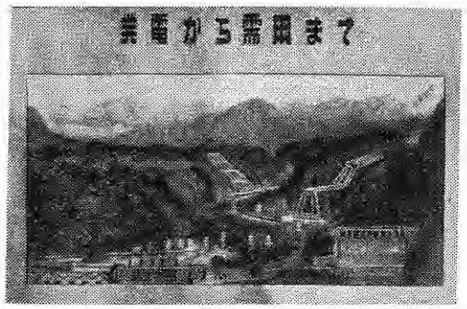
会場面積 50.000坪，建坪 5.000坪，27棟の施設館を設け，スケールの大きさと種材の豊富さは見る人をして急いで半日は要すると云うことだけでおわかりの事と思います。

会場の綜合開発館には当社も出品し参観の人々に好評を博して居ります。出品パノラマは　①発電から需用まで　②これ村からの農電化　③モデル電化住宅　④工場に使用される電力であります。

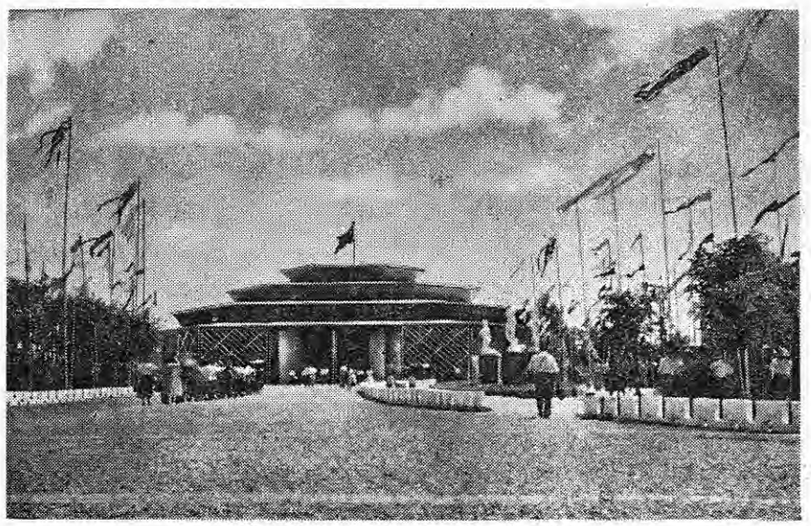
（新潟支店）



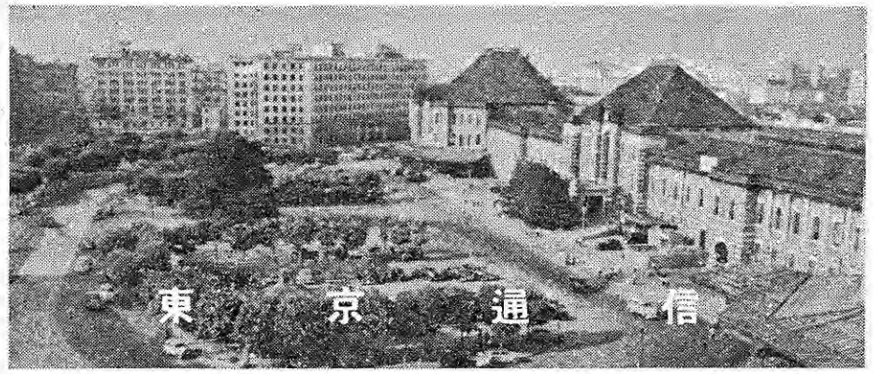
テ　ー　マ　塔



當　社　出　品



新　潟　博・綜　合　開　發　館



東京の中心から遙かなる故国の空へ，再び便りをする機会を得ました。日夜同じ仕事に挺身する北国の皆様方の御近況は如何ですか。

さて，今回の最大の話題は何といつても去る8月26日挙行された100万キロ突破の記念祝典でありましょう。某地方新聞では巻頭に「我等の生涯の最良の日」と題して輝く盛況を手に取る様に解説してありました。東京ではテレビやニュース映画にも報導され，白洲会長，内ヶ崎社長，其の他の方々の喜びに溢れたにこやかな顔が灼きつく様に私共の脳裡に残りました。

再編成の当時，80万キロの発電設備を持つてスタートした当社が僅々2ヶ年の間に100万キロを超過するに至りました事は，何といつても唯驚くより外にありません。此の関門を突破した栄えの発電所は，いう迄も無く当社が終始手塩にかけて育て上げた柳津，片門の両発電所であります。此の両所は26年の12月，雪の降りしきる中に同時に着工され，工期僅か1年半，今年の8月7日之亦同時に使用許可となりました完全なtwin plant であります。若し川の同じ側にありましたら全く区別がつかぬ程設計，配置其の他が相似であります。実の所私共は工事中から何れが先に竣功するか，そして何れが100万キロ突破の発電所となるか手に汗を握つて見て居りましたが，何れも甲乙なく，同じ日に一人前となり得た事は天の公平な処置という事が出来ます。

此の発電所は何れも最も近代的な構造で，導堤と発電所とがスマートな一直線の配置となつて居るのは日本でも全く初めての試みといわれて居ます。従つて水路は全然ないと云つても良く，又洪水吐に設けた門扉は1門で良く 1,000 ton 以上の水圧を支えるという本邦として記録的なもので，此の大門扉の製造が此の様な純ダム式の設計を可能ならしめたといわれます。内部に設けられた大容量のカプラン水車，之れに直結された傘型の発電機，何れも我国製作技術の粋を競つた最高級品で，全部自動式となつて居り，保守員も僅か10数名という世話のかゝらぬ優秀な発電所であります。今後之等の発電所の活躍が続く限り，当社の前途も洋々とした心強さが感ぜられます。

△

話が変りますが去る9月16日は，昨年発足した電源開発会社の創立1週年の紀念日で，当日は電力界の関係者が東京会館に集り，其の前途を祝し合つた様に聞いて居ります。早いものであれからもう1年になる訳です。丁度此の時，田子倉建設所が開設され，所長以下の人事も発令されて一同揃つて上京されて居りました。此の日は東京事務所始つて以来の大賑いで一寸外出して来ると自分の席がなくなつて居る程の混雑を示しました。

只見川といえば去る7月足掛け7年間揉みにもんだ本流分流の開発方式が，捨てゝ置けぬと立ち上つた政府の名裁きに，あれ程の大論争も意外な結論となつて落着しました事は既に御承知の所でしよう。此の間，やれ極秘資料だとか，機密会議だとか，両県関係者の入れ代り立ち代りの往来とか，誠に賑わしい事でした。県会を両県共東京で開くとか，開発会社の某理事が半ケ月程籠詰めになつて何かして居るとか，如何にも大芝居の幕切れに近いあわたゞしい雰囲気を醸し出して居ました。兎に角一旦決まりかけた開発会社案の田子倉より黒又第一への渇水年一部分流案は，最後の瞬間奥只見から一部黒又第四へ分流し，分流筋に六発電所約12万キロを設けるという政府案に転換して，両県も之を承認しました。某紙は之を評して「名を新潟に，実を福島に」与えた名裁定といつて居ます。各自めいめい異つた意見はあるでしようが，とに角，一時

はどうなるか，只見川は到底手のつけられぬ河川と迄いわれた奥只見，田子倉が，此の結着に依つて開発え大きく一歩進んだ事は日本の為に大いに喜ばしい事といえましよう。其の後屢々開かれた三者会談でも，早く開発するという点では全く話が一致したそうです。但し細かい点で奥只見，田子倉，黒又を巡つて今後も難問題が続出しそうな気がします。建設所長になられた平井常務以下の方々も，従来自分の会社の工事には見られなかつた様な色々な苦労を重ねられる事と心配して居ります。

◇

今年は天候異変といゝますか，降雨が全く多く６月末から７月一杯を通じて殆んど雨の降り通し，御かげで当社は曾つて見ない大豊水で，７月８月等は出水率100%を下つた日は１日もありませんでした。特に８月は元来２月と並んで最渇水月といわれ，給電上最も警戒を要する時期でありますが，此の８月29日に当社の過去の発電最高記録85万キロワットが出た事は，誠に皮肉な事で電気事業は今更ながら天気次第という感を深くしました。此の反面，西の関西，九州の両会社は台風の為十何億円という大損害を受け，特に九州電力が工事中の夜明発電所は，百年洪水といわれる大出水の為，甚大な打撃を受け，数々の問題を残したといわれています。

此の様な雨天続きの天候の為，折角東京事務所で借用した逗子の海の家の利用は非常に低調でした。８月になつてからも土曜，日曜というと必らず雨天という，意地の悪い天候に防げられて，仕事の都合と天候とがどうしても一致せず，海水浴を味わなかつた人も少くありません。

８月の中旬でしたか，東京は気象台始つて以来の最高温度38度４分という所迄水銀柱は昇つて室内にいても額からタラタラ汗が流れる暑さ，もう仕事も何も手につきません。所が其の夜の雷雨一過，翌日は８月としての過去の最低温度という涼しさで前日の暑さに海に集つた避暑客も，あまりの涼しさに襟を立てゝ東京へ逃げ戻つたという話もあります。此の様な気狂いじみた天候は夏の楽しみをすつかり私共から奪い取つてしまいました。

△

次に東京を中心に定期的に開かれる各種の委員会に就て其の一端を御紹介しましよう。

先ず昨年改名した電気事業連合会，元の名を経営者会議といいましたが，此処で毎月，社長会議，常務会議というのが開かれ，電気事業運営上の最高方針を協議します。現在の最大の話題は税金，金利，炭価の引下げ運動で此の事務局では各種の資料を整備して関係各方面に積極的に働きかけております。又之に関連して今後新設発電所の稼動に伴う原価高を如何に補うか，９電力会社共通の最大の問題となつております。結局は料金改訂とならざるを得ないと思われますが，如何にして最低限度に抑えるか，又時期を何時に選ぶかの見極めが最も重要な所でしよう。而も今度改訂するならば単に原価高をカバーする料率だけでなく，長らく不合理をうたわれた割当制の廃止，其の他制度全般に及ぶ大改訂とならざるを得ないので，余程本腰になつて調査を完璧ならしめなければならぬので，各社慎重に検討中の模様です。

昨年発足した日本電力調査委員会は既に２回の報告書を発行し，第３回目の準備に取かゝつています。之には電力部門と機械部門との二つの専門委員会がありまして，前者には９電力会社及び電源開発会社匡鉄其の他県営，後者には十幾つかの機器製作者が委員として入つています。電力専門委員会には更に今回供給力と需用想定との二分科会が設けられ，各種の算定基準を研究しています。詳しく説明する余裕がありませんので事情は仲々御分り難いでしようが，之等の協議は各会員の立場があつて意見が全く離反する場合が多く委員長，主査は其の取纏めに毎回苦慮しています。

電力研究所は最近仲々活躍を始め経済研究会，水火力併用研究会等が大体月例的に開かれます。

又電気学会の下に各設備毎に分類された技術研究会が設けられ，時折不規則ではありますが種々の会が開かれます。之と別個に最近送電々圧特別委員会が設置され，主として直接々地方式に依る超高圧送電問題を中心に電圧の標準，絶縁協調等の研究を続けています。之には特に当事務所長の徳田さんが主査に推挙されて活躍しております。

此の外給電連絡会議あり，営業部長会議あり，更に之は殆んど終りましたが工作物規程の改訂委員会，電気事業法規の改訂審議会，需給規則の改訂等電気関係諸規程の改廃に伴う各種の会議が頻繁に中央に於て開催されております。

東京に於て常置されている重要な委員会に就いては又の機会に稍々詳しく御紹介申し上げる事もあると思います。

△

東京事務所の全員は来年早々新らしいビルへ移転する事を何よりの楽しみにしています。移転先は第２鉄鋼ビルといつて，東京駅八重州口側の近代的な８階建で私共は５階の半分に集まる事になつています。久し振りで全員が一床に集つて煩雑な事務の運営を円滑に処理する事が出来る様になると一同其の時期を心待ちにしています。

では長くなりましたが今回はこの辺で，御健康を祈ります。(28年９月20日)　(業務課)

随想

社員生活断面図



佐藤鉄歩

たまのねてよう日は好い薬ですのね，と老妻は田村さんの寝て居る枕元でお茶をいれ乍ら話しかける。若い頃は日曜日を寝て暮らす様なことがあると，掃除や何かの邪魔になると言つては小言が出たものだが，今では老妻も年を経て人間に錆びが出たと言うか，至極穏やかなものだ。

日曜日をゆつくり寝て暮らすのは近頃珍らしいことだが，それが出来ると言うのは，唐突乍ら全く会社の時間外勤務制限令(？)のお蔭である。

仕事の関係で田村さんは，古くから土曜日曜をかけてよく出張したものだが，会社が時間外勤務手当を支給する様になつてからは，どうもそれが少しさもしく見える様に思われて，幾分面映ゆい気持で居たのだが，今度会社では極端に時間外勤務を制限することになつたので，斯くは天下晴れて，ねてよう日を楽しんで居られる身となつた次第である。

大体，社員の時間外勤務を，会社がやかましく言つて制限しようと言う様な状態は，正常なものとは言われまい。それは取りも直さず社員の働きが，勤務手当以上の効果を挙げて居ないと言うことを表わすものではないだろうか。

田村さんの若い頃は社員は皆忙しい時は遅くまで会社に居つて仕事をしたし，尚家へ持帰つてまで仕事をしたものだが，決して特別の手当は出なかつたし期待もしなかつた，従がつて時間外勤務に対し故障の出たためしはない。

今会社がそれを制限しようと言うのはどう考えてもおかしい。戦争後，世の中に以前と逆になつた事象が多いが，之なども正しくその好例と言えよう。なぜ然うなつたか，それは疑いもなく時間外勤務手当のせいである。

一時間に幾個の製品が出来ると言う工場ならこの制度は適当であり当然であろう。併し机上の頭の働きを含むこの会社にとつては，必ずしも然うでない様に思われる。と田村さんは考えを押し進めて行く。

こゝに，甲乙丙の３人が，或る事業家に雇われて40粁の道を徒歩で往復することになつて３人は朝８時に同時に出発した。甲は足が達者で悠々と午後３時過には帰着出来るのだが，時間が早過ぎて日当を減らされることを慮れて，途中でゆつくり昼寝などして，定刻の４時半に帰つてくる。乙は，精一ぱい歩いて漸く４時半に帰着し，甲乙二人共所定の日当をもらう。丙は足が弱くて，へとへとに疲れ切つて，６時半に漸く帰つて来たところ，雇主は，さぞ疲れたことだらう，腹も空いたろうとその労をねぎらい，夕飯を御馳走して所定の日当の外２時間分の時間外手当を支給した。このしうそ新聞？の中の不合理が，今の会社の給与体形の中に含まれて居ないと言い切ることが出来ようか。

大体，現行の給与体形は，終戦直後，衣食住其他総ての物資の極端に窮乏した時に，生存給としてでつちあげられたものであつて，その後スライドして来て居るとは言うものゝ生活給に切り代つて居る筈の現在尚原形が其儘とあつては，その中に幾多の矛盾が含まれて居るのは当然であろう。

栄養失調になり乍ら，ボロ服を身につけて居ても，それがあたりまえであつた時はとにかくとして，今ではあらゆる物資が豊富に出廻つている。余り古ぼけたボロ服を着ていては，社員たるものゝ体面を汚がすことにもなりかねない。服一着新調したら今の俸給で一体どんなことになるか。

公務員を始め一般俸給生活者の給与は，特別の場合を除き低位に過る。時間外手当などの制度があつて，一度その支給を受けてみれば足りない俸給の補塡となるのは当然の成行である。

昔の電気会社の様に自分の責任を果たす為には忙しい時にはその為の報酬など期待せずに，時間外でも何でも仂く，その代りに他の手当をもらわなくとも生活に困らぬだけの俸給をもらうと言う様なわけには参らぬものかなあと，色々思いを馳せて居る間に，田村さん自然に恐い顔付になつて居たと見えて，あんた，おつかない顔して何を考えてるの，今度こそ温泉へつれてつてやると言つてたのに，又だますんぢやないでしようねと老妻が幾分声を強めて又話しかける。田村さ

ん俄かに我に返つて，え？いや然うぢやない，然うぢやないよとあわてゝ老妻の危惧の念を掻き消そうとし乍ら，思い出した様に枕元に置かれたお茶を一口飲み込む。温泉の話と言うのは実は斯う言う次第である。

田村さんは去年1年，ある建設工事に携つて多忙に追われ，本年1月無事通水開始の運びとなつたのであるが，従来の経験からして，老妻は必ず竣功賞与が出るものと期待して居て，時々それを催促する。遂に所長分散会の資にもと1000円也だけ会社からいたゞいたが，それは分散会費で足し前が要つた。今の会社はね，特定の人にだけ特別の給与を出すことは出来ないんだよと，自分にもよく解らない解明をし乍らこの事を話した所，ふん，竣功賞与に足が出る程飲んだなんて，随分また飲み抜けたものね，と老妻この所甚だ穏やかでない。尤も定収外の臨時収入に関しては，田村さん老妻の目をちよろまかしている前科があるので，この度の老妻の猜疑に対しては，どうにも諒解が得られず，ほとほと困じ果ててしまつて，竣功賞与をもらわないことの証明書を会社からもらい度い位に考えて居た所，何と，今回計らずも，100万キロワット突破祝金が出ると共に，建設に携つたと言うかとでそこばくの記念品代加給と言うのをいたゞいた。田村さん面喰う程喜んで早速この事を老妻に告げ，これでお前さんが日頃の念願とする所の温泉行を実現しようと申し入れたところ，老妻しわを深めて喜んで，会社もなかなかわかるわねと言つた。

お蔭で永い間の疑惑が晴れて，信用も回復し，田村さんほつと胸をなで下した。

扨てこの温泉行であるがこの場合決して伊達や贅沢ではない，若い時から老妻と言われるに応はしい現在に至る迄，貧乏世帯のやりくりに終始し，めつたに汽車にも乗つたことがない様な有様で，たまには無理をしてでも温泉に一度位行つてみたいと言い出したのが遂2,3年前からだが，田村さんたまにはその気になつても，いざとなると色々な支障が出来て実現しかねて今日に至つているのである。

田村さん最近しみじみと老妻に対するおもいやりが深まり，どうにかしてこの念願を，かなえさせてやり度いと思う様になつたのは年令のせいかも知れない。

おら何だか行つてみないうちは本気に出来ない，いつも忙しいの金がないのと言つては，はぐらかされてばかり居たのだから今度こそは何日にするか，はつきりきめてちようだい，と膝を突き出して文字通り膝詰談判だ。

さうだね，10月25日はおれの入社記念日だから，いつそ日曜とか祭日とか言わずに休暇をとつてでも是非断行することにしようと，言い乍ら田村さん壁のカレンダーを見上げたら，丁度その日は日曜日だつた。

9月8日　（新潟支店土木課）

営業所長稼業



村　夫　子

支店長の小型なるもの

ある若い社員に将来の目標をきいた所が支店長になることだと答えたさうだが，偽わらざる所さもありなんと思われる。支店業務一切の運営を社長から委嘱されその寄託に応えるべく少し大袈裟に表現すれば縦横無尽の手腕を振るい得る地位にあることが，堅実な若い社員から見れば羨望限りなく之を目標にすることは当然過ぎる程に当然なことである。此の支店長を小型にしたものが営業所長である。営業所長も社長支店長より信頼を得て所管区域の業務遂行の一切を委されてあり，その期待に副うために業務成績の向上に日夜精励しているものである。かるがゆえに将来支店長たらんことを希う者は其の過程として先ず営業所長を稼ぐべきであり，此の職責を任うした者こそ将来支店長の椅子にも坐る可能性があるのである。方に営業所長は支店長への登竜門である。

地方の名士

草分け時代の電気会社と言えば建物が所謂船来型であるばかりでなく，周囲に較べて際立つて明るく万事が派手であつたが為に其の経営内容も不可思議なエレキ応用により莫大な利益を挙げていると思われたものである。一般公衆に此の先入観念が未だに残つている。況んや資本金36億円の公共的独占大事業であり，例の華やかな（と言つても一般公衆の身にとつては此の上なく迷惑であり不愉快なことではあつたが）電産争議の絶え間のない大会社の出店の長ともなれば，御当人がたとえそれに値しようと，しなかろうと一応は後光が物言うて地方の名士にされて了うのである。此の一応名士がランドローバーに乗つて里道から国原道を颯爽と走り廻ろうものなら，それこそ正真正銘の名士と人もわれも信じるに到るのは無理からぬことである。之丈で済めばまことに天下泰平ハツピーエンドであるが自認名士の懐工合を誤信過信した一般公衆から奉加帳を持参されて，各種もろもろの寄附金貰いに来られた時ばかりは，さすが日頃の御名士も一見して愕然とし，一瞬にして悄然となり「青菜に塩」とは方に此の場合の為に作られた言葉と思われる程の七面鳥振りを，遺憾なく発揮するのである。

神はまことに公平である。

心配のタネ

所長室に納り返つてハンコ押と新聞読みとたまにはヒソカに舟を漕ぐ姿は，所長職なるものは泡にこれ春風中蕩そのものの如くに見えるが実はサにあらず，心配のタネの尽くる間がないのである。次にそのタネあかしを2つ3つ。

（1）火　事

建物から書類，機器，材料等を広い区域に持つて居れば，これ等をいかにして祝融の災から守ろうかとの気苦労は並大抵のものではない。苟くも失火により烏有に帰せしめることでもあらんか昔ならほんとにハラキリものであつた。暖炉を焚いた夜に風が出ようものならウルサイ程宿直者に電話するのも故なしとしない。

（2）公衆と家畜の感電

延長幾千粁の配電線，之につながる引込線から屋内配線中には施設が劣化している個所がまだまだ多い。果してどこかで公衆が，家畜が感電して死傷した等の噂を耳にすれば，「今日はひとの身，明日はわが身」のたとえが身に沁み，風雨強かるべしとのラジオ予報を聞いた丈でも憂鬱になり，之が当つた時などは静まる迄は生きた心地のしないのは敢えて小心だからとのみは言えまい。

（3）所員の事故

感電事故と不正事故とがある。

前者の防止については器具，資材，工事方法等と精神の緊張とについて常に研究と努力を怠りなくやつているが，其の上にも神の加護を祈つている。

1万5千の社員中から稀ではあるが不正事故の生ずることは社報の懲戒欄に記載される通りである。われらは敢えて酔生夢死の境地で盲判を押しているのではさらさらないが，さりとて眼光紙背に徹する程の修練も出来ていない悲しさ，未然に防ぎ得ない場合もありうるのである。そのためには会社に対し多大の財的損害をかけた上更に当該社員に対しては，その長い前途を誤まらしめたのであるからヒューマニテイの立場から罪深いのを痛感するのである。監督不行届の故を以て譴責されること位は甘受すべきである。

団　交

労働組合との交渉は本店支店で大筋の結論は出されるので営業所で問題になることは枝葉のことだけであるが，それでも時々団体交渉を持ち込まれることがある。相手は個人的には話のわかりよいのでも，コト団交ともなれば形相が一変する程の者がリーダー格であり，加之今御時代の寵児，労働者の英雄と自惚れている手合があり，斯うした条件下の団交は円滑に行く筈のないのは当然である。経営者側を代表する末端機関である所長は，ことは枝葉末節でも信念通りに断乎として押し，真の労使協調の彼岸を目指しているのであるが，稀に後になつて上部機関の腰折にあい器量を下げることもある。然し労組も目下盛に脱皮しつつあるようだし，之を数回繰返えされれば其の後には真に健全な組合が出来るであろうし，又其の頃になれば現在は業務一辺倒でこの途のエキスパートになることのみを目指して日夜精進している中堅社員も，自ら進んで執行委員になり社業の進展に協力する時が来るであろうし，その日を待望すること洵に切なるものがある。

任　期

流水は腐らずと言う。こんこんと地中深くから湧き出た清水でも溜水になつては腐つて了う。所長が1ヶ所に長くいることはプラスになる面もあるが，寧ろ常に清新の気で業務成績の向上改善に精進するには適度の転勤が必要である。又従来は所長になると姥捨山的に兎角停年まで其の儘におかれる傾向が強い様であるが，矢張り支店勤務員との交流をモット頻繁にすることが支店，営業所の業務をしてマンネリズムに落ちいらせないことになり大局から見て経営上プラスになる面が甚大であると考えられる。（宮城支店佐沼営）

陳情旅行



座間三郎

固定資産税の軽減陳情にG営業所管内を廻つて来る様に命ぜられた。県の西海岸を県境から北の端まで，南北に細長く伸びた区域で大部分は農産地帯金持ではあるが文化程度はさして高くはない。汽車を利用出来る所は極く一部分で他は1日に2,3度位往復するガタンスを利用するより方法がない辺境の土地である。

大体が豊かな村の多いせいか固定資産税の税率も標準の1.6の所が多く之を超える町村は43の内僅かに8ケ所，軽減陳情には楽な所である。私が指名されたのも専らそのためである。

営業所のIさんに案内に立つて貰つて，4日間バスにのつてバスを降り役場を巡り次のバスで次の役場へと，時には2時間3時間をのんびりとバスを待ち，青田の中の田舎道をゆられゆられ津軽平野の豊かな青と水を湛えた貯水池と殆んど女性的な津軽富士を右に左に打眺め乍らの4日間は，仕事を持つ身にも実に楽しい旅であつた。中でも津軽平野を貫通して流れる岩木川の土手を，河風に頬なぶらせ乍ら自転車を走らせた時は全く仕事を忘れる楽しさで，河原に浴びる子供達に思わず大声で呼びかけたりした。

夜の宿では室の空く迄殆んど10時頃迄またされた擧句隣りの客が夜中過ぎまで女中を口説く声にすつかり神経が緊張したり，次の宿では夜中の1時頃電工さんが酔つて「支店の方に敬意を表し」に来て3時頃まで起されたり全く散々だつたが，之も又「地方巡業」の愉快な余興であつた。

関係の無い方々にはいさゝか退屈であろうが，以下2,3その状況を紹介し度い。

井伏鱒二に「集金旅行」という小説がある。私にして彼の文才があるならば，これをもつと面白い読物になるのだが，出来上つた所は下の通り誠に退屈なものになつてしまつたのである。

※　　※

1時頃R村につく。日本海岸も殆んど北端に近い農村。海岸地帯は干拓地と沼沢地だけ，部落はむしろ山間に展開している。道の片側は畑，片側は台地になつていて，大部分の建物はこの台地の上に石垣をたゝんでいる。法務局の出張所なぞは，如何にもそれらしい感じで毅然とドツシリとあたりをへいげいしている。役場にも何10段かの石段を上つて行くのである。一寸感じが出ている。

役場に入つて見るとガランとして人が2,3人しか居ない。村長は出張，助役も休み，収入役も居ないという。村長さんは何所でも出張が多いらしい。仕方なく財務主任に会う。R村は私が支店を出る前の日に税率引下げの令書を寄越した所で，たゞ御礼を述べればよいのである。「来年もよろしく」と頭を下げたら，唐突に，「御昼御飯はすみましたか」と聞かれた。一寸とぎまぎして しまつた。未だゞと云つたら飯を食はせてくれる積りだつたのか，御礼に昼飯を食はせろという謎なのか，後で幾ら考えても わからなかつた。「手ぶらで御礼に行くというのがどだい おかしいのさね」同行のIさんと顔見合わせて思わず笑い出した事である。

※　　※

S村をすませて次のR町に行くバス迄約2時間位待たなければならない。Iさんが散宿所に行つて休みませうという。丁度作業をすませて帰つて来た所だとかで主任の外に人夫も2，3人いた。支店のお客様だという訳で主任はすぐに昼飯の用意をさせたり酒を買いに走らせたりする。幾ら断つてもきかばこそ。察するに我々は，云うなれば幸運の天使であつたのであろう。主任は一見酒好に見える顔をしていたのである。飲み乍らの彼の話は，集録すればその儘1篇の庶民小説が出来さうな程面白い事件に満々していたのだが，之は残念乍ら割愛する。

いゝ加減に切り上げてバスの停留場に行く。道路に立つていると家々の便所の臭がほのぼのと漂い，駄菓子屋の店先に流れて行く。

この辺は水が多い所だ。道の両側を川が流れ，家々は川を跨いで建つている。川が存外便所になつているのかも知れない。さぞや栄養豊富な灌漑用水。

※　　※

漸くバスが来る。早速乗り込んだ念のためと思つて「K町行きですねと聞くと車掌があつさり「いゝえG町行きです」との返事。あわてゝ飛び降りやつぱり確かめてよかつたと胸をなで下して次の車を待つたが，それが一向にやつて来ない。時間表に書いてある時間はとつくに過ぎているのにとやきもきしていると，向いの店の一寸小綺麗な小母さんが出て来て，何処え行くのかと尋ねる。K町に行くんですがと答えると，それならば先刻のバスでUまで行つてそこでK町行きに乗り替えるのだとの話。それも急いで行かねばK町行きに間に合うまいとの事。車掌の不親切にありつたけの呪いの言葉を浴せながらUまで半里の道を，折からの烈日に照らされ乍ら息を切らして強行軍。途中美しい貯水池を2つ3つ右手に見る。来る時はバスの窓から涼風を受けてこの貯水池を見，田舎には勿体ないすばらしい遊楽の地と見たが，今はそんなもの目にも映らない。息も絶えなん状態でU町に着いたらK町行きの最終がたつた今発つた所。結局G町からK町に廻るより方法がない。而も次のG町行きまでは未だ2時間もある。待合所の店の親爺と無駄話をしながらサイダーをのんだりパンを食つたり。K町についたのは8時であつた。

あのG町行きの車掌は結局我々からサイダーとパンの代金と夕方の宿のくつろぎと，2,3回のパチンコを奪つてしまつたのである。

※　　※

3時頃汽車でM町に着く。汽車が通る迄はこゝはこの辺一帯の物資集散地であつた。古い白壁の倉が多く，町は大体固く冷たい表情だ。

今この町に活気を与えているのは馬のせり市だけ。駅から町の中心地にかゝる入口に一寸ひつこんで町役場がある。入つて行くと此処でも人の姿はパラパラ。町長は町村長会議に出て留守だというので助役と財務主任に面会する。こゝは郡下でも一番強硬な所で財務主任が営業所に来て税金引下げ絶対まかりならんと云つて行つたそうだ。会つて見て成程と思う面魂である。そばの助役には一言もしやべらせず，勿論こちらの言分は半分もきかず町財政から固定資産税の矛盾，東北六県の課税状況まで，いやはや，その博識強覚全く財務主任には惜しい人物と見受けられた。おとなしさうな助役はそれに引づられ気味である。しよう事なくて，こつちはおとなしくかしこまつていたら丁度そこに町長さんのお帰り。例の赤石問題で反対者説得対策協議のため地元町村長さん方が集つた時に私は2,3度この町長とお会いした事がある。なかなか雄弁な人でとかく一座をリードしていた人だ。先方もこつちを知つていたと見えて「やあやあ」という事になつた。こちらは時の氏神とばかり早速町長さんと話し始めた。しばらく話してから助役の方を見たら財務主任と2人新聞の屏風のかげで何やらひそひそ話の最中。協議調つたと見えて新聞のかげから顔を出した助役さん「町の財政は御話した通り苦しいが，会社には御世話にもなつている事だし町会にもはかつて何とか会社の意向に添い度い」と打つて変つた愛想のよい御挨拶である。町長さんから何かサジエスチョンでもあつたのか（あつた様にも見えなかつたが），それ共私が町長と親しく話をしたのを見て気をきかしたのか，とにかく拍子抜けする変り様である。あらためて町長さんに最大限の敬意を感じ且つ表した次第であつた。かの財務主任氏は誠に具合の悪さうな顔でむつつりとおし黙つていた。後で散宿所の主任に聞いた処，こゝでは町長が絶対ワンマンの由。

※　　※

G町，営業所の所在地であり，そして我々の旅行の終点。昨夜は久々にゆつくりとくつろぐ事が出来た。女中を口説く客も居ず，夜中に「敬意を表し」に来る人もいない。但しG町のパチンコ屋は軒並緊縮政策を採用していた。

こゝの町長さんはゴム会社の社長ださうな，終戦直後の物資不足に乗じて，ゴムで一躍財をなし更にその財に物を云わせて町長にのし上つた，先づ典型的なアプレ政治家という所であろう。住民税が飛切り高く営業所の中では真剣に他村移転を考えている人もあるというこの町のことだし，税務課長が仲々の難物らしいので交渉には余り見込みがなさそうである。

朝電話を掛けたら丁度参議院の補欠選挙の日で，町長はいるが税務課長はいないという。先ず敵が1人少い事はいさゝか心強い。

出かけて行つたら成程町役場の中はがらんとして，町長と助役がお留守居番という格好。直ぐ町長に会つて支店から来ましたと名刺を出すと同行のIさんの顔と見比べてけげんな顔をしている。品はないが精悍な感じの顔である。怪我でもしたのか右手の親指と人差指がないのも顔の感じを助けている。私から話を切り出したら，待つていましたとばかり，滔々と反対論をくり展げた。

固定資産税の税率1.6を一応の基礎として電気料金を決めたとしても，それは政府の勝手である。そのた

めに困る事があつたら政府が処置したらよかろう。政府から保証されていると同じ様な電力会社がこんな貧乏町に来て税金を負けて呉れなんて飛んでもない話だ。他の町村はお人好しが揃つているから会社や県の言いなりに負けもしたろうがこつちは違う。支店や県が本店や政府を通そうとするのは無理もないがこちらはそんなものに何の義理もない。

いや全く一々以つて御尤もなる次第である。こつちは黙つて聞いているばかり。給仕も選挙に駆り立てられたかお茶も何も出て来ない。町長は益々油がのつて政府批判，中小企業対策等，追々政治談義に発展して行つて尽くる所を知らない。

話の中に「社会党も今のまゝではとても駄目だね」，という言葉が2,3度出た。彼が社会党なのかそれ共私共を社会党と考えたのかその辺の事は分らない。電気会社の社員は皆赤だという電産華やかなりし頃の迷信が未だ此の辺には残つているらしいから。

物の1時間も話したら町，長さんもさすがにしやべり疲れたのだろう。

まあ，そうは云つても営業所の皆さんの顔は立てゝやらねば，と思つているのですから何とか次の町会にもかけて会社ののぞみ通りにしますよ」同行のIさんの方に目をやり乍ら，口調までが急におとなしくなつてさう云い出した。

どうも町長さんと云うものは人を拍子抜けさせるのが好きなものだ。

思うにこの町長さん，最初から負けてやる積りで，唯持前の下剋上の精神（どうも彼の顔からは百姓一揆の臭がする）と彼の雄弁とを満足させるために「支店からのお客さん」に文句を云つて見たかつただけらしい。私の名刺にけげんな顔をして見せたのも，実はその前兆だつたのである。（青森支店）

美しいということ



伊　藤　榮　喜

発電所の外観があまりにもきたない。思い出すのも嫌な防空迷彩がそのまゝで，これをぢつと眺めていると，広島，長崎の原爆の寫真が浮んでくる。

堰堤や発電所の外観が，四季の自然の美しさに溶け込むような色彩であつたなら，発電所に勤める我々は勿論，角神にお出になる人々も，どんなにか明るい感じを抱いて帰られるのではなかろうか，又，発電所の内に在つて，我々の生活に，空気や水の如くなくてはならなくなつた電気を，家庭や工場に送るために日夜精励している従業員は，職場の周りの色彩に依つて，非常な疲労を感じたり，精神の集中が散漫になつたりして事故を起し易すく，能率に非常な影響があるということが最近わかつて来たので，外観も内観もそれぞれ適当な色彩に塗り替えてやりたいと思う。

さてそれでは，堰堤も発電所も，発電所の内部もどの様な色彩に塗つたなら，外観は自然の美しさに調和して，我々をたのしませてくれるのであろうか，又内部の色彩は従業員の疲労を少なく，うましめず精励させることが出来るのであろうか。美学とは遠縁の水力技術者が覗き見た色彩の美の世界を，不思議に感じたまゝ述べて見たい。

黄色は光の色，生命の色で快活な歓喜であり，赤は火と血の色で，強烈な興奮的な色で，赤や黄色は暖色といつて，我々に温き感じを与える。又青色は紺碧の空，海原の色で，深遠，広大，沈静を象徴し，色彩の内で最も冷たい感じのするもので，これを寒色というのである。「フランス」で名画の有する色彩を全部同じ厚さの画紙に同じ色は同じ色で，其の面積を計つて得た数百個の断片を，暖色と寒色との二つに分けて，天秤にかけたところ，殆んど其の目方が等しかつたそうである。又美しい自然の造つた配色と認むることの出来る，蝶のあるものゝ色彩についても，その色は暖色と寒色と同面積の配合にあるということ迄知られているそうである，と云つて，色彩の調和は暖色，寒色が等分でなければならないという条件をあげているのである。色彩調和の条件には，まだ他に種々の要素があるのでありますけれども，暖色，寒色の等分な配色が我々に美しい感情を起させるのだということだけでも，我々素人には不思議に感じられるのである。

暖色とか寒色とかは，鞏微寒暖計に依つて区分されるさうであるが，画家が，その色彩から受けた感じで表現した言葉の由であり，その暖色，寒色が等分に配色されると色彩の調和を得て我々に美しい感情を起させるということは画家の色彩に対する感覚の真に鋭敏且つ正確であるのにも感心するのである。

色の定義に依れば「色とは眼の網膜とそれに附随する神経作用に依る感応である」そうである，我々が色を識別するのは，光が網膜を刺戟して，視神経に依り或る感覚を生ずるのであろう。

太陽の白光がプリズムに依つて分解されると，7つの美しい色に識別され，それらの色はそれぞれ波長の異なる光線であるということは，誰でも知つていることである。その波長は次の表の通りであつて，最も波長の大きい赤は0.00076粍で，最も短い波長の紫は0.00039粍なのであるが，太陽光線の中では760mμより大きい赤外線や390mμより短い紫外線などもあるけれども，これらは不可視光線といつて見ることが出来ないので，（人間の感覚が鋭敏でないためにこの波長では反応を起さないのであろう。昨年の新聞紙上で，どこの国だつたか忘れたがX光線を感じる男がいるという記事を読んだことがある），別として，可視光線として，我々の眼に見える390mμから760mμまでの波長の光線が我々の網膜を刺戟すると，我々の視神経は大脳に赤いという感覚を起させる。又400mμから500mμの波長が網膜を刺戟すると，視神経は大脳に青い感覚を起させるということは，いかにも不思議なことであつて，我々は赤いとか，青いとかを色だ色だと思つているけれども，それは種々なる波長の光線に依つて刺戟された視覚中枢の対応感覚であるということが出来るのである，だから色盲などは，視覚が普通でないので，即ち或る種の波長に依つて区別されるところの感覚を司る部分がその機能を失なつているのであろう。

色は物理的，生理的，心理的な面がからみ合つて，我々素人には容易に理解しにくいのであるが，兎に角色というものは我々の視神経が種々なる波長の光線に依つて刺戟されて起こる感応の区別であるということが出来て，尚その刺戟が暖色，寒色，即ち波長の大きいのと短かいのとが等分であると，我々に美しい感情を起させるということが出来るのであつて，我々が日常求めて止まない美しいということが，この様なことに依つて起こるということについて，甚だ面白く不思議に感じられるのである。

美しい感情とか，赤い，青いとかいう意識はどうして起きるのであろうか，精神医学者である鳥崎敏樹さんは，著書「感情の世界」で，「みち足りた」生活のなかで安らつている人には意識は生じがたい。いまもしはじめから完全に自由な生活に慣つている人に向つて「自由の感」を，自由の意識をたずねたとしたら，この人は返答に窮するにちがいない。自由の意識は人間が一旦不自由になつて束縛の境地に身をおいてはじめて生れてくるのであり，行動の自由の阻止を通じて自由とは何かを知つたのである。まして幽閉の身のように生活行動が完全に奪われた状態となれば，人は暗い石牢のなかでありとあらゆることを頭に画き夢みるにちがいない。意識だけで生きている身となるにちがいない。そこで次の様な原理が理解出来るであろう，「意識は行動の阻止において，生活の防害において発生するものである」と云つている。クレパラードの言葉を借りれば「意識的となることは個体が環境に順応出来なくなつた結果のように見える。新環境に直面して彼のもつ習慣的な自動機制ではどうにもならなくなり，新しい手段を持つて新しい情況に順応しようとするとき意識が必要となる」と云つているのである。

我々の生活は環境と習慣に依つて造られた安定の上に立つているものであるから，生活の防害は安定（安定性）の防害であるとも言得るのである。これも色彩感覚の上にあてはめて見ると，我々はこの世に生れおちるとから太陽の白光線のなかで育てられているので，太陽光線に対して感覚の安定を得ているのである。白光線の自由を得ているので何等の意識も起らないのである。呼吸の自由を得て空気の存在を知らないように。種々な波長の混合した太陽光線に馴れている我々の腦裡が単一なる波長即ち赤や青や紫の波長の刺戟を受けた時は安定を防害されそれぞれの（赤や青や紫）の対応意識を生じるということになるのではあるまいか，安定を防害する刺戟に依り意識を生じ，新環境に順応しようとする心理的，生理的な心的活動が即ち感情なのではないであろうか。混合波長である太陽光線に依る習慣的な安定が，各色の単一なる波長に依つて刺戟され或る種の感覚を起すわけであるが，その場合それぞれの単一なる波長が長短等分にある場合は，我々の本能的な安定をこわすことなく，快よい刺戟だけを与えて我々に美しいという感情を起させるのである，という風に色彩調和の美の条件を言いかえたら無理であろうか。

このような理くつが成立つとすれば，こゝで大切なのは安定の条件である。不安定な境地に在つて美的感情に浸るなどは考え得られないことである。それからこゝにいう安定とは，地球の引力に対する安定もあるが，人間の心的活動の高度の安定を含めた広い意味である。

結局私は美しいということは対象に依つて生命体の本能であるすべての安定感をおびやかされることがな

赤外線	深赤	赤	橙	黄	緑	青	菫	紫外線
260mμ 100000	730	670	610	580	540	480	420	

く，而も対象の刺戟に依つて誘起される心的活動に依つておこる感情の場であると解したい，そして美的感動の高低は心的活動の波の高低によるのであると思う。

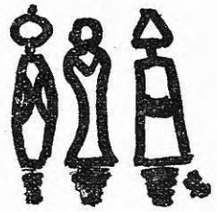
人間が生命体であるということは活動しているということであつて，活動しているということは停止しているのではなく，外面的にも内面的にも動いていることである。感情はこの内面的な心の活動のリズムであつて，何時もいきいきとした活動をさせるためには，外面的な刺戟が必要であり，この刺戟が大きければ大きい程人間の感動は大となるであろう。この場合刺戟が如何に大であつても，自己の安定感をおびやかされる様な対象であつては，その心的活動は不安となり，不快を感じ，美的感情に浸るところではなく，心の安定を求める焦そう感におそわれることであろう。

美しいということは色彩のみに限るものではないので，こういう考え方が絶対であるか，どうか，絶対でないにしても正しいかどうか，どんな場合でもあてはまるかどうか形に対する美的感情について，生花をとりあげて考えてみると生花にも種々の流儀があるようであるがどれも器と材料とおかれる場所の立体的な相対位置の関係から起こるさまざまな連想に依つて我々の脳裡を快よく刺戟し，而も生花全体としては，形は勿論，色彩からの刺戟も形と一体になつていて，それらから生起される我々の心的活動が，我々に本能的な安定感をおびやかすことなく行われている，ということが基本的な条件でなければならない様な気がするのである。生花全体としては調和した安定感があつて，而もその各部分が動的な表現であるとすればそれに依つて我々の脳裡は刺戟を受け意識を生じ種々なる感情の場を造るのではないであろうか。生花の先生に伺つて見たいと思う。

このような迷想は自分の仕事の必要上考えてみた美しいということの私の不思議をそのまゝ述べたまでゞ，一般に美しいとはどういうことなのか知りたいと思う。読者はお笑いにならないで美とはこういうものだと教えて頂ければ大変有難い。

（会津電力事務所庭瀬発電所）

柳津·片門斷想



植竹　昌

既に，田子倉がクローズアツプされ，本名，上田が工事の最盛期にあるとき，柳津と片門について云々することは焦点を外れたことである。然し8月26日に只見水系の4つの発電所の竣工式が挙行せられた機会に回想してみることにする。

日発東北支店末期，沼沢沼揚水式発電所が建設されている頃，柳津の虚空蔵で有名な円蔵寺に詣つたことがある。弘法大師が，この寺を開いたといわれているが，大師は恐らく只見川の流れと人の世の流転を，観念の世界にとらえ，これを虚空蔵菩薩に具象化したと思われる。敗戦後のこの国は，形而上の世界で川の流れや大伽藍に悟り切る余裕もなかろうというもの。時あたかも，河川綜合開発とか国土開発とかいう合言葉に憑かれているこの際，一応具眼の士と自惚れて，この水はエネルギー資源として潜在電源として眺め，やがてはこゝにダムが造られ，送り出される電力が各種産業の偉大なる力ともなると，我が胸に云つてきかせたものである。

然しながら，たゞダムを造るんだと力んでみたところで，簡単に間屋はおろさない。東北電力になつて最初に手をつけたこの2つの発電所が竣工した現在では，実に夢の間に完成したように思われるが，こゝに至るまでは数年間只見川の調査に頑張つた幾多の先輩がいる。この只見の人々が，冬の雪，夏の雨を追求して，これらが櫛々をくゞり草をはい，せゝらぎが只見の流れとなる過程を追い，或はボーリングのため川に舟を浮べたり横坑を堀つたりしてダム地点の地質を調査した。ボルダーダムは20世紀の奇蹟といわれているが，只見の奇蹟も，こうした基礎調査を十分にしてから生れたのだろう。

いざ，工事に着工してから実に18ヶ月の短時日で完成する迄，幾多の苦心談が語られ，幾多の技術的資料が発表されているので，こゝでは本店の庶務係の一員として，書類のさばきの間に感じたことに限定する。

自然の河川が人間の現実社会と交流関係に立つとき，農業用水に漁業に工業用水に発電用水にと，経済的役割を果しているのがみられるが，この効率をもたらすために，一連の法律が制定される。寔に，我々の住むこの国は法治国といわれるほどあつて，只見の川にも法律が入りこんでくる。そのうちの2,3についてのみ思いつくところを記してみたい。

河川法がその1つ。治山治水厚生の面から綜合的にこの法律を改正しようとする気運が出ているが，これについては省く。ともあれ明治29年に公布されたこの法律に従つて，我々は，柳津と片門にダムを造る訳である。法は，河の主管は建設大臣であるが，管理は県知事が委嘱を受けているとしてあるので，先づ水の使用許可申請を県知事に提出することになる。この申請は昭和25年，旧日発時代に手続を済していた。ところが再編成で東北には新らたに東北電力会社が生まれた。建設省では，旧会社の出願中のもので許可のないものについては，旧会社の解散と同時に出願効力が自然消滅して，願意は新会社に継承されないという見解をとつたため，東北電力発足日を以つて，あらたに両地点の願書を提出して，尚県条令にもとづいて保証金の供託もしている。これは工事が着手された時，又は不許可になつた時還付されることになつている。

当時は只見の本流案と流域変更案がはつきりきまらない時でもあり，建設省内部で慎重検討を重ねたが，結局9月頃になつて許可の方針で技術的意見の一致を見たという朗報も入つた。偶々，その頃，新潟県知事より建設省河川局長あて，次のような申入れがあつた。即ち，東北電力より福島県知事経由の上，柳津と片門の水利使用許可の申請が出ているそうだが，新潟県としては，阿賀野川綜合開発の観点から，重大関心を持つているから，新潟県とも充分協議してほしいという主旨のものである。

然し乍ら建設省内の意向は，水利使用は技術的な問題であり，余り申入れに拘泥して，政治問題化したくないというようであつた。東北電力としては最初に手を付ける工事なので，こゝまで好転せしめるに至つた4ヶ月は，平井建設局長，矢崎次長，当時の後藤工事課長等が仙台東京間をしきりに往復し許可促進に努力されていた。

話は少し混み入つてくるが，電気に関する法律がも一つあつた。これは，アメリカの民主的な法理念を採り入れたと称せられる処の昭和25年の政令第343号による公益事業令である。これによつて生れた公益事業委員会所謂5人委員会の許可を得なければ，電気の施設が作れないということである。あ，それからもう一つ。電気事業（存続規定）法というもの。但しこれは，施設の保安を目的とするものであり，実際は，機械のメーカーが決まつてからでないと設備概要もはつきりしないので，法律的手続は，ずつとあとの問題として，今こゝでは考えなくともよかろう。水利権については，河川法に基づいて許可するものであり，概要変更は水利権を得てからの問題であり，一応切り離して考えられるが，併行的に提出した方がよかろうというので，7月頃提出した。その当時は，公益事業令に対する関係当局の見解も一致していなかつたように思われる。この事業令は行政と立法との調整を目的とする妥協的政令であり不偏公平を期するものだとうたわれているが，アメリカ的民主主義的手続は，誠に，まだるつこしいものだ。9月に入り，建設省と，この5人委員会との間に，柳津と片門に関する協議がなされ，意見の一致を見，10月になつて，公益委より福島県知事あて書類が出され，建設省に於ても県に対し認可指令を出す運びとなつた。

尚，事務的審査の時，片門の魚渕の天然記念物の関係が残り，柳津より若干遅れて認可指令が出た。この魚渕は，前に述べた柳津円蔵寺の下の湛水区域で「うぐい」と云う魚が棲んでいるところである。これがお寺の信仰と川の観光との目的で愛され，昭和15年に天然記念物として指定された。「うぐい」は，魚渕を中心として棲み，人言足音に馴れ，餌を与うれば争つて飛躍の奇観を呈すると，柳津案内書にかゝれている。片門が湛水すると産卵場所の浅瀬がなくなり死滅するのではないかと思われた。北松部長の案で，魚梯を作り人工的空洞を設けて，環境に順応し易くすれば大丈夫と見通しをつけ，文化財保護委員会へ現状変更の申請をした。これらの手続は，文化財保護法並びに恐ろしく長い規則，特別史跡名勝天然記念物又は史跡名勝天然記念物現状変更等許可申請規則というものに明記されてある。発電工事は，かくして文部省—文化委の御世話にもなる。

水力発電所の建設については，敗戦後の国土開発と関連してヂャーナリズムに幾多のキャッチフレーズが掲げられ，その重要性は華々しく理解されるようにな

つたが，多くの主管官庁に対する提出書類の山を作り，庶務係の仕事は華やかな所は少しもなかつたようだ。その他，補償の担当課では，水没する土地と建物，鉄道と道路，農林と漁業，温泉と鉱山，これらの調整解決に忙殺され，官庁手続と併行して，地元問題の解決を計り，許認可前の準備に少しもブランクの出ないように努めた。

柳津と片門についての想い出の一つとして以上記したところは，いさゝか竜頭蛇尾の感があるが，忽々の際なので又あらためて機会を待つことにした。

（28年9月記，建設部庶務係長）

ヘリコプターと マイクロウエーブ



濱野義太郎

いよいよ待望のヘリコプターが今秋には到着して，建設工事其の他に縦横に活躍し，新しい威力を加える事が予想されます。

このヘリコプターと共に，会社施設の尖端を行く新鋭として，マイクロウエーブ（極超短波無線電話）がありますが，ヘリコプター程にポピュラーではないためか，広く一般に理解されていないのは残念なことです。

マイクロは既に本年4月より仙台会津間に於て，好成績で使用されており，更に仙台盛岡，仙台東京が現に着々と，建設工事が進められているのに，無線と云う言葉からの感じで，すぐに難解なものとしてしまう点が，ある様に考えられる。

マイクロの専門的な事は，次の機会に譲る事として，今回はヘリコプターとマイクロの関聯を捉え，ヘリコプターがマイクロを利用する事によつて，どの様な利点が出来るか，を中心として進めます。

勿論ヘリコプターは，我国に戦後輸入されたものであり，現在我国の航空事業も，ようやく1人歩き出来る程度で，通信及び航法関係がどの様な状態か詳細に知る事が出来ませんので，筆者が戦争中軍用機搭乗による経験と知識によつたものである事を，御了承下さい。

1. マイクロによる対空通信

航空無線は短波及超短波が使われ，前者は遠距離，後者は近距離通信に利用される事は常識であります。

マイクロ（この場合超短波も含めて）は通達距離は短いが，短波に比較して安定しているために，我国でも編隊間の無線電話に使用されており，米国でも東京空襲の艦載機の編隊連絡に200MC（メガサイクル）程度のものが使われている事が，明瞭に傍受された。

ヘリコプターは航続距離が短い上に，パイロット1名で無線通信士が搭乗出来ない事もあり得るので，操作の簡単なマイクロによる無線電話が，基地連絡に最も適切と考えられる。

2. 航法用としてのマイクロ

無線航法としては，ラヂオビーコン或は更に一歩進んだローランド法等があるが，幸ひにも当社では東北地方を南北に貫くマイクロウエーブの中継局が点々とあるので，これを利用して2000MC（メガサイクル）の電波を伝わつて行く事によつて，夜間飛行や雲中及濃霧中の盲目飛行も可能となつて来る。

これはマイクロの2000MC（メガサイクル）がパラボラ型の空中線によつて，鋭い指向性が与えられているので，いうなればマイクロ中継局同士を結ぶ上空に，1本の帯がある様なものでこれに沿つて行けば容易に盲目飛行が出来る事になります。

例えば仙台より若松迄飛行する場合雲量9乃至10の悪い視界や，早朝の濃霧或は薄暮に於ても，長町上空で靈山方向に機首を合せてスキツチを入れると，直ちに2000MC（メガサイクル）をキヤツチ出来る，そして最大の感度の得られる線上を飛ぶ事によつて，靈山上空に達し次に同様な方法で五万堂，羽山経由で若松に達する事は容易である。

只此の場合に最大感度の指示方法だけが，尚残された考究すべき点で，耳で聞く方法は適当でないので，ブラウン管による方法か，旋回計の様に飛行機の形を計器中に入れて，受信感度の強弱を左右偏位にかえて表示するか，若しくは単に指針に表すか等の方法である。

この場合忘れぬ利点として，長町，靈山間の飛行の場合は，靈山は標高800米，長町は30米として，その間に2000MC（メガサイクル）の電波で結ばれる線上には，標高80米以上の障害物がないことで，宮城福島の県境迄高度2,300米で飛行中次第に2000MC（メガサイクル）の感度が方向偏位によらなくて低下して行くのは，靈山近傍の標高5・600米の山によつて，電波が遮蔽されて来たのであるから，最大感度の点迄上昇する事によつて，山の姿を見なくても自然に適当な高度で飛行が出来る事である。

3. 無線誘導

これは機上の航法とは逆に地上よりヘリコプターを，飛行場或は目的の方向に誘導するもので，原理は電波警戒機，電波標定機として盛んに使用されたものと同一方法による。

即ち，飛行場には無線基地局とし航空無線が設置されますので，これを利用してこの航空無線の空中線をビームアンテナ等にする事によつて指向性を持たせ，更に360度回転する様にする。これ迄は普通のレーダーの装置と同じであります。現実の問題としてヘリコプターの電波の反射波がどの程度であるか解らないので，万全を期するために反射波に替る電波を機上より発射する方法に依る。

この方法は戦争中，友軍識別機として考案されたもので，電探で捉える飛行機の反射波は，隼でもP51でも一様に出るため，夜間や高々度の場合敵味方の識別が不可能でありますから，友軍機のみは電探の200MCを受けた時，これに対応する機上受信部をもつていて200MCの受信勢力を利用して逆に210乃至220MCに変調した電波を返すと，これを地上で受信して変調した電波の到来の有無で友軍機を識別しました。

もつとも米国でも殆ど同じ周波数でB29が本土空襲の時誘導機が無隊主力を誘導するのに使用しており，友軍識別が出来ないものとなりましたが。

この考え方でもつて航空無線基地局のアンテナを回転させて，変調して機上より送り返された電波を，ブラウン管上にキヤツチすれば，長町飛行場より何度の方向，距離何粁と解るので5万分の地図により現在地点は吉岡上空或は白石上空等とヘリコプターの所在が解り，機上に現在地を通知する事が出来る。

そしてこの方法は機上より，地上目標の判別出来ない天候気象の場合は最も有効である。

4. 電波高度計

飛行機の高度を示すものは，普通の所謂気圧高度計でありますので，このため不測の事故や或は思いがけない不便が起る事があります。

電波高度計はマイクロを使用するもので，対地上との高度差を知る事が出来ます。

これも陸軍に於て戦争末期に陸軍機による夜間の雷撃のため研究されたもので，最低2米迄の精度をもつています。

現実に沖縄周辺の夜間雷撃に相当効果をあげております。

これをヘリコプターに取り付けた場合の利点は，建設工事面に使用すれば航空写真と併用して地上の任意の点の標高の算出や，谷の深さ等も機上より測定出来る事，伝送電線建設等に必要な山の斜面の状態が正確に摑む事が出来るものです。

勿論ヘリコプターの航法用具としても充分に活躍するもので欠く事の出来ないものの一であります。

其の他電波高度計の利用法は種々多岐多様に亘るものです。

5. 其の他

資材運搬する場合の，保線車からのヘリコプターの誘導等が考えられる。

以上想ひつく儘に書いたが，ヘリコプターの少い機数を効果的に運営するためには，密接な空地の連絡と精鋭な機器の活用により飛行の効果を発揮する事であつて，これはマイクロの利用に負う所が大であります。

更に地上マイクロ網の完備によつて，所望の飛行地域の天候気象を迅速に蒐集して，連絡する事も亦重要な事であります。

この様にヘリコプターとマイクロの組合せによつては，通信に，航法に，測量にと多様の利用方法があり，其の他にもいろいろと考えられるが或はマイクロ屋の手前味噌と思われるかも知れませんし，慾ばつて狭いヘリコプターの機上がマイクロのセツトで一杯になり，先日の鎌倉海岸の二の舞になると大変ですから，此の辺で終りとします。

（仙台盛岡間極超短波無線建設所）

耽　味



池田信夫

味覺の遺傳

新秋の爽涼，肌を慰むるこの頃，俄に耽味の奢りが，舌端によみがえり来るのを覚えます。

私はよく「君は酒も飲まないくせに，酒飲の好む物ばかり，好んで食べる」と言われますが，酒を飲めぬ僻みからか，そんな時は，うまい物は酒も飲めぬくせに，あんまり食べるな，と言われておるような気がして，何もむきにならなくともよいのに，むきになつて，このわた，うるか，うに，からすみ，等々舌に溶け込むような，うまい肴の味を想い出しては，珍味談義を一席やるわけですが，しかしまあ，うまい物は，酒を飲まれる人々の，酒の肴として，もつぱら占有されず，飲めぬ側にも，せめて食べるだけでも充分食べさせてもらいたいものです。

父親は酒も飲めず，又食べ物にはいたつて無関心で，何んでもうまそうに食べる方ですが，母親は，どうしてこうまで色々と変つた物を，耽味するのかと思うほどで，随分所々方々から，物を集めては，喜こんで食べて居りましたが，これも母親の血筋は，酒には強い方なので，母親は酒は全々飲めないが「酒の肴」だけは，充分に遺伝して来たのかも知れません。父親の方は，酒を飲めぬ系統ですから，私もそのまゝ遺伝で酒は飲めず，母親の「酒の肴」をこれまた，遺伝して来たのかも知れません。

かく遺伝素質が有るところへ，幼少の頃から母親が好んで食べる物を，側に居つて食べさせてもらつたものですから，どうも人一倍，舌は益々食品の特質に，興味を持つようになつたわけです。食べると同時に，作る事も，見よう見真似で覚えるもので，しまいには，鳥の作り方まで覚えてしまいました。

さて自分が社会に出た時は，世は既に戦争時代で，しまいには，生きる事が，精一杯だつたものですから，幸か不幸か，まだ物を耽味する事に金を使つた事もなく過して来ましたが，さて終戦後8年，何もかも，戦前なみ，否戦前以上の世になつてみれば，舌はやはり昔を思い出させ，時たま，好む物を口にする時は，昔の恋人にでも逢つた様な気持で懐しく，つい小盃の縁までなめる始末です。

しかし世に言う食道楽でもなく，都会の割烹店に味覚を求めたものでもなく，又旅にまかせて，諸国の珍味を求め歩いたものでもなく，家庭に於て，ささやかながらも，物の味を，心ゆくまで楽しんだと言う者です。

味の藝術

食事が必要から，好厭に岐れ，さらに趣味にまで進んで来た事は古いこと，そこで必要と好厭は，動物の世界にある，共通の事実ですが，食品を耽味するという道楽は，人間ばかりが持つている奢りらしいです。

食品に趣味，嗜好を豊かにするのは，人生に滋情を蓄えるものでしよう。新涼の候，一茎の野菜にも心をそゝいで，その美を求むるところに至味が生じるもので，つまり味の芸術があるのです。外に出て金を使わずとも，家庭に於て，愛好する物を舌にのせ，陶然とした気持は，何ごとにも替え難いものがあります。

物の味は季節によつて，随分違うものです。時至れば佳味となり，時去れば劣味となるものです。

此頃の季節のものに鮎があります。7月下旬から8月中旬にかけて，肥育の極に達した頃を，至味と言われて居りますが，初秋の風，峡澗の葛の葉を訪ずる候に，そろそろ卵巣のふくれて来た大鮎は，またすてがたいものです。腹に卵を持つと，腸の渋味に濃胆の趣を添えて，味聖の絶讃を買う事でしよう。脂肪も去らず，肩の付根から胴へかけ肉張が充分厚いものです。実際鮎は，随分季節によつて，味に凋落高調のあるもので，その上産地と味とに，深い関係を持つているものです。ですから産地を知り，魚品を知つて，その味を含み分けるところに，食道楽の嗜趣があるのでしようが，私なぞは，まだそうした味聖の心を知るものでありません。

しかしこの鮎に付ては，何処の土地へ参りましてもなかなかお国自慢が多いので，うつかり鮎は多摩川にかぎるとか，富士川の鮎は絶品だ，なぞ申し上げられぬ気がします。

一番よい季節に出かけ，肥育の極に達した頃の鮮度の高い物を食べれば，やはり我々を満足させてくれます。割烹店などで，早い季節に，たゞめずらしいと言うところから出してくれる，形も小さく，しかも腹を開けた物なぞにいたつては，それが何処の鮎にしろ，たゞ鮎と言うだけの事で，鮎の鮎たる処は知る事も出来ません。

鮎が人々に好まれるのは，清淡の味もさることながら，香気と渋味を尊ぶ腸を捨てゝは，鮎を理解しないも甚だしいものです。

一般に良質の水垢を豊かに食べた鮎は，香気が高く，肉が締り，泥垢を食べた鮎は，匂が薄く，肉がやわらかであると云われ，水源地方に古生層，つまり水成岩の層を持つた川の鮎は，品質が上等で，これに引きかえ，水源地方の山塊が，火成岩である川に育つた鮎は，味も劣り，香気も薄いと言われて居ります。

さて私は，なんと言つても，初秋の風と共に卵巣のふくれて来た，大鮎に一番美味を感じるものです。あるいはこの少し前が一番なのかも知れませんが。水温が冷れば冷る程，頭と骨がやわらかになつて来ますので，骨ごと，丸ごと口に入れゝば身半分は卵で一ぱい，そして背筋一ぱいにはしる脂肪層，加へて腸の渋味に，濃胆の趣を添えて居り，我れ知らず心おきなく，耽味する事が出来ます。頭も骨も共に食べてこそ，本来の味と香気が舌に応えるものです。よく鮎を，箸でむしつて食べる人がありますが，水温の高い，緩やかな流れに，泥垢を食つて育つたものと知つてるなら，いざ知らず，鮎自身をなげかす食べ方でしよう。

腸の味聖

鮎の季節が終れば，鮎は「うるか」をもつて又我々を喜ばせてくれます。私もこの「うるか」を好み，舌にのせては，その味を讃美して居ります。

今年2月久しぶりで，弟をたずねたところ，これはどうか，と言つて出してくれたのが，2.3寸の小鮎と腸とを一緒に塩に漬けたもの，即ち「うるか」に小鮎が入つて居るもの。小鮎を小さく切つて「うるか」と共に食べましたが，実に珍味。鮎の季節になると，学生も休になるので，鼻や耳の患者さんは，非常に多くなるとの事で，悲鳴を上げながらも，そこは好きな道とみえ，診療の暇を見い出しては，自作の投網を持つて鮎取りに出かけ，どんな小さなものでも持ち帰り，自分で作つた塩からでしたが，小鮎なども，こうした利用方法があるものかと，感心し広口瓶に1本貰つて帰り，暫くの間，楽しんで居りました。先日も仙台の七夕祭の絵葉書に，今年も是非鮎の「うるか」を作つておくように依頼した次第です。

腸の珍味となると，どうしても「このわた」を上げなければなりません。あの姿の悪い「なまこ」からどうしてかくも我々を喜ばせてくれる珍味が出来るのかと驚きますが，これこそ本当に舌に溶け込む，うま味でしよう。古くから越後には，なかなか良質のものが作られます。佐渡，柏崎方面から多く出るようで，昔はガラス等の容器に入れず，直径1寸位の，青竹を1尺位に切つて，その中に入れて売つて居つたものですが，香気もぬけず，他の容器に入れたものよりも，味もよく又容器の趣きも有るものと思つて居りました。新潟地方では特に好んでその味を讃美するようで，酒の席へも盛んに出されて居るようですが，ツルツルと口に入れた後で口のまわりを，ペロペロ舌で嘗たくなるほどで，こうした事も本当に愛好する者でなくては味わえぬ気持でしよう。兄弟そろつて大好物でしたが昭和19年，末弟が病の床に付き，食物もほとんど食べられぬ事を聞き，大好物の「このわた」でも送つてやつたらば，と考え物も少くなつて来た時代でしたがようやく手に入れ，送つてやつた事がありましたが，死亡した時にまわりの人々に，送つた「このわた」を喜んで食べた事と思いながら，聞いて見ましたが，ほんの少々食べただけであつたと，以外なことを聞かされましたが，あれほどまでの好物も，すでに食べる気力もなく，数日後に世を去つたのかと淋しい感に打たれ，其後「このわた」を食べるに付け，若くして世を去つた末弟を思い出して居ります。

卵の珍味

酒を飲む時の肴にすると，酒の味が大そうよくなる，と聞いて居りますものに「からすみ」があります。私なぞは酒には関係なく，薄く切つてチイーズでも食べる様に少しずつ食べては，悦に入つて居りますが，御承知の様に，これは鯔の卵から製造するので，卵の方は，あれほど嗜酒の方々から賞味されるにも拘らず，親の鯔の方は，なんであんなにも厄介もの扱いにされるのか，想えば甚だ気の毒に堪えません。私もあの泥臭い味が，どうも感心しませんが，生きて居る内に頭を深く割り，逆さに吊して躰内の血液を悉く絞り出してしまえば，臭みもぬけて，刺し身に作つても又塩焼にしても，おいしく食べられる事は承知して居ります。

「からすみ」はなんと言つても，長崎ものが一番。

これは五島附近で漁れた鰡の腹のなかから，卵だけを抜き去つて，これを長崎で加工したものですが，卵巣も若く，加工が上手であるから，肌がなめらかで，艶々とし，質は軽い脂肪を含んでいて，歯に絡るほどのねばりを持つて居ります。戦前かなり入つて居つた台湾産のものは，長崎ものより粒が少し大きいようでした。また日本海方面の主に秋田あたりと思いますが，鱈子ほどの粒になつて居つて，かなり品が落ちるものもありました。鰡は一体何処え卵を産みに行くか，と言う事はよく知られて居りませんが，夫々産卵場を求めて長い旅行する途中と言うのが，九州の五島沖，台湾海峡，秋田地先の日本海なのだそうです。なかなか技工秀逸な工場で作られるとの事ですが，買つて来た「からすみ」の1本を大切そうに眺めながら，薄く切つて口に入れる楽しみも又わすれられぬものです。

さて雪の季節たと青森地方え参りますと，「生うに」を盛んに出されますが，「うに」はなんと言つてもこの「生うに」が一番です。今年1月に参りまして，随分食べて参りましたが，これまたとろりと舌端に溶け込むように珍味なものです。卵にもまだまだ佳味なものがあります。鮭の生卵ですが，これがまたとてもうまい物で，いきの良い鮭から取り出した生卵をそのまゝ醤油に1日2日漬けておくと，薄い膜もきれいに取れ，卵も一粒ずつになりますので，これをそのまゝ食べると実に美味なものです。もう一つ卵でわすれる事の出来ない佳味のものに，鯛の卵の塩からがありますが，今日では残念ながら昔のような品をみうけません。これは私がまだ幼少の頃，柏崎のさる旅館の主人が，御承知のように日本海には鯛が沢山とれますので，旅館でも鯛料理を沢山作るのですが，腹から出る卵を料理をしてもあまりうまくもないので，自家用にでもと，瓶に入れ塩と麹を入れて塩からにしたものです。暫くして食べてみると，すこぶる風味もあつて，なんとも云えぬうまい物が出来ましたので，お客の皿にも少し付けた処，非常な好評を受け，是非わけてくれと云つて東京辺なとえ持ち帰る客も出来たものです。そこで壜づめにして鯛の子の塩からとして売り出し，これが酒の肴にも，一般家庭にも大そう喜ばれたものでしたが，其後これを真似て他の業者からも，どんどん売り出され，各地で求められるようになりましたが，事業として売り出すには鯛の卵だけでは間に合わず，ひらめ其他の卵を使用するので，とても本物で作つたものとは，格段の異いがあります。最近では鱈の卵まで使用して「鯛の子の塩から」として売り出して居りますので，味もおとり，特に口にする必要もないものにまでなつてしまいましたが，昔の味が懐しく思い出されます。

さてまだまだ飽の「わた」の如く生でもよし，塩からにしてもよし，思い出せば我慢が出来ぬほど，口にしたくなる絶品と申すべきものは沢山ありますが次の機会にゆずるとして，ようするに食品を玩味することそれはまた実に楽しいものです。

—1953.8.30—(社長室人事係長)

萱場梨



茂木　隆

「福島の名産はなんですか」旅のつれづれに若し此の様な質問をうけたならば，私はすぐ「梨でしょう」と答えます。そしてその質問者が関西の人なら，「あゝありの実ですか」とうなずくでしょう。夏から秋えかけて味覚の座を占め殊に病人の療養に重宝がられて居る果物「梨」に就いてのいろいろを郷土便りの一コマとして紹介することにいたしました。

福島から西へ約4粁，吾妻の山々を仰ぎ見ながら奥羽線に身を委ねる事僅か7分間，そこに私達は「笹木野」と云うちっぽけな駅を見出します。4月の下旬こゝを通る旅行者達は車窓に次々と展り拡げられる白一色にいろどられた梨園に讃辞を呈します。だが此の「笹木野」と云う平凡な名前の駅には一瞥も与えはしないでしょう。

しかし彼等が若し8月から僅か2ケ月の間に此の小さい駅から15万箱，約60万貫の梨が関東，関西，遠くは香港シンガポールへと積み出される事を聞いたならばきっと驚くに違いありません。此処で汽車を降り，徒歩で15分，やがて私達は「萱場」と称する部落にたどりつきます。この辺から蟬の声さわやかな松林を背

景に背丈程の梨園が次々と姿を見せ始めます。中央の市場でも認められて居り全国的にも有名な「萱場梨」の産地は此処であり，此地の中心に，約106町歩に亘る梨園が広く横たわつて居るのです。

8月下旬から10月の上旬にかけて相当数の人々がこゝを訪れます。パラフイン紙に身を包み清新な味覚をたゝえる20世紀（梨の種類），褐色の表皮を真夏の太陽に照り輝やかせる熟し切つた長十郎，これ等の果物は此の地の訪問者の1人1人に素晴しい味覚を満喫させます。娘達が歌声を交えてたのしそうに梨をもぐ収穫時……。この歌声のかげに私達の忘れる事の出来ない幾十年にわたる栽培者の苦斗の物語りが秘められて居ります。梨の種類その他を紹介する前に先ずこの栽培史をひもといて見ましよう。

明治19年，鳴原佐蔵と云う1人の農夫によつて50本の苗木が此の地にはじめて植えられました。しかし当時「笹木野」と云う地名がすべてを表わす様にこの地は笹だけが繁る全くの荒地であり，栽培の鍬をふるう事は言語に絶する困難がありました。しかし彼は「荒無の土地でも，手入れ次第で梨は必ず実る」と云う信念のもとに精魂をこめた栽培を続けました。附近の人々は彼に対して何の協力も与え様とはせず「霜害のあるこの荒地に果物を植える……何とばかばかしい話ではないか，梨は何もナシかい」と或る時は嘲り笑い彼の血のにじむ努力を一笑に付するばかりでした。この様にして月日はすぎ去りました。そして彼の血にじむ様な努力が実を結ぶ日が来ました。

彼の手によつて培われた「梨」は遂に実り，その梨は，時の陛下に献上されたのです。陛下は彼の不屈の農夫魂を称揚され，彼は聖恩に感泣し「萱場梨」の声価は此れを機に全国に知れ渡りました。

明治44年彼の功績を永遠に讃えるため頌徳碑が建てられ，今日尚道往く農夫達は自然に頭を垂れ彼の偉大なる功績に敬意を表して居ります。年産60万貫総収入6千万円と云う驚異的数字を此の村にもたらして居る不朽の名果「萱場梨」のかげにはこの様な1農夫の血と汗に綴られた栽培の記録があるのです。

次に「梨」の種類を挙げて見る事にいたします。「アリの実」「アリの宮」とも呼ばれる梨の代表的種類は6種類あります。洋梨・八雲・長十郎・二十世紀早生赤（ワセアカ）・三吉（サンキチ）がそれです。その1つ1つに就いて紹介いたしますと先ず8月20日を過ぎる頃からその先陣をうけたまわつて店頭に姿を見せ始めるものに洋梨があります。これは云うまでもなくひようたんの様な形をした舌ざわりの滑らかな梨であり，罐詰などに愛用されて居ります。次いで8月30日頃から顔を出す八雲，これは20世紀の小型（コガタ）であり甘味の点では20世紀に遠く及びませんがシーズン始めには珍らしがられる種類です。1週間を経て梨の人気者とされて居る長十郎が市場を賑わします。これは褐色の肌を持ち甘いことでは及ぶものナシと自他共に許して居ります。そして9月10頃待望の梨の女王20世紀があふれるばかりの果汁をたたえて登場いたします。これに就いてはあまりにも有名なので説明を省略し，梨のシーズンの最後を飾るアンカー早生赤・三吉について述べましよう。

これ等は外観は非常に不体裁でありますが翌年の春まで保蔵出来る特質を有し輸出と云う時代の脚光を浴びて彼等は遠く香港シンガポールへと送られて行きます。これで種類については終るわけですが，彼等の保存寿命は早生赤・三吉をのぞいて1週間から10日間であることを附言して置きます。

最後にこの梨がどの様にして育て栽培されるかについて概略記して見ましよう。梨の木の寿命は約50年でありその最盛期を30年とします。梨のシーズンも終り風の吹き始める11月，来年の収穫を期して農夫達は第1回の肥料を与えます。そして同時に機械油乳剤による消毒を行います。次いで12月の声を聞くと彼等は剪定（センテイ）・棚しばり（タナ）を始め梨の不要の成長を防ぎます。この様にして春をむかえた梨は4月中旬硫黄合剤により消毒され，更に4月の下旬ボルドー液による消毒をうけます。そしてこの頃梨の花が一斉に咲き始めます。この時季に栽培者の最も恐れ梨の死命を制する霜の到来があります。農夫達は降霜を予測される晩は太鼓を鳴らして総出で梨園に薪を焚き温度の下降を防ぎます。この様にして霜害より守られた花の雌芯には人工交媒が行われます。霜害の脅威も去りホツトする5月10日頃飴玉程の大きさに成長した梨の実を保護するために袋かけが始められます。無数に実る1つ1つの梨に袋をかけることは強度の忍耐を必要とします。

この様にして袋の中で育てられた梨はやがて6月の下旬をむかえこゝで大きな袋にとりかえる袋換えが施されます。20世紀には特にパラフイン紙と普通袋の2重袋がかけられます。この袋換えと併行して梨の成長の止まるこの時機に追肥が行われます。これを最後に梨に対する手入れのすべては終りあとは収穫を待つのみとなります。この様にして農夫達により丹念に手入れされ育てられた梨は市場へと送り出されやがて皆さんの前に姿を表わすわけです。

こゝで栽培者達の恐れているものの2,3をあげて見ますと前に述べました降霜の外に黒斑病，黒星病，赤星病と云う病気があり油虫・姫心食と言う害虫があります。亦1本の梨の木について5円の果樹税，その他所得に対する税金もその対象になるかも知れません。夏の夕食後卓上を賑わし，ピクニックの趣のひとときにのどをうるほす「果物」我が郷土のホープ「梨」に就いていろいろとのべて見ましたがこの辺で筆を擱きたいと思います。　　(28.8.19　福島営業所)

わが師を語る



村山春灯

顧みれば，私達柏崎営業所俳句グループが，大場遍路先生をお迎へして，初句会を開いたのは，昭和25年4月であつた。以来3年有余，当時季感すら満足にわからなかつた私達が，先生の懇まざる御指導によつて，此頃では俳句への興味を増し，我々の日々の生活の中から俳句を見出し，俳句をこゝろの糧として，日々の生活を娯しめるようになつた。

今回柏崎福浦八景の景勝地，鯨波御野立公園に，市内俳人により句碑が建立され，去る7月12日盛大に除幕式が挙行されたが，(碑に刻んだ句は昭和27年御野立での佳吟「能登岬はろけし月の罹わたる」である)次に私は，我が師大場遍路先生について，簡単に紹介してみたいと思う。

先生は明治25年11月仙台に生れ，本名猛，雅号は北極星，南溪，遍路と称し，厳父寅太郎氏も南溪と号して書をよくされた。

先生は柏崎市村山家より迎へたミコ夫人(現長岡営業所工務課長村山源一郎氏の令姉)との間に2女あり，何れも洋舞踊家となつた。先生には2弟3姉あり，1弟勇氏は東京計器株式会社に勤務，2弟忠氏は浜松育学校に奉職し，傍ら電気マッサージ療院を経営，1妹八重さんは舞踊家の石井漠氏に嫁し，2妹孝さんは江崎進氏に嫁し，3妹千代さんは高原延雄氏に嫁した。即ち舞踊家石井小浪さんである。先生は東京で，活版印刷，煙草小売，文具店を営んだが，戦時中柏崎へ疎開し，そのまゝ現在に至つた方で，この間柏崎刈羽地方俳壇のためのみならず，朝日新聞こしじ俳壇選者として，新潟地方俳壇のために，大きな指導啓蒙的役割をなしておられる。先生は2・3才の頃大病にかゝられ，以来目と耳が不自由になられたが，かゝる試練にも屈せず，以来40年もの長い間，俳句一途に精進され今日に至つたもので，その俳友交友は全国にまたがり，戦争中大陸各地に散在する俳友を訪ねて，1人旅されたが，目と耳の不自由な先生が，ちつとも不自由されなかつたという。現在では御隠居されて，句作三昧の徹底した日常生活を送つておられる。当地方の俳人が各派各流の如何に拘らず，大場先生を中心として団結しているのは，実に先生の徳の然からしめる処で，他処ではみられぬ処である。今回有志の人達が，句碑建設委員会を組織して，広く当地方は勿論，県下俳壇人に呼びかけて，句碑建設を企画するに至つたのも，長い間の先生の高恩に酬い，その俳歴を永く当地に伝えて，詩魂の灯を点し続けたいと念願したからで，若し将来刈羽柏崎地方俳壇史でも編纂されることがあれば，大場遍路先生の句碑建設は，特筆されるべきものである。私達俳句グループは今後も先生の指導のもと，この美しい日本国土に生れたことを喜ぶと共に，四季の自然現象を娯しみ乍ら，庶民の文学たる俳句を通じ，日々を楽しくそしてゆとりのある生活を続けて行き度いと思つておるものである。最後に先生の近作を1句御紹介致します。

タタミの目涼し潮風つゝぬけに

(柏崎営業所)

及川仙石先生還暦



高木桐舎

当支店俳句部を御指導下さる及川仙石先生(せんせき)が本年6月還暦を祝われましたのでこれを機会に先生を御紹介致したいと思います。

先生は仙台の人，東大医学部を卒業昭和4年新潟医科大学教授(衛生学)として赴任致しました。先生の俳歴はこの時より初つたのであります。即ち当時新潟医大の教授として中田みづほ氏，浜口今夜氏が熱心に俳句を作つて居り，しばらくして高野素十氏が同じく教授として赴任致してより，良き指導者を得て更に熱心に句作する様になりました。

その後まはぎ(高野素十先生，中田みづほ先生の主宰する月刊俳誌，現在本年8月号をもつて287号)後に同誌の選者となりました。欅(池内たけし先生主宰)，ホトトギスに投稿昭和26年10月ホトトギス同人に推せられ今日に及んで居ります。

一方先生は大学に於いてその専門の衛生学教授として環境衛生に力を注ぎ特に積雪と農家の環境衛生に熱心で全国一の積雪地という新潟県北魚沼郡の農家についての研究の為毎年冬季間何回となく実地調査に当つて居られ斯界の権威者とされて居ります。仙石先生の句集「待春」の後記にもある如く雪に接する時が多いので雪に関する俳句が多いと自身語つて居られます。

私が俳句を作り始めたころ(昭和19年頃)毎月数十句作り先生に見て戴いたとき，80句位の中7つか8つ赤丸の印がついて居り，しだいたい君の句は想像して考えて作る句が多い。俳句は考えて作るものではない。目に映つた花鳥風月をそのまゝ素直に17文字にまとめればよいのだ。俳句はとにかく月に200～300句位多く作らなければならない。そしてその中傑作が2つでも3つでもあればそれでよいのだ。今回の君の句を見て赤丸の印がついているのは傑作というものではないが，今後その様な作り方の方向に進んでゆけばよいというものに印をつけたまでゞある」と云われた事が今でも脳裡より去りません。いや私が今後共俳句を続けて作る中はいつまでも去らないでありましょう。

とかく大学教授と云えば吾々凡人には遠隔の人の様に思えて近寄れない感じを受けるものであるが，仙石先生には全くその様な事はない。先生を大学に訪ねて教授室をノックすると中より大きな返事がするので部屋へ入るといつも笑顔で迎えてくれる。用件を済まして帰らうとすると豊富な話題を次々かえて話してくれ中々離れさうもない。この様にして先生は誰にでも親しみをもつて接して下され，句会に御出席をお願いすれば都合さえつけば何時何処えでも喜んで出席し御指導下さる。

今回仙石先生の還暦をお祝して出版された句集「待春」に虚子先生は序文を次の如く贈つて居られる。

前文略す，仙石君は世の中に俳句で頭角を表さうとする様な野心は毛頭無い様である。只その本職としての学問にいそしむ傍らそれが俳句と多少交渉のある事であれば喜んで句を作る。又，強いて世間の俳句を導くという事もしない。只何等かの縁故で俳句を見て貰い度いという人があれば懇切に之を指導する。だから仙石君は強いて俳句を作らうとはしない。只俳句を作る場合があれば作る。又強いて某甲某乙の俳人を仕立てようという様な考えもない。只君に機縁のある人々の句ならば喜んでこれを見る。まことに美しい態度の様に思われる。君は新潟医科大学の教授として，中田みづほ，高野素十両君と共に古い存在である。俳句は或いは両君の刺戟を受けて作り始めたものかと思うが然も相当に古い。終始一貫冷熱なく常に変らざる態度である。君も恐らく私の謂う所の客観写生という事をモツトーとして花鳥諷詠の道にいそしんでいる最も純粋な1人として推重すべきだと思う。

こゝに又梅の香りをきけとこそ　虚子

と讃えて居る如く虚子先生の贈られた序文をお読みになつても仙石先生の人格風貌がおわかりの事と思います。

又仙石先生自身の後記の中に

前文略す。全体を4季に分ち，各季毎に年代順に句を配例した。続者に於いて直ちに気がつかれることゝ思うが，冬の句就中雪の句が圧倒的に多い。これは虚子先生の序文にもある通り，我が雪国の人々の生活に触れ，更に雪国の人たちの心に触れることが多い為である。物静かな，場合によつては荒涼たる淋しさの中にあつて，ひたすらに春を待つ雪国の人たちの心には，なつかしい共鳴を感じて止まない。句集の名を「待春」としたのも，この様な理由からに他ならない。後文略す。

と先生専門の学問の研究をする楽しさ，積雪地の人々と接して談笑しそれを俳句として楽しんで居られる様子がおわかりでしよう。

生涯の仕事を雪に捧げ住む　　仙石

先生の代表的な傑作といはれて居る中主なものを句集「待春」より拾つてみませう。

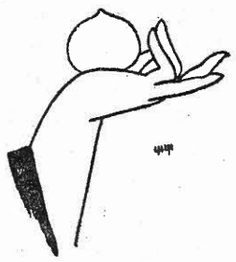
芽柳の糸の向うの往来かな
炉ぼこりのとゞくところの雛の座
ふるさとの大路小路や星まつり
月見草次々咲いて長話
稲負うてゆつくり膝をついて立つ

早紅葉や広瀬の奥の入広瀬
雪の朝誰彼となく会釈かな
どの雪の穴を降りても駅の道
華めきて除雪人夫の出て行かず
吹雪中繭玉市の立ちにけり
樋道をあけて貰うて会釈かな
街角に除雪の詮議いつまでも
人声は大きく炉火は美しく
雪早き大白川の部落かな
よべの雨大白川の雪となる
雪沓のだんだん重し雨となる
雪帽子頷き合ひて別れけり
雪囲雑然として捗れる
雪晴や出迎の樋ことはりて
毎日の午後の雪代荒々し

還暦も過ぎた今日尚新潟大学医学部教授として研究を続けられるということを聞いて，先生の専門の雪の研究の業績の大成功をお祈りすると共にその寸暇をさいて吾々に俳句を御指導下さる及川仙石先生にあらゆる感謝をもつて本稿を脱したいと思います。

（新潟支店）

俳句入門



久保乙秋

俳句でも短歌でも同じことゝ思うが，やり始める動機と謂うものは，確然とした意慾と目標を以て取り掛る場合よりも，むしろ，漫然とした他動的な機会に依る方が，多いようである。私なども，お多分に洩れず，無理に誘われて，いやいや乍ら始めた組であつた。昭和10年頃，南洋サイパン在島中に，会社の同僚の鵜錢（ホトトギス派の俳人で盧子縄の歳時記夏の部の「椰子」の季語例に出ている）に，サイパン島の西南端バナデル高地の月見吟行に誘われたのが動機であつた。

バナデル高地は，大平洋戦争の末期，サイパン陥落の際，多数の居留民が自殺したり，戦死したりした場処である。島を囲る珊瑚礁が帯状に白く泡を噛む岩礁となつて美しく，椰子の木蔭から漕ぎ出すカナカ青年のカヌーが，水すましのように見えた。海岸線に沿つて，椰子の木が斜めに聳え，この椰子の上に出る月は，蒼く明るく輝やくばかりであつた。

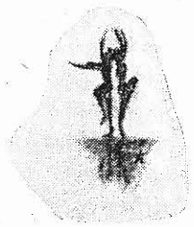
バナデル高地は，これら礁湖の風景を一目に望む絶好の場処であり，正に俳句吟行に持つて来いであつた。しかし吟行などゝ云うことは始めてであるし，俳句の作り方は知らないし，自動車に積み込んだ筈の，冷めたいビールがいつ出されるのか，ビールの魅力にのみ釣られて罷り出た組にとつては，待ち遠しいものであつた。俳人達は，月を仰ぎ，海を見，散策しつゝ，一向に時間の経過を気にしない。目に飛び込んで来る風景なり，感覚なりを素直にそのまゝ17字に詠めばいゝのだと教えられ，その辺をブラブラして見たが，どうにも摑みどころが無く（無理もないことだが）骨の折れる苦行であつた。〆切となり，1，2の句らしきものを提出してホツとした。さて互選披講となつて見ると，不思議なことに小生の句が最高点である。句は忘れて終つたが，何でも，茂みの中に小さな花が咲いていることを，詠んだものゝように記憶している。こうなると些か恥ずかしくもあり，一面組み し易しと謂う気もあり，大いにビールの満を引いて，始めての吟行は何とか面白い位の印象を受けた。それから2回3回の句会に出席するようになり，段々回を重ねるに従つて，しかく安易なものでないこともわかり，2回以後は成績も振わず，やはり句会後のビールの方により多く期待していた。そして在島6年即かず離れず，可もなし不可もなしの俳句であつた。勿論俳誌に投句する程の意慾も無し，俳句をやるなどゝは，義理にも謂えなかつた。東京転勤となり，本社が新橋の東拓ビルにあり，常務が熱心で，退社後句会を開いて出席されたので，剴に盛会で出席だけは欠かさなかつた。しかし熱意の点は，サイパン時代と変りなく，その場限りの適当なもので，身についた真剣なものとはならなかつた。昭和15年病を得て，郷里福島にかへり身を養うことゝなつた。こゝに生活様は一変し，必死の療養生活に入つた。社会生活から隔絶した毎日の中で，俳句だけが，心を燃やす唯一の対象となつた。そして当時の綜合俳誌，俳句研究の誌上で推薦を受けたが，俳句を始めて以来の喜びを感じ，夢中になり始めた。その句は，

拓士らは地熟に堪えて甘蕉（きび）を刈る
南十字星に拓士ら酒を酌むことも
拓士らは琉球なまり甘蕉を刈る

素朴な句であつたが，この日以後俳句とは離れ得ぬものとなつた。組みし易しなどゝ思つていた俳句は，むずかしく深い。ものゝ本質の善と美の調和，しかも作者と対象が，渾然融け合つた時にのみ俳句は生れる。入門当時を想起し，これからのひたすらなる道を，同好の士と共に歩みたい。と同時に，逃避ではなく積極的な意慾の燃焼でなければならぬと考えつゝ，作句の愉しみを思う。

（福島支店）

生命について



菅雄吉

糖尿病のため入院加療中であつたわが敬愛する新海さんを，ある夏の夜訪れたことがある。にわか雨などのやつて来る蒸暑い夏の夜である。

浴衣の袖をまくりあげ，豊かな胸をあらわしてウチワを使いながら元気な笑い声を立てゝ，患者という名の彼は一向病人らしく見えない。そのはだけた胸の真中に1センチ平方くらいの絆瘡こうが貼つてある。何か注射をしたのですかと訊くと，次のような答えであつた。

この東北大学黒川内科が糖尿に関しては日本の権威であるという事はかねて聞いていたことであつたが，その理由が分つた。それはこうである。人体には糖分は必要であるが，その糖分が補給されずに排泄されるならば，生存に必要な糖分を人体に補給する何か兵坦部があるはずだ。例えば毎日の収入を生活に用いずに右から左へ浪費しても，尚かつ生きているとすれば貯金がなければならない。その貯金に相当するものが何であるかを調べて，それが脊髄の中の液であるという見当をつけたのが，この黒川内科の山形先生である。それでこの脊髄中の液を分析してみると，糖尿病によつて糖分を排出しても，糖分の欠乏による欠陥に人体が堪え得るかどうかが分る。そこで数日前太い注射針を胸の骨にさして液をとり，調べてもらつた結果，新海さん，あなたの躰は大丈夫です，まだ貯金は相当あります，ということになつたのだ，というわけであつた。

豪快なる笑いをひゞかせてから，言葉をついで曰く，大事なことを肝腎というくらい肝臓と腎臓は重要であるが，これをとつてみても人間は生きている。更に胃やその他の内臓をとつてみてもなお生きていられる。つまり心臓が動いているうちは生命は持続する。心臓の動いているかどうかが，生きているかどうかということである。この心臓が動くということは一体何であるか，何故心臓は動いているのか，更に心臓はひとりで動いているのか，或は心臓を動かしている原動力というものがあるのではないか，ということを研究した結果，どうも心臓を動かしている別な力というものがあるらしい。それが或いは脊髄の中にある液体ではないか，脊髄が人間の生命を支配する中心ではあるまいか。もしこれが分れば，ガンや結核で死ぬことも無くなり，病気は根本的な治療によつて人間社会から追放されるということも考えられる。正に革命的な方法である。勿論山形先生は謙譲な方で，そんたことを人に向つて言われないが，他の人々の言葉の断片から私が推察したものだ。というような内容であるが，もつともこれは山形教授以外の人の話を新海さんが聞いて，それを私が聞いたのを文章にしたのだから，大分手垢がついていて恐縮であるが，御本人の眼にこの文が止つたらさぞニガい顔をされるかも知れない。それでこれは夏の縁台ばなしの一種であることをお断りしておく。

さて私はこの話をきいて妙に空想を刺戟された。生命の根元を理解することによつて，人間の智恵は生命の神秘を解くことが出来，死というものに対する完全な防衛が可能となるかも知れない。してみると生命とは何かということを知ることにより死を防ぐことが出来るかも知れない。生命とは何ぞや——私も20才前後の頃，しきりにそんな疑問が浮んだことがあつたが，ウヤムヤのうちに馬齢を重ねてしまつた。

私は少々物好きだから生命に関する本を少し買つて来て読んでみた，素人のこととてあまり専門的な書物はどうせ読んでも分らないから，小さい啓蒙的な本で

ある。J．B．ホールデン著「人間とは何か」，シュレーデインガー著「生命とは何か」，J．D．バナール著「生命の起原」などである。此等の著者は何れも世界一流の学者である。ホールデンは英国の遺伝学の世界的権威，シュレーデインガーはオーストリヤの生れで波動力学の創始者とされる物理学者，バナールはロンドン大学教授で物理学者である。何れも一流の学者である。私ごとき一介の会社員が云々することはセンエツも甚だしいが，彼等は科学を大衆に開放する目的で，最新の学術的成果をやさしく之等の本で述べている。大衆の1人としてその感想を述べることは，その大学者達の好意に報ゆる道である。

ホールデンの本では，まず人間機械論から初まり，人間は精巧な機械にたとえられるが，これは役に立つ考えであると同時にそればかりでは説明しきれないと説く。根本的特徴は機械のどの部分も予備品でとりかえられるが，人間はそうはゆかない。然し主要な人体の作用は機械にたとえられる。だから人間を説明するのに物理学と化学が役に立つ。そして人体の各機関の性能と作用とを説明し，生命とは何かに答える。然しそれは期待したような明快なものではない。「一体こんな疑問に返事なんかできるかどうか疑わしい。生きているということは，赤いことか痛いとか骨を折ったとかいうことと同じく，そうらしいという感じが分る事でしかない。それだから生きているということを他の言葉で言いかえることはできない。」然し生命とは何かという問題は，答える価値がある。それは化学作用であると言える。「生命の骨組の根本は化学のでき事であり，之に加えて殆んど全ての生物に夫々形の決つたつくりがあり，大低の動物にはきまつた運動が見られ，ある動物には感情や意志がある言えよう。」「まことにあらゆる生命は根本的に類似した化学作用をそろえ，それを様々に違つた骨組に作つているのが特徴である。」「ジヤガイモが糖を澱粉にするのも，人間の肝臓が糖をグリコゲンにするのもその道筋の根本は変らない。」という様にホールデンは生命現象を物理化学的に説いて，遺伝と環境，科学と社会，社会のための科学に言及して，この本を終つている。要するに人体を維持する生命というものを化学作用の面から説明している。あまりに割り切れていることが，我々を感心させるとともに物足りなさも覚えさせる。

シュレーデンガーの「生命とは何か」は，生命というものを物理学が現在到達し得た最高の理論によつて説こうとした本である。それより生物学と物理学との中間で宙に迷つている基礎的な観念を明らかにしようとした。まず物質を支配する法則，即ち物理学と化学との法則がすべて統計的な性格をもつものであることを明らかにし，次に生物の営む生物学的な過程が物理学的法則に支配されるかどうかを遺伝のしくみを見ることによつて調べる。ところが遺伝のしくみは統計的理論では説明できないことを染色体(生殖細胞の核)の行動によつて明らめる。然しながら生物は物理学的法則によつて説明することが，絶望とは云えないことを突然変異の場合をとつて説き，これは即ち量子論によつて説明出来ることを証明している。然し生きているものゝ構造は，従来物理の実験室で研究されて来たどんなものとも異つているので，現在のところ両者の完全なる一致は見出せない。但し困難ではあるが，生命を物理学の法則で説く準備は出来ている。というのがこの本の大体の趣旨である。

次にバナール教授の本は，地球上に生命が出現した道程を説明したもので，まず生命を定義して誕生，存続，死滅という特質を有し生理学的なものであると同時に歴史的（進化論的）なものとして捉えられるものであるとする。そのような生命は蛋白物質という共通性を有している。原始地球上の混頓状態に於いて存在したアンモニア，炭酸ガス，硫化水素が太陽の光線による光合成作用によつて簡単な分子を形成した。これが蛋白質に進化してゆく。別な言い方をすれば「生命は光の作用で空気から織り出された」のである。この簡単な構造の分子は粘土の表面に附着し粘土を触媒として巨大分子となつた。この分子が重合や縮合の過程を経て漸次に複雑化多様化して行き，今日のような蛋白質を形成してゆく，然しこれは生命の宿る生命体の出現であつて，生命の起源とは区別しなくてはならぬ。生命の起原をはつきりつかむことは困難であるが，生命活動の最も特徴的な姿は化学反応とその諸変化であることは確かである。これは生物学と化学と物理学の握手により明らかとなつた。生命の起原についても遠からず結論が出るだろう。その暁は「無知を蔽い隠すだけの役にしか立たない神秘的な解釈の雲を一掃することができる。」というような内容である。

これらの3冊の本を読んで考えてみると，現代の科学は生命というものを神の仕業などとは考えないで，その完全な科学的解決の1歩前まで来ているように思える。然し我々にはどうもあまりに割り切つた解決のようで，何となく物足りない感じもする。といつて神の仕業だとするような信仰もない。古代人と現代人との中間にあつて，どつちともつかない中ぶらりんの状態だといえよう。

もつともホールデンといゝ，シュレーデインガーといゝ，現代の最高の頭脳であるから，我々凡庸の徒のこゝまで近ずくのは尚数10年の時が必要であろう。然しこれらの本は英国で反響を起し賛否両論がやかましかつたというから，英国全体の水準も我国に比べて大分進んでいることは確かである，「超音ジエツト機」という映画を見ると，音速を破る衝撃は英国人がもつのだという誇りに満ちている所があるが，英国のような古い国柄が，種々の方面で尖端を切つているのは，まことに面白い現象である。

それはとにかくとして，生命を物理学と生物学の握手によつて解決出来るとする説はどうも物足りないが，恐らくそれは我々が「命よりも大事だ」などというくらい大事にしている生命が，まるで実験室の中で試験管の中から作れる様に手軽に考えられているからである。トーマス・マンの「魔の山」の中で，主人公の青年ハンス・カストルプが生命を探求するところがあるが，山のような医学書を読破しても遂に生命は解決出来ない。生体そのものはもとより皮膚や神経や感覚などのあらゆる生命現象に亘つて未知の領域があり，更に生物と非生物との差に至つては，脊椎動物とアミーバとの距離も問題にならぬ。なぜなら死は生の論理的否定であるが，生命と生命なきものとの間には，科学が躍起となつても橋渡しできないような深渕が口を開いている。ということを悟るに至つた。「無知を蔽いかくすだけの役にしか立たない」かも知れないが神秘という観念はまだまだ我々から無用とはならないようである。我々の大事な生命は，やはり1種の神秘感がつきまとつている。生命の尊厳又はヒューマニテイとはこゝに発するのではあるまいか。

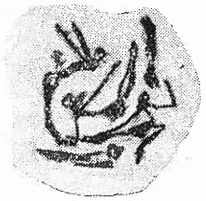
例えばこゝにハンス・カロツサの「ドクトル・ビュルゲルの運命」という小説がある。若い村医ビュルゲルは真面目な人間的な医者で，父親から有効な特殊薬の処方を受けつぎ村の病人達を熱心に治療する。然し勤勉な医者であると同時に，若い血を持つ人間でもある。若いハンナという女の患者の治療に当つているうちに，彼女を愛するようになる。彼女との愛の喜こびに浸つている時に医師としての必要な処置を忘れている。真夜中までわれを忘れて彼女と一諸に過し，彼女の健康のために乾杯した。そして「日ごとに輝きをましてくる彼女の眼のうちの死の翳に，わたしが多愛もなく見惚れているとき，私は彼女の健康そのものを忘れていたのだ。しかも彼女は何の懸念も感じない。幸福に浸つているこの不幸な病人は，ドクトル・ビュルゲルの手当を受けるようになつてから，大へん具合がよい，と見舞客に語るとき，彼女は自分が真実を語つていると信じている。」かくて人への愛から発した治療の勤めが，人間的にその愛の中に深入りするとたちまちつまづく。これがこの若い医師の罪過である。この罪過は，愛人の死という齟齬となつて現われ，過剰なほどの良心の持主である医師は自殺する。

この作品は20世紀の「ウエルテル」だとされているが，主人公の破滅に至るまでの苦悩の経過が，かのゲーテの傑作と対比せられるからであろう。このビュルゲルの苦悩は医師としての責務が人間的な発展と一致しないことに対するものであるが，それはつまり生命の尊厳を重んずる医師としての使命は，一時の情熱を斥けてゆくことであり，それが真の愛であることを忘れたために起つたのである。

どうも私のような者にはかの物理学者の説く論理も興味深いが，それはそれとしてつかまえどころのない神秘感に包まれた生命観の方がよりふさわしいように見える。

（本店総務課）

あの人・この人



千本健雄

大正の後期から昭和の初めに掛けて各所で盛んに啓蒙的講演会が流行した。これは当時擡頭して来た自由主義的思潮の政治経済社会文芸各部門に於ける活発な運動の一つの現われとも見られ，又国民一般にも何か清新な思想を求めて止まぬ澎湃とした社会的欲求があつた事も見逃し得ない。かゝる一つの社会的傾向は満州事変の勃発に依つて無惨にも終止符を打たれる迄続いたのである。当時丁度20才前後で思想的にしきりに何かをつかみたがつていた私は，東京に居たという地

理的利点もあつてあちこちの講演会を聞いて歩いた。私はこゝに聴衆席から仰ぎ見た壇上の名士の印象をそこはかとなく書き綴つてみたい。併し何しろ30数年を経た今日となつては，当時の強かつた印象も忘却の霧の彼方に次第に薄れ去つて了い，私の貧弱な頭脳の片隅に辛うじて残存しているほのかなる記憶の残滓をピペツトの先でつまみ出してフラスコの中に浮べたのをやつと伺い見るより外に致し方がないのである。枸杞数の都合でこゝに手繰り出す記憶の糸は文壇，劇壇の名士のみに限ることにした。

A 芥川龍之介

大正11年の春当時プリンスオブウエールス現在のウインザー公が来朝された。大英帝国の背景と，自由闊達なその性格と又独身であるという事実とが当時このプリンスを世界に於ける人気の中心に押し上げていた。我が国に於ても何やかやと歓迎のプログラムが組まれると同時に，英国に関する色々な行事が催された。その行事の一つに英文学講演会が神田の青年会館に開かれた。この日の芥川の演題は「ロビンフツド」と云うのであつたが彼は開口一番「私の演題はこゝにロビンフツド」と書いてありますけれども，実はこれは私の演題ではないのであります。私は初めこの講演を御引受けする時に，演題はイギリスの泥棒としたのであります。所がこの講演会のプログラムを英国の皇太子殿下のお手許に差上げることになるかも知れない。其時にイギリスの泥棒であつては甚だ不当であるから取替えろという命令を受けました。併し差当りお話申さうとする事は矢張イギリスの泥棒の外にないのであります。」とことわつた。内容は随分突込んだものでイギリス人の英雄崇拝主義が単に英雄に対するあこがれ許りでなく，唯強い丈けの者に対する讃仰でありその対照は有名な泥棒諸君に迄及んでいる事を一流の諧謔まじりに説いたものであつた。次に聞いたのは慶応の大ホール（慶応では当時，いや今でもさうであるか知れぬが，その講堂を大ホールと呼んでいたし）であつてどう云う主旨の催しか忘れて了つたが講演者は或る海軍大佐と芥川の二人と云う面白い組合せであつた。

番組の順序では最初に芥川が登壇することになつていたが定刻になつても仲々現われない。3・40分待つてもまだ来ないので到々大佐殿が先に壇に登つた。彼は「軍人は時間を重んずる，殊に海軍の軍人は1分1秒をもおろそかにしないのであります。」と変な処で見得を切つてから軍縮会議の事か何かしやべつた。次に芥川が例の飄々たる格好で現われ時間をすつかり思い違えしていた事を詫びてから文学論を一席やつた。ロビンフツドの時は洋服であつて少しは颯爽としていたが，この時は和服で長髪をボサボサ乱しているせいもあつて何となくショボショボして見えた。尤も先に話した大佐殿が恰幅だけは堂々としていたのでその対照上鶴の如き芥川が余計に貧弱に見えたのかも知れない。併しての話の内容は誠にキビキビした才気煥発たるものであり盛に「紙巻煙草的」とか「葉巻煙草的」とかいう比喩を用いて論旨を進めていた。

B．菊池　寛

ズングリした身体，余り血色の良くない四角な顔，ショボショボした誠に小さい目，鼻下の髭，話し方も芥川の如何にもスキの無いのに比べて咄々吃々たるものであつたが，その1句1句にユーモアが漂いその点楽しいものであつた。氏の話を最初に聞いたのは「劇文学講演会」であり場所はこれも神田の青年会館であつた。「今日の講演者は皆大家揃いであり私なんか嫌だというのに無理矢理引張り出されたんでまあ刺身のつまが洋食のパセリ見たいなあつてもなくても良い様なもんで……尤もパセリを食つて了う人もあるが……。」と云つた調子で始めた。この日の所謂大家連中には中村吉蔵，小山内薫，等が居た。

C．久米正雄

芥川，菊池と並べると次に久米正雄が来ないとどうもおさまりがつかない。所がどうしても氏の講演の内容を思い出せないのである。併し聞いた事は確かだ。高い背，黒い顔，濃い髭，元気なガラガラした話し振り。

D．小山内薫

氏の講演も2・3回聞いた。大正10年頃松竹が映画事業を始めて，男優に諸国十九，岩田祐吉，勝見庸太郎，女優に川田芳子，栗島澄子，五月信子等を擁して，それ迄見世物であつた活動寫真なるものを次第に映画劇の範疇に迄引上げて来た頃，氏は映画監督として多角なその才能の一端を発揮していた。その当時「映画監督の話」と云う題でしやべつたのを聞いた。「映画監督の話と云うのは映画監督とはどう云うものか，どう云う仕事をしているのか，又どう云う仕事をなすべきであるかと云つた話ではなく，こゝに現実に1人の映画監督が現われて話をすると云う意味であります。」と話し出した。其の後氏は「新劇の実験室」と銘打つた築地小劇場を興して，汐見洋，友田恭助，東屋三郎，千田是也，滝沢修，山本安英，東山千栄子等

を養成した。現代の新劇界の錚々たる名優達も当時は一介の研究生に過ぎなかつた。この頃氏は一座を率いて名古屋でゲーリングの「海戦」と云う表現派劇とチエホフの「熊」とを公演した事がある。その前夜新劇と築地小劇場の紹介的な講演会があり当時名古屋に居た私はこれを聞いた。会場は名古屋商品陳列館のホールで，暑い夏の晩であつた。帰りに出口に下足番が1人しか居らず混雑した事を覚えている。壇上に於ける氏は寫真で見る通りの誠に瀟洒たる紳士であつた。

E．泉鏡花

確か慶応の大ホールで催された三田文学の講演会の時であつたと思う，水上滝太郎の鏡花芸術の紹介兼鏡花礼讃の講演の後をうけて，小柄な和服姿の氏は登壇した。すぐ椅子に腰掛けてやをら小型の魔法瓶の蓋を取つて注がうとしたがどうしても中身が出て来ない。よく見るとコルクの栓を取るのを忘れているのである。氏は片手で自分の頭をコツコツと叩いてニツコリ笑つた。中身は勿論お酒である。演題は「蒟蒻問答」というので，表も裏もない話であるというのがその枕であつた。

F．島崎藤村

和服，白髪，伏目勝ちに如何にも謙譲な態度である。「私の近作を読まして戴きます」とボツリと一言云つて短篇の対話を一つ読んだ。何でも擬人化された木と木の問答であつたと記憶する。大勢の前でしやべるのが甚だ不得意らしく，読んで了うと丁寧に一礼して降壇して了つた。

G．久保田　万太郎

氏の作品を読むと如何にも下町趣味の横溢したさばけた情景のものであるが，壇上の氏は誠に固苦しい切口上の話振りで，一寸近寄り難い人柄に見える。和服の時も洋服の時もあつたが，何時も折目正しい少しのユーモアもない話し方で，さつぱり面白くなかつた。

H．小島政二郎

慶応の文科の先生をしていたので姿はよく見掛けたが，話を聞いたのは3,4遍である。尤も私が慶応の入学試験を受けた時作文の監督にやつて来たのが後から思えば同氏であつた。雪の降つた日であつたがレーンコートを着たまゝ教室に入つて来て教壇には登らずに後の方の空いた椅子に腰を下ろして退屈さうにしていたが，暫くたつてから「この四角い囲いの中に一つずつ字を書くんですよ」と受験用紙に渡された原稿用紙の書き方を説明した。当時はまだ原稿用紙の書き方も知らない学生が居たと見える。氏の講演は頗るうまく，一寸素人離れがして居りデエスチユアが垢抜けしていた。世話講談と歌舞伎の世話物との関係を主題とした珍らしい講演会があつた時，故人の神田伯竜が「河内山宗俊」とか「天一坊」とかの講談を抜き読みし，その後で小島氏がそれと世話狂言との関係を説明したのを聞いた事があるが，誠にうまいもので名人伯竜の後をうけて聞き劣りがしなかつた。又何時か名古屋の公会堂で女性いや毋性礼讃を一席やつて「あのアナトール・フランス，あの皮肉屋のアナトール・フランスでも死ぬ時の最後の一言は「マヽ」であつた」と云つた話を聞いた事がある。

I．早川雪洲

この人の話は大阪の朝日会館で聞いた。もう15.6年前のことである。まだ40台の氏は髪も黒々として居り堂々たる体軀であつた。欧米の芝居と日本の芝居との比較と云つた話であり，大分日本の芝居を礼讃していた。

J．守田勘彌

これは先代である。前述の菊池寛の話を聞いたと同じ劇文学講演会の最後に出演したのである。紋付羽織袴で少し固くなつていた様である。当時市村座の菊五郎の下を脱退して「文芸座」の旗上げをした許りであつた。話は新劇を近頃演出した感想とでもいうべきものであつた，「先日仙台の方に参りまして新劇の「馬ぬす人」と旧劇とを並べてお目に掛けたので御座いますが，宿に戻りまして宿屋のおかみさんにどつちが面白かつたかと御伺い致しました処，「馬ぬす人」の方が遙かに面白かつたというお話を聞き，こんな田舎のおかみさんといつた様なお方にも新劇が受けるのだと思い，益々新劇精進の気持を固めたわけで御座います」といつた様な事を話した。

K．中村翫右衛門

翫右衛門の話は講演というよりはむしろ解説であつた。勿論まだ前進座は入党して居らず而も数班に別れない前の事だから，今の各班の主脳者達が長十郎の下に統一されて大前進座を形成していた時代の事である。大阪の朝日会館で翫右衛門は「殺陣（タテ）の解説」という話をした。旧劇に用いられる色々な斬合いの型を説明し，次に前進座総出で実際の殺陣の有様を実演して見せて呉れた。斬合いの型の一つに山型というのがある。両方から刀を切り合せて山の形を造るものである。或る若い役者にお前は山型を知つているかと聞いた処，いや私は仙台迄は参りましたがまだ山形へは行つた事がありませんと答えたという話はこの時聞いたものである。

（資材部次長）

短歌

海岸線

本店　長谷部　高岡

海岸に捨てし鉱滓（ノロ）より立つけむり尾崎岬の山脈閉す
白きデルタ海にかたむく砂のうへ松群ひくく風おこりゐる
唐桑の岬おぼおぼ湾を扼し満潮にわが二トンの船出
黄に翳る水平線に羅なす雲たちて遠き海のスコール
海流のゆたかなる交流にいでてゆく「第九東丸」と追ふウミネコと
椿生ふる島めぐりゆく外洋にわが船を避け潜（かつ）く鵜ひとつ

墓参

秋田支　太田瀬徳

女学生のはしやぐ声と女車掌の声とまぎれず田沢湖行のバス
幼な子も妻に負はれて吾が母の墓にぬかづく母よ見給ふか
墓前にて酒を飲み合ふこの部落の古きならはしに吾もつらなる
曇り重く時雨るる山峡妻と子に傘さしかけて山伏峠を越ゆ

表情

山郷発　薄小枝子

人形に猫にもの言ふ女童ら既に母性の口調をなして
河岩に立ちて流れを見つめゐる鴉にも孤独の表情があり
クレゾールの匂ひ残れる両の手を今日も夕焼の窓べに洗ふ

年々に悲しみ深くして華やぐと歌ひし岡本かの子を思ふ
応接間の硝子戸二枚透し見える朝陽に輝くダムのさざ波

本店　野中陸三

蝶

切崖に魚の跳ぬる音のして波紋の影は崖に映ゆるも
引潮にしづかに動く藻のあひの海水光りきらめきて消ゆ
穂薄の群れなびくなか蝶一つ縫ひ縫ひとびて沢にかくれぬ
講習中社宅のラジオ時報告ぐれば時計たしかめ講習続く

本店　高田　修

蔵王山

岩つばめ風に向ひて群れ飛べる旧噴火口を見下して立つ
こばいけい草朝霧に濡れて群れ咲けるかたへを登る友に遅れて
水漬（みづ）きたる部落にありし墓石か数多置かれし川辺をすぎぬ

本店　河野広治

花明り

薄陽さし真昼の雨の晴れんとす机に眩しダイヤ硝子戸
種々（くさぐさ）の花明りして盂蘭盆の墓地けむりつつ賑はひにけり
降り注ぐ夕立にいたく荒されぬ子等が砂場の山やトンネル

母

仙台営　渥美龍夫

指を折り枕をひきて呻く母せめて最期の安かれと禱る
三十年にわたる願ひは果されつ洗礼を母今ぞ受けたり
たへがたき悩みは遂にぬぐはれて安けく母は天に召されつ

菊

岩支　及川楽雲

勤より帰りて居間に入りゆきぬ机上に匂ふ白菊の花

選評

扇畑忠雄

今回は歌稿のあつまりが思わしくなかつたが、短歌欄・俳句欄ともに社詰の重要な部分（ひろく自由に開放された文芸欄として）と思われるから、同好者こぞつて投稿され、質においても量においてもその内容を一そう充実されるよう願つてやまない。いくつかの職場短歌サークルの中にあつて、東北電力ほどの実力をそなえたものは、そう多くはない筈である。それだけの自負を、過去の業績だけに安住した空虚なものたらしめず、前進への弾みとして一そう力を到されるようさらに願つてやまない。

「海岸線」一連は、情緒的、感傷性をしりぞけて、海のイメージをくつきりと描き出している。

海岸に捨てしノロより立つけむり尾崎岬の山脈とざす

上句の現実追求はあざやかだ。結句は結論づけの早すぎる感があるが、佳作と思う。他もそれぞれおもしろいが、一首の中に説明が過剰になつたり、描線の硬い作も混入している。

「墓参」の一首目は田沢湖行のバスの中で女学生の声と女車掌の声とがまぎれない所を捉えて感興がある。

女学生のはしやぐ声と女車掌の声とまぎれず田沢湖行のバス

ただ声のまぎれないという比較だけに終つている。下句で生かされていない。

岩つばめ風に向ひて群れとべる旧噴火口を見下して立つ

「花明り」の中では次の作、平凡ながら捨てがたい。

降り注ぐ夕立にいたく荒されぬ子等が砂場の山やトンネル

以上の他の各作者について一首宛あげる。

三十年にわたる願ひは果されつ洗礼を母今ぞ受けたり　「母」

墓掃除すみて碑銘を読むときは亡きちち母の声あるごとし　「秋の花」

勤より歸りて居間に入りゆきぬ机上に匂ふ白菊の花　「菊」

秋の花

仙台営　渥美龍夫

墓掃除すみて碑銘を読むときは亡きちち母の声あるごとし
売りに来し秋七草の一束に庭のダリアも添へて供ふる
一つ家に生き残る者集りて御佛のこと語り過しぬ

菊

一閑営　大山篤

勤より帰りて居間に入りゆきぬ机上に匂ふ白菊の花

波紋の影が崖に映えるという所は大へんおもしろいが、音をうたつた上句と下句とが融合されていないから、一首全体として印象の統一がとれていない。四首目の「講習中」の歌は、上句をも少し消化させれば、生活感情のよく出た作となるだろう。

「蔵王山」の中では一首目がしつかりしている。下句で生かされている。

岩つばめ風に向ひて群れとべる旧噴火口を見下して立つ

「花明り」の中では次の作、平凡ながら捨てがたい。

降り注ぐ夕立にいたく荒されぬ子等が砂場の山やトンネル

以上の他の各作者について一首宛あげる。

三十年にわたる願ひは果されつ洗礼を母今ぞ受けたり　「母」

墓掃除すみて碑銘を読むときは亡きちち母の声あるごとし　「秋の花」

勤より歸りて居間に入りゆきぬ机上に匂ふ白菊の花　「菊」

本　店　草野風逸

七夕竹の色紙吹電に誘われて
登山者にまつわり飛べる夏の蝶
山頂に立てば燕のかすめ飛ぶ
　原町営　松坂正男

炎天や線路工手を野に残し
バツクミラーに夕焼を乗せて帰路
大揚羽寄りて地に垂る蓼の花
　新　支　倉島艸童

蜩の庫裡一宿の申し入れ
蜩や戸じまりもなき山の寺
老訥の坐禅の如く端居せる
　小出営　関　よし

肋あらは病父に蟬の絶間なし
風通る間取り羨みミシン借る
まぎれ来し蚊の鳴き声や夜短
　小出営　山本テル

茶碗のふれ合う音や朝の蟬
夕立の過ぎし鎮守や寄せ太鼓
芋の葉に小さく構え青蛙
　柏崎営　吉田一江

朝やけの巻雲に鳴く雀かな
すぐあきる幼子の眼や金魚玉
浜茶屋にボートの順を待っている
　柏崎営　岡田凡平子

大虹や糸屑つけし妻とみる
真向の海風に眉根まで涼し
鳴子引く農夫の古き戦斗帽
　岩　支　須田勉

朝寒の旅の日なたで妻に書く
　大曲営　継田山茶花

蝗とる子等はたのしや紙袋
　大曲営　渡辺富雄

稲束を抱く地上の足の温み
　大曲営　草彌一穂

昔時偲ぶ角館町や秋祭り
　柏崎営　町田芳栄

草茂る一茶の句碑に秋立ちぬ
　柏崎営　植木睦子

かなかなや午后休診の札さがり
胡瓜もむ母に西日がつゝぬけに
田草とる遠き一人は祖父らしく
　柏崎営　村山守人

くき〳〵と秋の茄子を洗ひけり
朝顔の窓に子を呼び妻癒ゆる
湯かへりに夜店の茶碗佇ちて見る
　柏崎営　白井昭三郎

秋風を背に煙草火をともしけり
砂にかく文字ひんやりと秋立てり
銀漢を真上に感じ今日も寝ぬ
　柏崎営　小川雅英

師遍路念句碑除幕式に臨みて
句碑建てて心耳に澄めり蟬時雨
秋立てることにふれつゝ厨事
甘藷畑へ葉月の風が来て光る
　佐渡金沢変　土屋丸児

旧道の低き家並や桐の花
鯉のぼり道も狭に舟揚げてあり
ゆつくりと畦塗つておる大男
　会津電　西岡孝

住き夜に生れたる子や星祭
泡たてるビールも静か星祭
　会津電　山内嘉子

もつれつつとまらぬ蝶に花菜の黄
外科室に患者ひしめき法師蟬
　会津電　竹内まんぢ

昼顔の咲ける砂丘に君が墓
音高き柿の落果に新刊閉づ
　高田営　比護翠池

堰堤上にしぶきをあげて喜雨いたる
豪雨去りて瀧数条の山を見る
　柏崎営　今井史文

蜩の声して旅の荷をまとむ
秋立つや一茶の句碑の去り難く
　柏崎営　柴野村童

髪を櫛く海女総身に晩夏光
親は親子は子の日焼け夕餉とる
　柏崎営　宮山直樹

朝顔に海の風来る歯を磨く
夏雲や道断崖に画くところ
　柏崎営　中村鯛三

葬場の人焼く煙り晩夏なる
アドバルーン逆光を浴び晩夏光
　柏崎営　小関政英

沖ここにまばゆく秋の立つ日かな
食塩のさら〳〵こぼれ秋立ちぬ
　佐渡金沢変　菊地大二郎

百合活けて車掌元気に発車告ぐ
虹仰ぐ療者の瞳それ〴〵
　一関営　大山清雲

格子戸の鈴の音よき秋桜
　河原町変　浅田哲伸

秋立つや百万キロの社となりぬ

十句を評す

遠藤梧逸

堤灯のあかりとゞけば露けくて　小松里草

今でも田舎の闇は暗い。隣家に風呂をもらいに行くにしても、長押にかけた堤灯をもち出さねばならぬ。出入口から門の間には、芋が植えられ、玉蜀黍が立つている。何ということなしに持つている堤灯をつき出して見ると、芋の葉にも、そこらの下草にも、数知れない露の玉が結ばれている。「母なる大地」という言葉が思ひ出される。

庭境なきまゝ海へ大夕立　村山春灯

文法的に解釈して何を意味するかゞ明白でないこの句が、一誦ある海岸における白雨の壮観をはつきり思わせるのも不思議である。縁側の先が芝生になつていて、その芝生が砂浜になる急な崖のところには別に垣も結つていない。縁側の籐椅子によつて、閉めてある硝子戸の外を見ると、もう沖は全く見えないほどの烈しい雨となり、軒樋の水が青い芝生の上に雪たてゝ流れ出ている。

蜩や人波公会堂を出る　河野ひろじ

終幕のベルがなつて、公会堂の出口から人波が流れ出した。吐き出された人波は、不思議なほど静かに流れてゆく。かな〳〵が鳴き出し、空は真赤に焼けている。大きな景色がはつきりと眼にうかぶ。

七夕竹の色紙吹雪に誘はれて　草野風逸

「七夕竹」は「たなばた」と読んでよいであらう。色紙吹雪という表現はなかなかうまい。その言葉がある為に「誘はれて」という下五も極めて自然にうけとれる。

炎天や線路工手を野に残し　松坂正男

広い炎天の野には、いまは汽車も通らず、バスの姿も見えない。ただ道に添うて立つている向うの電柱に、とりのこされたやうに一人の工夫が乗つている。「残し」という言葉は、いかにもこの場合の工夫ありかたをはつきりと言ひ得ている。

大虹や糸屑つけし妻とみる　岡田凡平子

糸屑を肩か膝につけているということが、いかにもレアルであり、同時に美しくあはれでもある。

胡瓜もむ母に西日がつゝぬけに　植木睦子

流しの窓は西日をまともにうける。外はすぐ広い畑になつていて。それをさえぎる木立もないので、いまに流しに立つて胡瓜もみをはじめた母の手顔に烈しくさしている。丈夫な母はそれも苦にならぬらしく、無心に胡瓜を揉んでいる。そういう母の姿は尊い。「つゝぬけに」がうまい。

銀漢を真上に感じ今日も寝ぬ　白井昭三郎

何か青年の多感を思わせる。独りの床をのべて、仰向けに臥て見ると、はつきりと屋根の上をわたつている天の川を感ずる。悠久にはせる思ひは、大きくもあり、淋しくもある。

堰堤にしぶきをあげて喜雨いたる　比護翠他

喜雨という百姓の言葉も、電力機構になやむ発電所に用ひられて立派に生きるやうになつた。堰堤の上に飛沫をあげながら、烈しく降つて来た雨を、事務所の窓から、いかにも小気味よく眺めているのである。

髪を櫛く海女総身に晩夏光　柴野村童

「晩夏光」という言葉を使つた句が、今月の投句には、どういう為か多かつた。そして、中にはかなり強引な句も見受けられたのであるが、中に、此の句は、晩夏の頃の海の光り、その光りの中に髪を梳く裸身の女体が、かもすたくましい美しさなどもよく了解させるのである。

俳句

遠藤梧逸 選

水中花雑踏盛る宵通り　秋支　岡本五十路
揚花火港まつりの舟の上
盆踊篝火屑を草に捨つ
火取虫小さき全身ふるわせて
誘蛾灯水に息づく虫地獄

蚊帳の環鳴らし朝焼け告ぐる妻　秋支　斎藤莫愁
芋蔓を引けば水禍の瓦礫鳴る
晩涼や垣走る燈は妻ともす
妻に従き長子片手の蟬鳴かす

滴りの集ひこぞりて百万キロ　岩支　及川有哉
炎天をフルに回して百万キロ　東北電力百万キロ達成を祝して
ダム涼し百万キロの水を堰く
百万キロ厄日も神は守り給ふ

上の温泉と下の温泉とある鮎の宿　仙塩建　境野青葉
濁りねる沢の出会へる葛の花
木の間からプールを上る子が見える。
夏帯をたゝみて置ける縁の隅

凌霄の開きしまゝに散りしける　秋田営　田中天里郷
凌霄の華なれど暗き夜
凌霄の花に触れゆく輓馬あり
蚊とり香燃えゆき灰も輪のかたち

流灯の海に施餓鬼の大和尚　本店　長倉義光
波静か流灯遠く近く消えてゆく
流灯の消えゆく波に月青し
あがなひて赤き灯籠流しけり

七夕竹流すに子等が泳ぎ寄る　福支　久保乙秋
颱風の予報母居ぬ刻憂しや
松虫の闇の青さに身を涵す
青梅雨の木菟鳴くにさへ倦みてをり

ふるさとや芋の葉がくれ馬とほる　平営　小松里草
提灯のあかりとゞけば露けくて
香水や隣りあわして懸めきて
稲妻の鞭の光りの木の肌に

掃苔や大いなる墓小さき墓　新支　高木桐舎
水引のこまかき花に撓みけり

遊船の行き交ふとき賑やかに　秋支　岡本五十路
灯し売る廻り燈籠よく廻る

庭境なきまゝ海へ大夕立　柏崎営　村山春灯
蟬鳴かず子を先に立て風呂貰う
いぼむしり黍の葉風にのりてとぶ
誘蛾燈母に抱かれし記憶ふと

日やけして旅疲れして吾子帰る　岩支　鈴木辰三
七夕の折鶴舞ふて落ちにけり
丹精のトマトを鶏に啄ばまれ

部屋せまく片附いてゐる魂まつり　新支　佐藤鉄歩
蜩や川仕事いま一休み
踞み居て肩叩かれし夜店かな

葛伸びて雨あがりたる径に這う　本店　長瀬晩風
蔵王権現鳥居だけある登山道
秋暑し鎌を磨ぎ居る水路番

満腹の腹撫でて立つ秋涼し　本店　河野ひろじ
街眠るビルの屋上盆の月
蜩や人波公会堂を出る

社誌編集委員名簿

本店編集委員会
（委員）

社長室	三浦英三	(1)	総務部	岩本長三		(2)
経理部	東正男	〃	〃	江川泰		〃
給電部	村山浩	〃	資材部	指田輝男		〃
電気部	三瓶久利	〃	営業部	横山文夫		〃
建設部	中村衛	〃	土木部	江口栄蔵		〃

（幹事）

総務課	土本善平	（発行編集兼印刷人）	
〃	高橋勇治	総務課	菅雄吉

〔註〕 (1) は第1小委，(2) は第2小委担当を示す

各支店委員会
（幹事）

青森支店	佐藤允夫	福島支店	浜島崇		
秋田〃	藤井吉男	新潟〃	高木茂夫		
宮城〃	満田良	会津電力事務所	竹内孝		
岩手〃	中村盛	東京事務所	連山仁一郎		
山形〃	大庭久蔵	電気試験所	古山健次		

原稿募集

第14号の原稿を募集します。

締切は 10月末日（本店到着）

論文	8,000字以内
資料	〃
報告	〃
通信	3,000字以内
解説	2,000字以内
創作・随筆・エッセイ	8,000字以内
俳句（5句）	遠藤梧逸先生選
短歌（5首）	扇畑忠雄先生選

応募はなるべく各編集委員会宛にお願いします。

編集後記

○100万キロを突破するやら，送変電設備は完成するやら，ヘリコプターは来るやら，マイクロウエーブはどんどん延びるやら，まことに当社の躍進ぶりは目ざましいものがあり，社内に居つても驚くのだから，社会的にも瞠目を浴びているようだ。

○けれどもこれらが皆巨大な資金を要し，その額は時々刻々上昇している。今日の電気料金の安いことは言うまでもないが，高い建設費を支払つて出来た設備がこんな料金収入でやつてゆけるのだろうかと心配になる。化学工業や電機メーカーなどの関連産業が高率の配当をやつているのを見ると，まこと矛盾を感ぜずにはいられないのである。

○田子倉，奥只見も電源開発会社の手で着工の運びとなり，平井局長はじめ当社の建設陣が挙げて出向することとなつたが，東北としては劃期的大工事である。工事の順調なる進行を祈らずにはいられない。(K)



昭和28年9月25日発行
（隔月発行）

発行所　仙台市大町五丁目197
東北電力株式会社
発行者　土本善平
印刷所　今野印刷所